
第 2 章

一般高齡者

第1 調査票と単純集計

問1 あなたの性別は、どちらですか。(は1つだけ)

1. 男性 (42.9%) 2. 女性 (50.3%) 無回答 (6.8%)

問2 あなたの年齢は、おいくつですか。(は1つだけ)

1. 65～69歳 (31.1%) 2. 70～74歳 (29.8%) 3. 75～79歳 (19.9%)
4. 80～84歳 (11.1%) 5. 85～89歳 (4.7%) 6. 90歳以上 (0.8%)
無回答 (2.6%)

問3 あなたはどちらにお住まいですか。該当する地区の番号に をつけてください。(は1つだけ)

1. 金華 (2.3%) 2. 京町 (2.4%) 3. 明德 (1.6%) 4. 本郷 (2.9%)
5. 徹明 (1.5%) 6. 梅林 (2.0%) 7. 白山 (2.0%) 8. 華陽 (2.2%)
9. 木之本(1.7%) 10. 島 (2.7%) 11. 早田 (2.1%) 12. 城西 (2.3%)
13. 則武 (2.0%) 14. 木田 (0.5%) 15. 七郷 (1.8%) 16. 合渡 (1.1%)
17. 黒野 (2.8%) 18. 方県 (0.7%) 19. 西郷 (1.5%) 20. 網代 (0.5%)
21. 長良 (2.7%) 22. 長良西(2.3%) 23. 長良東(2.1%) 24. 鷺山 (3.0%)
25. 常磐 (1.9%) 26. 岩野田(2.3%) 27. 岩野田北(1.4%) 28. 藍川 (2.0%)
29. 三輪南(2.0%) 30. 三輪北(0.6%) 31. 本荘 (2.6%) 32. 三里 (2.6%)
33. 市橋 (1.7%) 34. 鏡島 (3.0%) 35. 鶉 (1.6%) 36. 日置江(0.6%)
37. 柳津 (2.1%) 38. 加納 (3.1%) 39. 加納西(2.3%) 40. 茜部 (2.2%)
41. 厚見 (3.4%) 42. 日野 (1.4%) 43. 長森南(2.8%) 44. 長森北(1.8%)
45. 長森東(1.6%) 46. 長森西(2.0%) 47. 岩 (1.5%) 48. 芥見 (2.3%)
49. 芥見東(2.4%) 50. 芥見南(0.8%) 51. その他(-) 無回答 (1.1%)

問4 あなたの世帯は次のいずれですか。(は1つだけ)

1. ひとり暮らし (13.3%) 2. 夫婦のみの世帯 (41.5%)
3. 1.2.以外の世帯 (43.3%) 無回答 (1.9%)

問5 介護保険制度をご存じですか。(は1つだけ)

1. よく知っている (13.5%) 2. だいたい知っている (42.7%)
3. あまり(内容までは)知らない (39.1%) 4. 知らない (3.3%)
無回答 (1.5%)

問6 特別養護老人ホームや老人保健施設などへの入所、ホームヘルプサービス(訪問介護)やデイサービス(通所介護)などの利用が多くなれば、それだけ介護保険料も上がることとなります。あなたは、介護サービスの充実と保険料についてどのように考えますか。(は1つだけ)

1. 保険料は高くてもサービスが充実している方がいい (16.5%)
2. サービスは充実していなくても保険料が安い方がいい (19.9%)
3. どちらともいえない (60.8%)
無回答 (2.8%)

- 問7 あなたの日常生活の状態はいかがですか。(は1つだけ)
- 1. 大した病気や障害などもなく、ふつうに生活している (52.5%)
 - 2. 何らかの病気や障害などはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人でできる (38.5%)
 - 3. 基本的な日常生活は、ほぼ自分で行うことができるが、要介護状態にならないように何らかの支援が必要 (4.3%)
 - 4. 3.の状態より日常生活を行う力がわずかに低下し、何らかの支援が必要 (1.3%)
 - 5. 立ち上がりや歩行が不安定で、排泄、入浴など一部介助が必要 (0.4%)
 - 6. 立ち上がりや歩行が自力では困難な場合が多く、排泄、入浴など一部または全体の介助が必要 (0.3%)
 - 7. 立ち上がりや歩行などが自力ではできず、排泄、入浴、衣服の着脱などで全体の介助が必要 (0.1%)
 - 8. 排泄、入浴、衣服の着脱など日常生活に全面的介助が必要 (0.1%)
 - 9. 意思の伝達が困難で、生活全般について全面的介助が必要 (0.1%)
 - 無回答 (2.5%)

→問7-2 問7で「3～9」と答えられた方におたずねします。介護サービスを利用するための申請をされましたか。(は1つだけ)

- 1. 申請をするつもりはない (53.5%)
- 2. 申請中(またはこれから申請するつもり) (32.6%)
- 3. 申請をしたが「自立(非該当)」になった (3.5%)
- 無回答 (10.5%)

→問7-3 問7-2で「1.申請をするつもりはない」と答えた方におたずねします。申請しない理由は何ですか。(は1つだけ)

- 1. 介護サービスを利用するほどの状態ではないと思うから (60.9%)
- 2. 家族で介護するので介護サービスを利用するつもりはないから (17.4%)
- 3. 申請の手続きなどがわからないから (9.8%)
- 4. 入院・治療をしているから (7.6%)
- 5. その他() (4.3%)

問8 今後どのようなサービスを充実していく必要があると考えられますか。(あてはまるものすべてに)

- 1. 特別養護老人ホームや老人保健施設の整備 (40.8%)
- 2. ホームヘルプサービス(訪問介護)や訪問看護等の訪問系サービスの充実 (33.4%)
- 3. ショートステイ(短期入所)の充実 (21.9%)
- 4. デイサービス(通所介護)、デイケア(通所リハビリテーション)等の通所サービスの充実 (26.7%)
- 5. 介護保険対象外のサービスの充実(紙オムツの支給、移送サービス等) (18.2%)
- 6. 介護予防の推進 (19.8%)
- 7. 家族介護手当等の支給 (33.0%)
- 8. 認知症高齢者に対する施策の充実 (25.6%)
- 9. その他(具体的に) (2.6%)
- 無回答 (18.6%)

問 9 介護予防・福祉サービスの現在の利用状況、今後の利用についておたずねします。それぞれの項目について、「現在」は 1～4、「今後」は 1～3 のあてはまるもの 1 つをつけてください。

区 分	現 在					今 後			
	利用している	以前に利用したことがない	知っているが利用していない	知らない	無回答	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
<記入例> 現在は「知っているが利用していない」 後は「利用したい」	1	2	③	4		①	2	3	
(1) 生きがい活動支援通所事業 デイサービスセンター等において日常動作訓練等を提供し、介護予防を図る	1 (0.6%)	2 (0.2%)	3 (37.3%)	4 (34.1%)	(27.8%)	1 (29.9%)	2 (5.3%)	3 (39.0%)	(25.8%)
(2) 地域包括支援センター 高齢者の相談窓口として、保健師、ケアマネジャー、社会福祉士が配置されたセンター。介護予防や、高齢者の状況に応じた総合相談・支援を包括的に行う	1 (0.7%)	2 (0.5%)	3 (31.6%)	4 (39.7%)	(27.5%)	1 (36.6%)	2 (3.0%)	3 (35.7%)	(24.7%)
(3) 緊急通報システム ひとり暮らしの高齢者等の急病、家庭内での事故等の際に、ボタン一つで連絡がとれる緊急通報装置を設置するサービス	1 (1.4%)	2 (0.1%)	3 (36.2%)	4 (34.8%)	(27.5%)	1 (47.5%)	2 (2.5%)	3 (29.0%)	(21.0%)
(4) ふれあいいきいきサロン 高齢者が地域の公民館や集会場などで、おしゃべりやゲームをして、気兼ねなく楽しみ、交流・仲間づくりを図る	1 (7.9%)	2 (2.8%)	3 (43.3%)	4 (29.1%)	(16.9%)	1 (33.5%)	2 (10.4%)	3 (38.1%)	(18.0%)
(5) 転倒予防教室 高齢者が転倒や骨折によりねたきりになることを防ぐため、岐阜市民福祉活動センターや公民館等において行う骨粗しょう症予防や各種体操を実施する教室	1 (3.6%)	2 (1.9%)	3 (25.8%)	4 (48.6%)	(20.2%)	1 (30.8%)	2 (7.9%)	3 (39.5%)	(21.8%)

区 分	現 在					今 後			
	利用している	以前に利用したことがあ	知っていないが利用	知らない	無回答	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
(6) IADL訓練事業 おやつ作り、車いす体験、生活習慣病予防のための食生活と運動など、日常生活に係わる訓練事業を岐阜市民福祉活動センターや公民館で開催	1 (1.4%)	2 (0.8%)	3 (19.2%)	4 (56.6%)	(21.9%)	1 (20.1%)	2 (8.7%)	3 (47.8%)	(23.4%)
(7) 認知症・介護教室 軽度の認知症高齢者やその家族を対象に、園芸、レクリエーション、音楽などを活用した健康法を学ぶ教室を岐阜市民福祉活動センターや公民館等で開催	1 (1.4%)	2 (0.6%)	3 (21.7%)	4 (54.3%)	(22.0%)	1 (23.6%)	2 (7.6%)	3 (45.9%)	(23.0%)
(8) 高齢者スポーツ活動促進事業 老人クラブの会員を対象に、市内5ブロックごとにペタンク大会やゲートボール大会を開催	1 (3.5%)	2 (1.7%)	3 (42.4%)	4 (32.1%)	(20.4%)	1 (19.1%)	2 (17.0%)	3 (41.7%)	(22.2%)
(9) 配食サービス事業 食事の支度が困難な高齢者に食事を提供し、あわせて利用者の安否を確認するサービス	1 (0.8%)	2 (0.3%)	3 (34.6%)	4 (43.1%)	(21.2%)	1 (32.1%)	2 (6.9%)	3 (39.9%)	(21.1%)

問10 あなたは日頃、健康づくりでどんなことに心がけていますか。(あてはまるものすべてに)

1. 毎日の食事や栄養に気をつけている (69.8%)
 2. 定期的に健康診断を受けている (60.2%)
 3. 睡眠や休養を十分にとるなどして規則正しい生活を心がけている (61.4%)
 4. なるべく歩いたりして体を動かしている (66.9%)
 5. 適度のスポーツ・運動をしている (27.6%)
 6. 酒やタバコをなるべくひかえるようにしている (23.8%)
 7. 特に心がけていない (3.1%)
 8. その他 () (3.4%)
- 無回答 (2.8%)

問11	あなたは健康について、知りたいことがありますか。(あてはまるものすべてに)	
	1. がんや高血圧などの生活習慣病の予防について	(35.1%)
	2. 食生活のあり方について	(24.1%)
	3. 健康増進(運動など)の方法について	(19.5%)
	4. ストレスの解消等について	(23.2%)
	5. 健康診査の内容や受け方などについて	(15.5%)
	6. ねたきりの予防について	(17.9%)
	7. 歯の健康について	(12.2%)
	8. 認知症の予防について	(33.0%)
	9. 特にない	(22.9%)
	10. その他()	(1.1%)
	無回答	(10.2%)

問12	現在、あなたは何か病気をかかえていますか。(あてはまるものすべてに)	
	1. 高血圧 (37.9%)	2. 心臓病 (13.2%)
	3. 呼吸器疾患 (5.4%)	4. 胃腸病 (8.2%)
	5. 糖尿病 (12.8%)	6. 肝臓病 (4.7%)
	7. 腎疾患 (2.8%)	8. 骨折 (1.9%)
	9. 歯・歯周病 (19.4%)	10. 目の病気(白内障、緑内障など)(23.5%)
	11. 耳鼻の疾患 (10.1%)	12. リュウマチ、神経痛 (7.6%)
	13. 骨粗しょう症 (9.3%)	14. 認知症 (0.9%)
	15. その他() (12.7%)	16. かかえている病気はない (12.9%)
	無回答 (5.0%)	

問13	健康や福祉のことで困ったとき、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに)		
	1. 家族・親族 (77.4%)	2. 友人・知人 (21.1%)	3. 民生委員 (9.7%)
	4. 近所の人 (7.6%)	5. 保健所・市民健康センター (6.7%)	
	6. 市役所の相談窓口 (16.8%)	7. 社会福祉協議会 (3.0%)	
	8. かかりつけの医師など (52.8%)	9. 地域包括支援センター (4.0%)	
	10. 高齢者総合相談センター(シルバー110番) (4.4%)		
	11. その他() (0.8%)	12. 相談する人が誰もいない (1.0%)	
	無回答 (4.0%)		

問14	介護予防に関して、今後、市に力を入れてほしいことは何ですか。(あてはまるものすべてに)	
	1. 軽運動(筋力向上等)の推進 (31.5%)	2. 食生活(栄養等)の改善 (24.7%)
	3. 閉じこもり予防 (17.2%)	4. 足指・爪のケアの促進 (4.2%)
	5. 認知症予防 (33.1%)	6. 日常生活の動作訓練 (15.8%)
	7. 歯の健康づくり (9.3%)	8. 生活習慣病の予防 (34.8%)
	9. その他() (2.4%)	無回答 (22.6%)

- 問15 食事は、どのようにとられていますか。(は3つまで)
- | | |
|-----------------------|---------|
| 1. 自宅で調理した食事 | (96.3%) |
| 2. 店で売っている調理済食品(そうざい) | (24.6%) |
| 3. 店で売っている弁当 | (7.4%) |
| 4. 出前による食事(店屋物) | (0.9%) |
| 5. 配食サービスによる食事 | (1.1%) |
| 6. 外食 | (21.7%) |
| 7. その他() | (0.9%) |
| 無回答 | (1.9%) |
- 問16 外出のときの主な移動手段はなんですか。(は3つまで)
- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 徒歩 (49.0%) | 2. 自転車 (46.4%) |
| 3. 車いす (0.5%) | 4. バス (38.5%) |
| 5. 電車 (7.4%) | 6. 車いす専用タクシー (0.1%) |
| 7. タクシー (10.2%) | 8. 自家用車(自分で運転) (42.1%) |
| 9. 自家用車(乗せてもらう) (28.1%) | 10. バイク (1.4%) |
| 11. その他() (0.3%) | 無回答 (2.0%) |
- 問17 外出するうえで困ることはなんですか。(は3つまで)
- | | |
|--------------------------------------|---------|
| 1. バス・電車などが容易に利用できるよう改良されていない | (18.2%) |
| 2. 乗物や公共施設の案内表示がわかりにくい | (15.7%) |
| 3. 道路や駅に段差や階段、障害物などが多い | (19.7%) |
| 4. 出入口や階段、トイレなど建物が容易に利用できるよう改良されていない | (13.2%) |
| 5. 車などに危険を感じる | (21.3%) |
| 6. その他() | (3.4%) |
| 7. ほとんど外出しないのでわからない | (4.0%) |
| 8. 困ることはない | (32.8%) |
| 無回答 | (11.2%) |
- 問18 今後、仮にあなたに介護が必要になった場合、どのようにしたいですか。(は1つだけ)
- | | |
|--|---------|
| 1. 自宅で、家族などを中心に介護してほしい | (24.7%) |
| 2. 自宅で、ホームヘルプサービス(訪問介護)やデイサービス(通所介護)などを活用しながら生活したい | (32.2%) |
| 3. 老人ホームや病院などに入所(入院)したい | (21.3%) |
| 4. わからない | (17.0%) |
| 無回答 | (4.8%) |

問19	あなたは、現在、仕事をしていますか。(は1つだけ)	
	1. 自営業(農林漁業、小売店など)をしている	(15.2%)
	2. 勤めに出ている	(9.8%)
	3. 自宅で内職をしている	(2.7%)
	4. その他()	(6.8%)
	5. 仕事はしていない	(62.4%)
	無回答	(3.1%)

→問19-2 問19で「5. 仕事はしていない」と答えた方におたずねします。仕事をしていない一番大きな理由はなんですか。(は1つだけ)

	1. 働きたいが、からだの無理がきかない	(24.8%)
	2. 働きたいが、適当な仕事がない	(19.2%)
	3. 働きたいが、周囲の人の理解が得られない	(0.5%)
	4. 働く必要がない	(29.3%)
	5. 働きたくない	(8.3%)
	6. その他()	(13.5%)
	無回答	(4.4%)

問20	日頃の生活で不安に思っていることはありますか。(あてはまるものすべてに)	
	1. 病気など健康状態が悪くなったときのこと	(68.4%)
	2. いざというときに頼れる人がいないこと	(7.5%)
	3. 家族の死別や家族との関係のこと	(15.9%)
	4. 生活意欲がなくなること	(13.6%)
	5. 仕事を続けられなくなったり、やめたときのこと	(11.4%)
	6. 経済的に苦しくなったときのこと	(32.5%)
	7. 財産管理や相続のこと	(5.7%)
	8. 盗難、強引な訪問販売や電話セールス、押し売りのこと	(11.9%)
	9. 住宅問題のこと	(6.4%)
	10. 火事や地震、風水害にあうこと	(40.9%)
	11. 特にない	(10.0%)
	12. その他() (0.9%)	無回答 (6.0%)

問21	あなたは日頃どんなことに楽しみを感じていますか。(あてはまるものすべてに)	
	1. 仕事 (21.0%)	2. 近所・親戚づきあい (25.1%)
	3. 老人クラブ活動 (9.0%)	4. スポーツ (14.0%)
	5. 社会奉仕 (7.1%)	6. 友人との交流 (48.0%)
	7. 会社等のOB会 (7.8%)	8. 家族との団らん (35.7%)
	9. 孫の相手 (25.8%)	10. ふれあいいいきサロン (5.1%)
	11. 趣味・娯楽 (39.6%)	12. 外出・旅行 (44.6%)
	13. テレビ・ラジオ (57.6%)	14. 楽しいことは何もない (1.7%)
	15. その他() (2.9%)	無回答 (4.1%)

問22 地震や豪雨などの災害時、最も人命を救うことのできるのは身近な地域の助け合いです。特に、高齢者だけの世帯や介護が必要な人のいる世帯は災害時に支援が必要です。どうすれば災害時の支援ができると思いますか。(あてはまるものすべてに)

- | | |
|----------------------------|---------|
| 1. ふだんから隣近所の人と付き合いをする | (76.9%) |
| 2. ふだんから地域で防災についての話し合いを行う | (34.9%) |
| 3. 地域の災害時要援護者への支援の訓練を行う | (20.1%) |
| 4. 災害時要援護者の登録制度(該当者で希望者のみ) | (20.6%) |
| 5. その他() | (1.1%) |
| 6. わからない | (8.1%) |
| 無回答 | (7.3%) |

ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

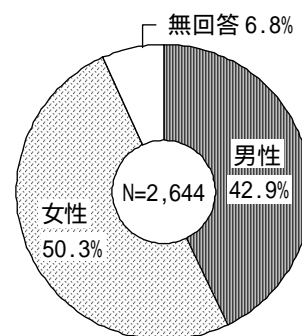
第2 調査結果

1 基本属性

(1) 性別・年齢別

調査対象者の性別は、男性が42.9%、女性が50.3%です（図2-1）。

図2-1 性別



年齢別にみると、65～74歳の前期高齢者が60.9%を占め、75歳以上の後期高齢者は36.5%となっています。男性が前期高齢者63.0%、後期高齢者36.7%、女性が前期高齢者62.8%、後期高齢者36.8%とほぼ同率です（図2-2）。

図2-3は、平成19年4月1日現在の住民基本台帳による高齢者の人口比率ですが、後期高齢者の比率は調査より高くなっています。これは、前期高齢者より後期高齢者のほうが要介護・要支援認定者の率が高いことと、後期高齢者の回収率が低かったことなどの理由が考えられます。

図2-2 性別・年齢別

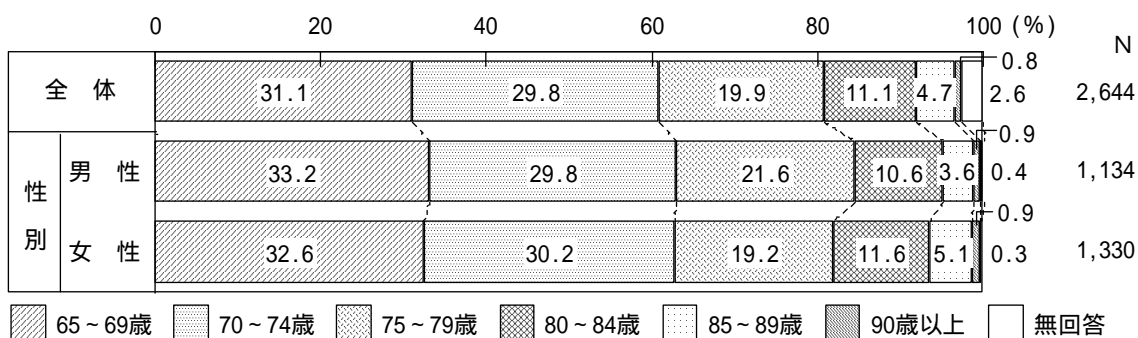
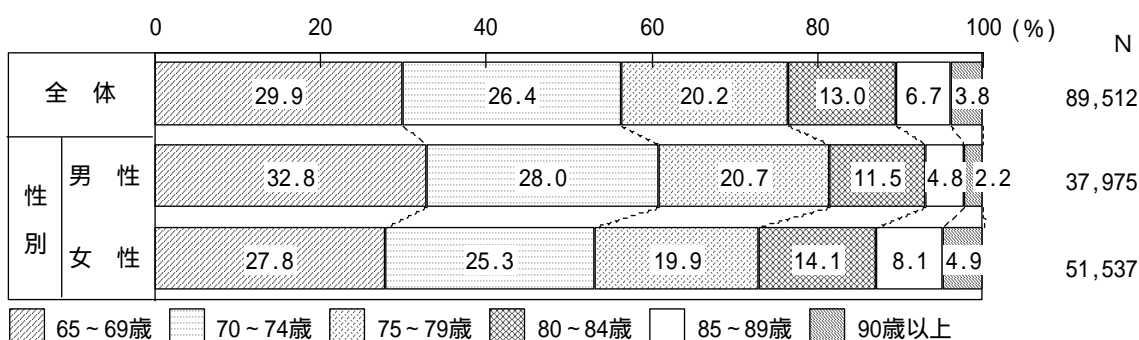


図2-3 実際の人口比率



資料：住民基本台帳人口（平成19年4月1日）

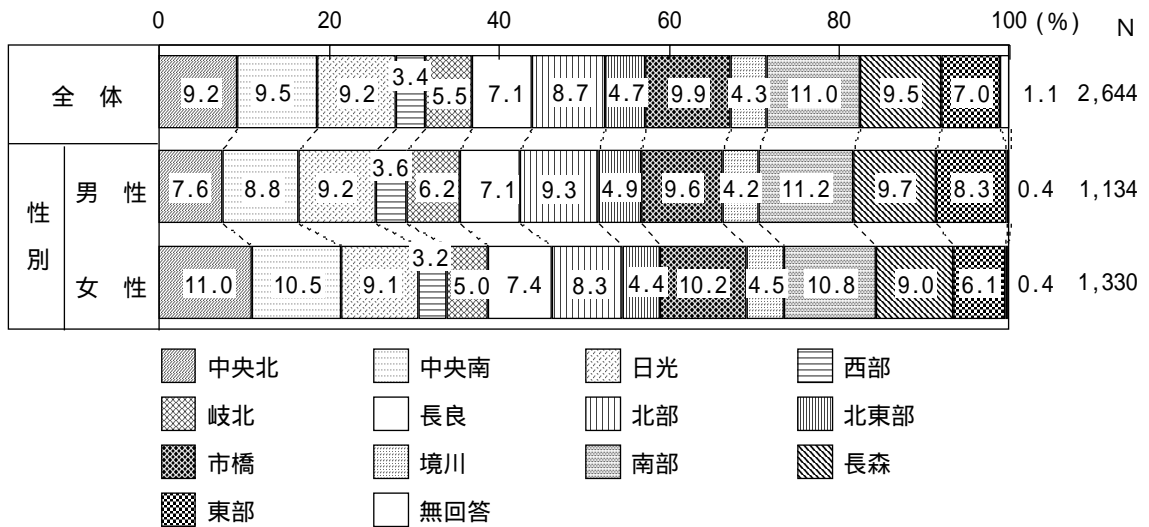
(2) 日常生活圏域

本市においては、日常生活圏域として市域を13に区割し、それぞれに地域包括支援センターを設置しています(表2-1)。調査対象者数は、最も高い「南部」の11.0%から最も少ない「西部」の3.4%まで、かなりの差です(図2-4)。

表2-1 地区別日常生活圏域

圏域	地区	圏域	地区
中央北	金華・京町・明德・本郷	北東部	藍川・三輪南・三輪北
中央南	徹明・梅林・白山・華陽・木之本	市橋	本荘・三里・市橋・鏡島
日光	島・早田・城西・則武	境川	鶉・日置江・柳津
西部	木田・七郷・合渡	南部	加納・加納西・茜部・厚見
岐北	黒野・方県・西郷・網代	長森	日野・長森南・長森北・長森東・長森西
長良	長良・長良西・長良東	東部	岩・芥見・芥見東・芥見南
北部	鷺山・常磐・岩野田・岩野田北		

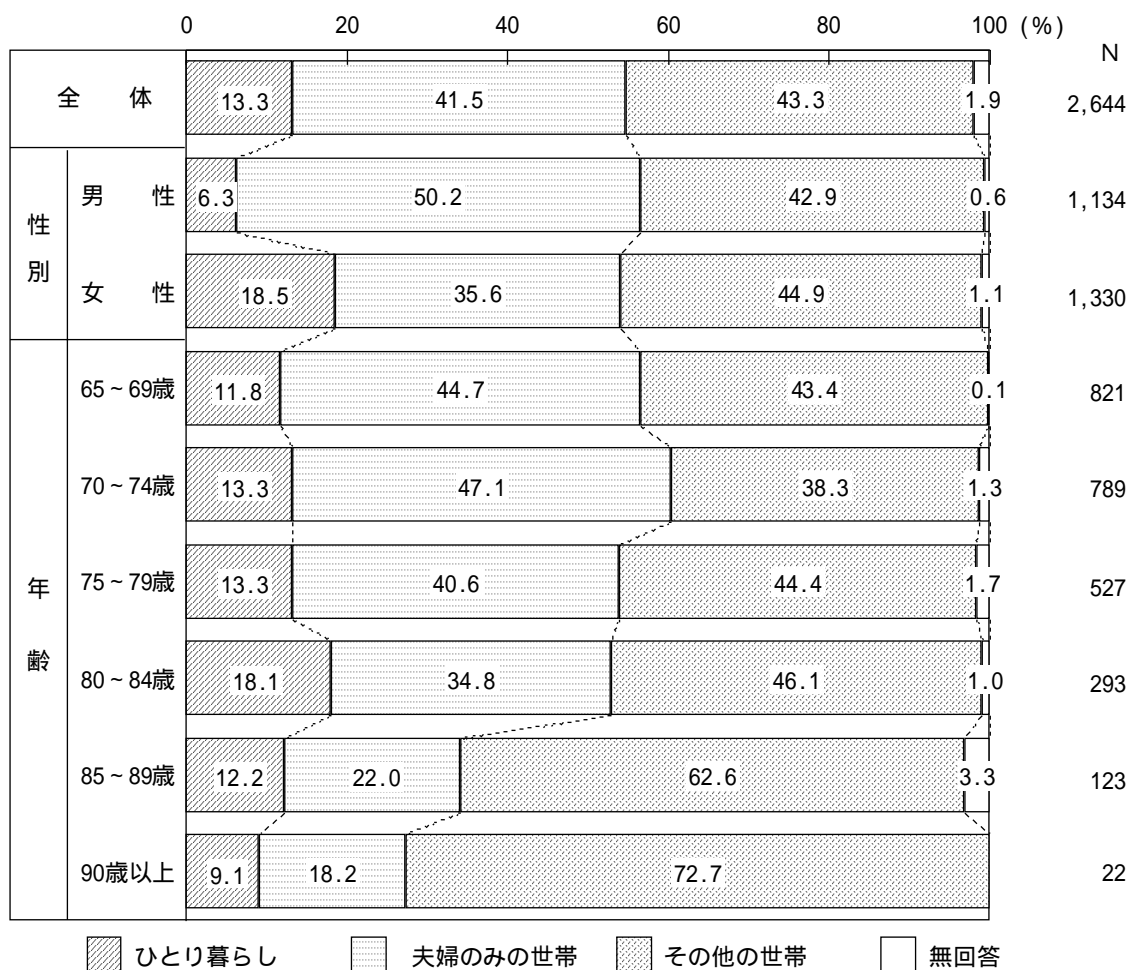
図2-4 日常生活圏域別対象者数



(3) 家族構成

家族構成は、「ひとり暮らし」が13.3%、「夫婦のみの世帯」が41.5%、子どもの家族など同居している「その他の世帯」が43.3%となっています。「ひとり暮らし」は女性が高く、年齢区分では80～84歳がピークとなっており、「夫婦のみの世帯」は男性が高く、年齢区分では70～74歳がピークとなっています。

図2 - 5 家族構成



2 日常生活自立度

本章においては、左欄の日常生活の状態については、右欄の用語を使用します。

日常生活の状態	略称	
1. 大した病気や障がいなどもなく、ふつうに生活している	健康	
2. 何らかの病気や障がいなどはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人できる	生活自立	
3. 基本的な日常生活は、ほぼ自分で行うことができるが、要介護状態にならないように何らかの支援が必要	要支援 1	要支援
4. 3. の状態より日常生活を行う力がわずかに低下し、何らかの支援が必要	要支援 2	
5. 立ち上がりや歩行が不安定で、排泄、入浴など一部介助が必要	要介護 1	要介護
6. 立ち上がりや歩行が自力では困難な場合が多く、排泄、入浴など一部または全体の介助が必要	要介護 2	
7. 立ち上がりや歩行などが自力ではできず、排泄、入浴、衣服の着脱などで全体の介助が必要	要介護 3	
8. 排泄、入浴、衣服の着脱など日常生活に全面的介助が必要	要介護 4	
9. 意思の伝達が困難で、生活全般について全面的介助が必要	要介護 5	

日常生活自立度は、「健康」が52.5%、「生活自立」が38.5%、「要支援」が5.6%、「要介護」が0.9%です。この調査対象は、要介護・要支援と認定されていない人を対象としていますから、この結果が正しいとすれば、要介護・要支援と認定されていないが、要介護・要支援に該当する高齢者が6.5%いることとなります。年齢が高くなるほど「要支援」「要介護」が高くなる傾向が出ています。

図2 - 6 日常生活自立度

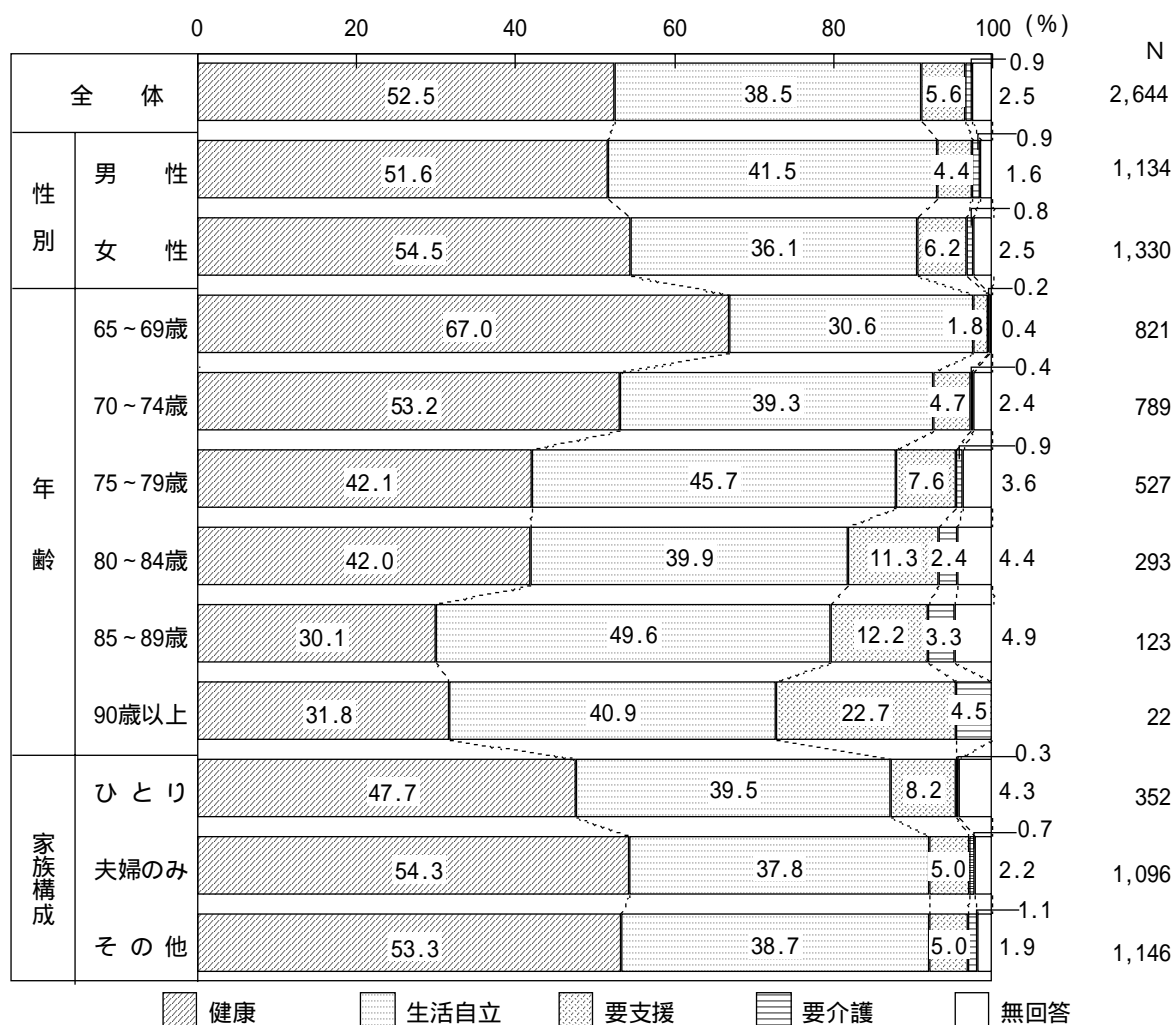


表2 - 2 日常生活自立度

区分	健康	生活自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
人数(人)	1,388	1,019	114	34	11	7	2	2	2	65
比率(%)	52.5	38.5	4.3	1.3	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1	2.5

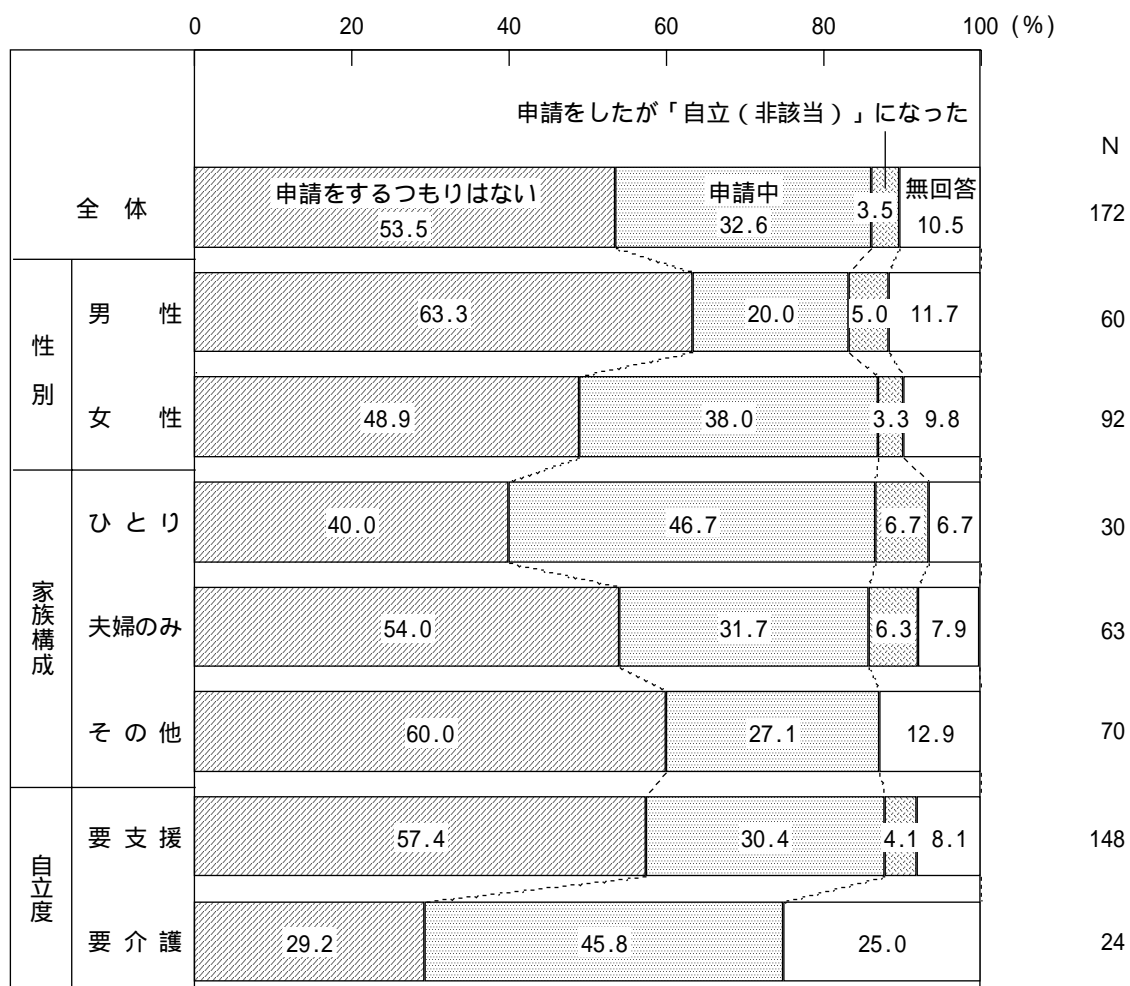
3 要支援・要介護と答えた人の要介護認定

(1) 要介護認定の申請

前問で要支援または要介護に該当すると答えた172人に、要介護認定の申請をしたか聞いた結果が図2 - 7です。「申請をするつもりはない」が53.5%、「申請中（またはこれから申請するつもり）」が32.6%、「申請したが『自立（非該当）』になった」が3.5%となっています。

「申請をするつもりはない」は、要支援に該当すると答えた人が57.4%、要介護に該当すると答えた人が29.2%となっています。

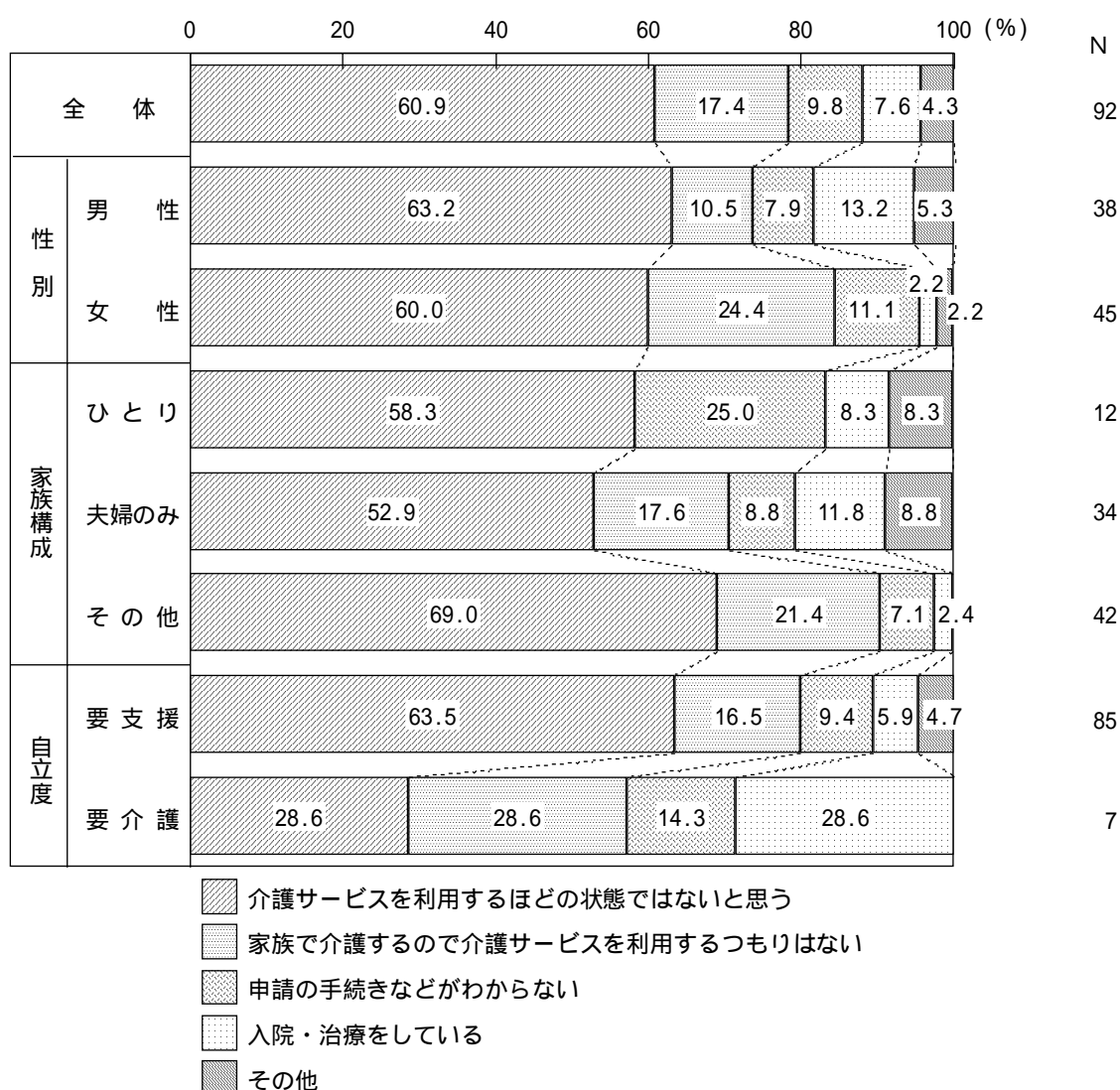
図2 - 7 要介護認定の申請



(2) 要介護認定を申請しない理由

前問で「申請をするつもりはない」と答えた92人に、その理由を聞いた結果が図2-8です。「介護サービスを利用するほどの状態ではないと思う」が60.9%、「家族で介護するので介護サービスを利用するつもりはない」が17.4%、「申請の手続きなどがわからない」が9.8%などとなっています。要介護に該当すると答えた7人中2人(28.6%)が「介護サービスを利用するほどの状態ではないと思う」と答えていることには矛盾を感じます。「その他」として、「すべての料金が高すぎる」「本人がサービスを受けたがらない」という記述がありました。

図2-8 要介護認定を申請しない理由

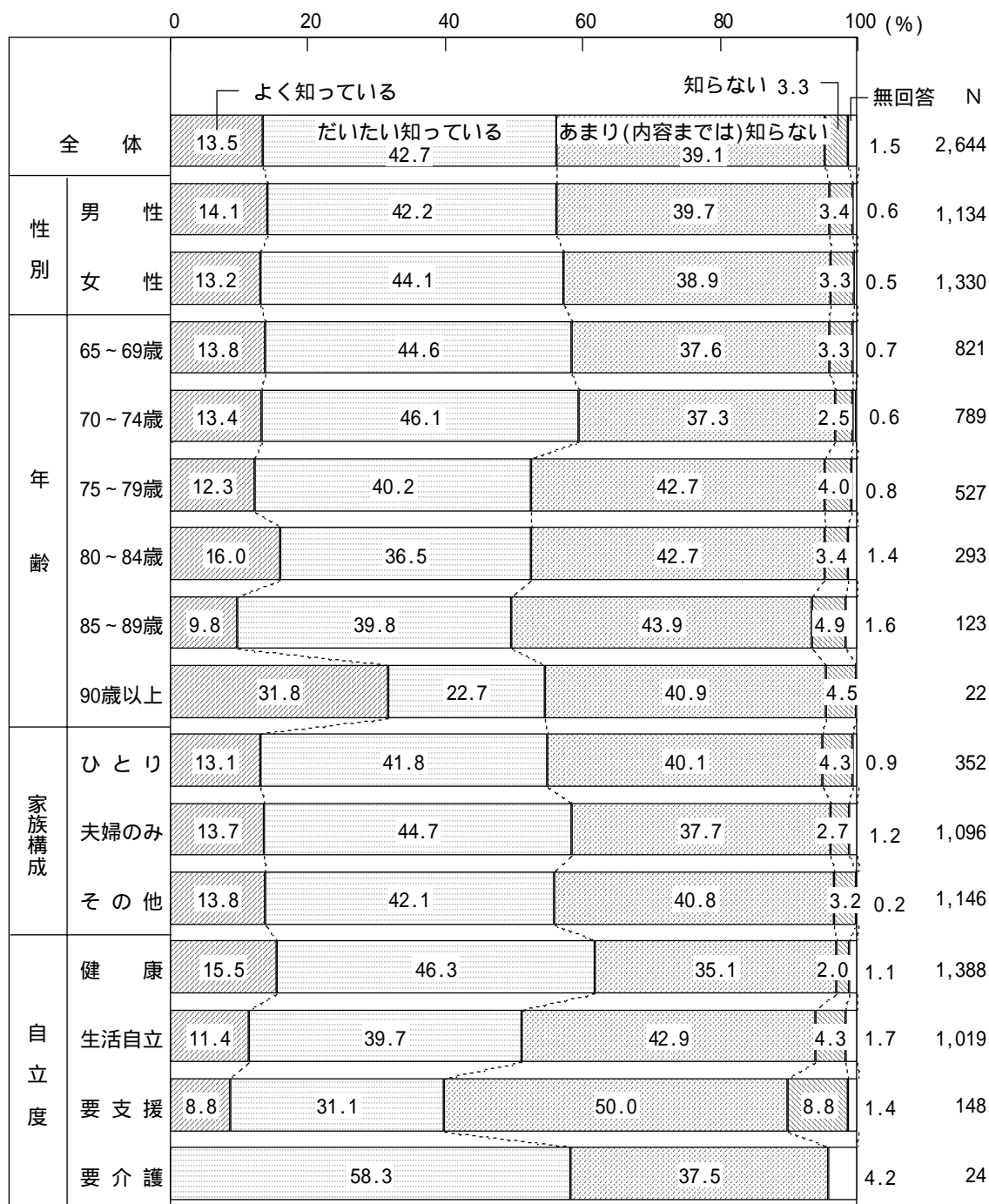


4 介護保険制度

(1) 介護保険制度の周知度

介護保険制度を「よく知っている」と「だいたい知っている」の合計が56.2%、「あまり（内容までは）知らない」と「知らない」の合計が42.4%となっています。「よく知っている」は、年齢別の90歳以上、自立度別の健康が高くなっています。

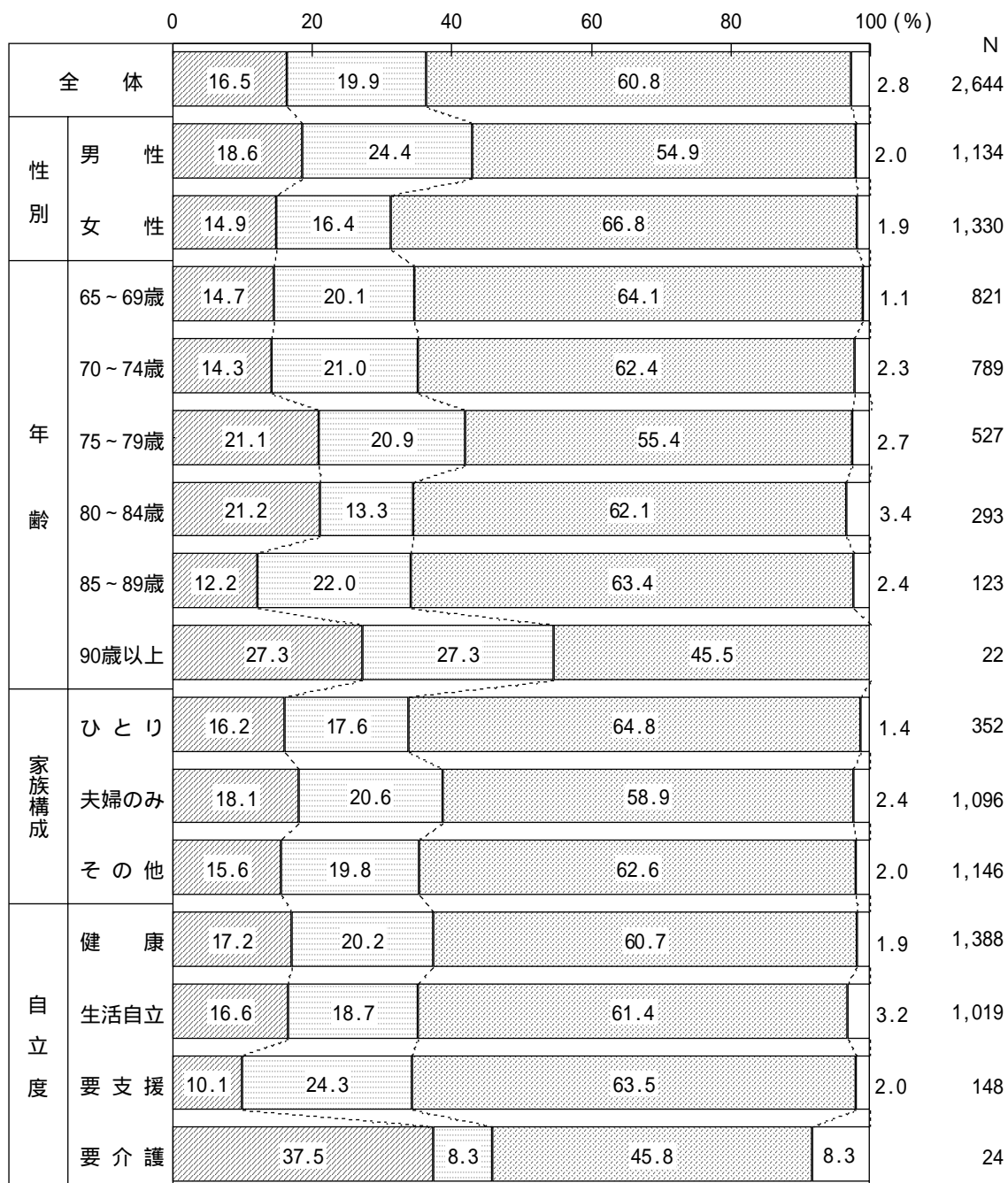
図2-9 介護保険制度の周知度



(2) 介護サービスの水準と保険料について

介護サービスと保険料の関係について聞いたところ、「どちらともいえない」が60.8%と最も高く、次いで「サービスは充実していなくても保険料が安い方がいい」が19.9%、「保険料は高くてもサービスが充実している方がいい」が16.5%となっています。

図2 - 10 介護サービスの水準と保険料について



保険料は高くてもサービスが充実している方がいい
 サービスは充実していなくても保険料が安い方がいい
 どちらともいえない
 無回答

5 充実の必要があると考えられるサービス

「今後どのようなサービスを充実していく必要があると考えられますか」という設問に対しては、「入所施設の整備」(40.8%)、「訪問系サービスの充実」(33.4%)、「家族介護手当等の支給」(33.0%)、「通所サービスの充実」(26.7%)、「認知症高齢者に対する施策の充実」(25.6%)の5項目を4分の1以上の方があげています。「入所施設の整備」は、性別では男性、家族構成別では夫婦のみの世帯、自立度別では健康・生活自立が高くなっています。「訪問系サービスの充実」は、性別では男性、年齢別では若年齢層、家族構成別では夫婦のみの世帯、自立度別では生活自立が高くなっています。

表2-3 充実の必要があると考えられるサービス(複数回答)

単位：Nは人、他は%

区 分		N	入所施設の整備	訪問系サービスの充実	短期入所の充実	通所サービスの充実	介護保険対象外サービスの充実	介護予防の推進	家族介護手当等の支給	認知症高齢者に対する施策の充実	その他	無回答
全 体		2,644	40.8	33.4	21.9	26.7	18.2	19.8	33.0	25.6	2.6	18.6
性 別	男 性	1,134	43.2	37.0	21.6	27.1	16.2	21.5	36.2	25.7	2.9	13.5
	女 性	1,330	40.2	31.4	23.8	27.7	20.7	19.7	31.1	27.0	2.7	20.6
年 齢	65～69歳	821	42.1	37.6	23.9	30.9	19.9	22.5	35.4	30.2	3.2	11.7
	70～74歳	789	41.6	34.3	24.3	27.5	17.6	22.2	34.6	26.1	3.0	16.1
	75～79歳	527	42.7	31.3	20.3	24.1	18.8	16.9	32.1	24.9	1.7	21.8
	80～84歳	293	38.2	30.4	18.8	23.2	14.7	13.7	25.6	17.4	2.4	28.0
	85～89歳	123	30.9	22.8	13.8	20.3	17.9	16.3	27.6	22.8	2.4	36.6
	90歳以上	22	40.9	27.3	22.7	13.6	18.2	36.4	40.9	22.7	-	18.2
家 族 構 成	ひとり	352	40.9	30.7	17.3	21.9	15.6	18.2	15.1	17.3	2.6	26.4
	夫婦のみ	1,096	42.8	36.7	22.5	27.0	17.7	19.7	33.3	24.7	2.7	15.2
	その他	1,146	39.7	32.1	23.6	28.7	19.7	21.1	38.6	29.8	2.5	18.2
自 立 度	健 康	1,388	42.2	33.1	23.3	27.3	17.3	20.0	33.3	25.4	2.4	16.2
	生活自立	1,019	41.7	36.2	21.8	27.9	20.5	20.6	34.5	28.2	2.9	18.4
	要 支 援	148	37.8	31.1	16.9	21.6	17.6	19.6	29.7	17.6	2.0	19.6
	要 介 護	24	16.7	20.8	25.0	29.2	16.7	12.5	29.2	16.7	8.3	20.8

「その他」として、以下の記述がありました。

わからない。(19件)

考えたことがない。(5件)

ない。(3件)

ヘルパーの質の向上と増員(2件)

国民年金だけの収入で利用できるようにしてほしい。(2件)

多種多様でよくわからない。整理が必要

親切な対応

家族とともに安心して暮らせるためのサービス

医療介護制度は必要

ひとり暮らしの人が風邪等で食事等ができない時に3～4日入院できる施策(そんな時は心細くもなっているため)

施設職員(ヘルパー等)の教育と増員。施設によると思うが、例えば、食事は、主食、副食など、一つの器に混ぜ込み、老人の意思に関係なく、口にねじ込むと聞きます。

サービスとは介護する人の人間味のある心情である。

サービスの多様化、スピード化

先日グループホームを見たが、サービスしすぎである。できることまでやる必要があるのか。

ホームヘルプサービスの時間が少ない。ひとり暮らしの人は用事のみでさよならでは不安である。

対話も必要

訪問リハビリの充実

介護サービスを利用した経験がないので、保険料の負担が気になる。

家族で介護している。

有料弁当サービス(高齢になると、元気で食事がムラになります。是非サービスを考えて下さい)

健康維持のための種々の情報・教育をしてほしい。

あまりお金がかからず、お世話して下さる場所がほしい。

介護保険料を永久に支払うことに不満を感じる。各々が自立精神をもち生活するのが当然

今後は現在以上に介護サービスを利用する人が多くなる。介護保険を真剣に見つめてほしい。

介護保険の廃止を望む。

介護保険対象外のサービスをなくす。

日常生活の中で健康意識の高揚を図る教育(各セミナー方式)が必要であるが、現状ではPR不足である。

パーキンソン患者を抱えております。今までに介護を必要とした老人を持ったことがありませんので、どうなっていくのか心配です。

4～5人くらいが助け合い、生活できたらと考えます。

介護というと身体の不自由な方のものと考えられますが、健康で働いていても、風邪など大したことではないがしばらく休養できる所がほしい（入院という大層なことではなく、一時しのぎの場として）。

先月103歳の母が亡くなりました。施設で最後を迎えましたが、入所前は老々介護で、介護する者が非常に大変で、入所後も訪問が仕事となり、やはり心配でした。

一生懸命頑張ってくれた方が幸せな一生を送れるようにみんなで考えたいですね。まずは歩くことから。

家で介護している人のことを考えてほしい。

介護者の待遇を変えないと介護離脱が起き、負のサービス利用が増え、かえって福祉全般の無駄な経費増大につながりかねない。

幼稚園のような老人用のもの。訪問介護では人が足りない。老人ホームのように捨てられ感があるものはだめ。お金がかかるのもだめ。同じサービスでも同時にやっつけていいことなら、まとめれば安くできるのでは？ 病気は別

保健施設の説明が必要。地区ごとに学習、訓練の場。気軽に立ち寄れる場の設置が必要

政府が全然信用できない。

家族介護手当等の支給と回答したのは、私のように嫁だったならば、舅、姑の介護は当然のことですが、少しでも頂けたなら嬉しいと思います。

健康を保てる対策。介護を受けないよう、一人でも元気でいられるよう。

夫婦2人だけの暮らし（子どもがいない）への手助け

自分の老後は自分の責任を基本とする。何でも頼りすぎる。子どもたちもいる、家族にも責任あり。

サービスを充実する前に、各自が今の行政に予算のない中満足しているかが問題です。

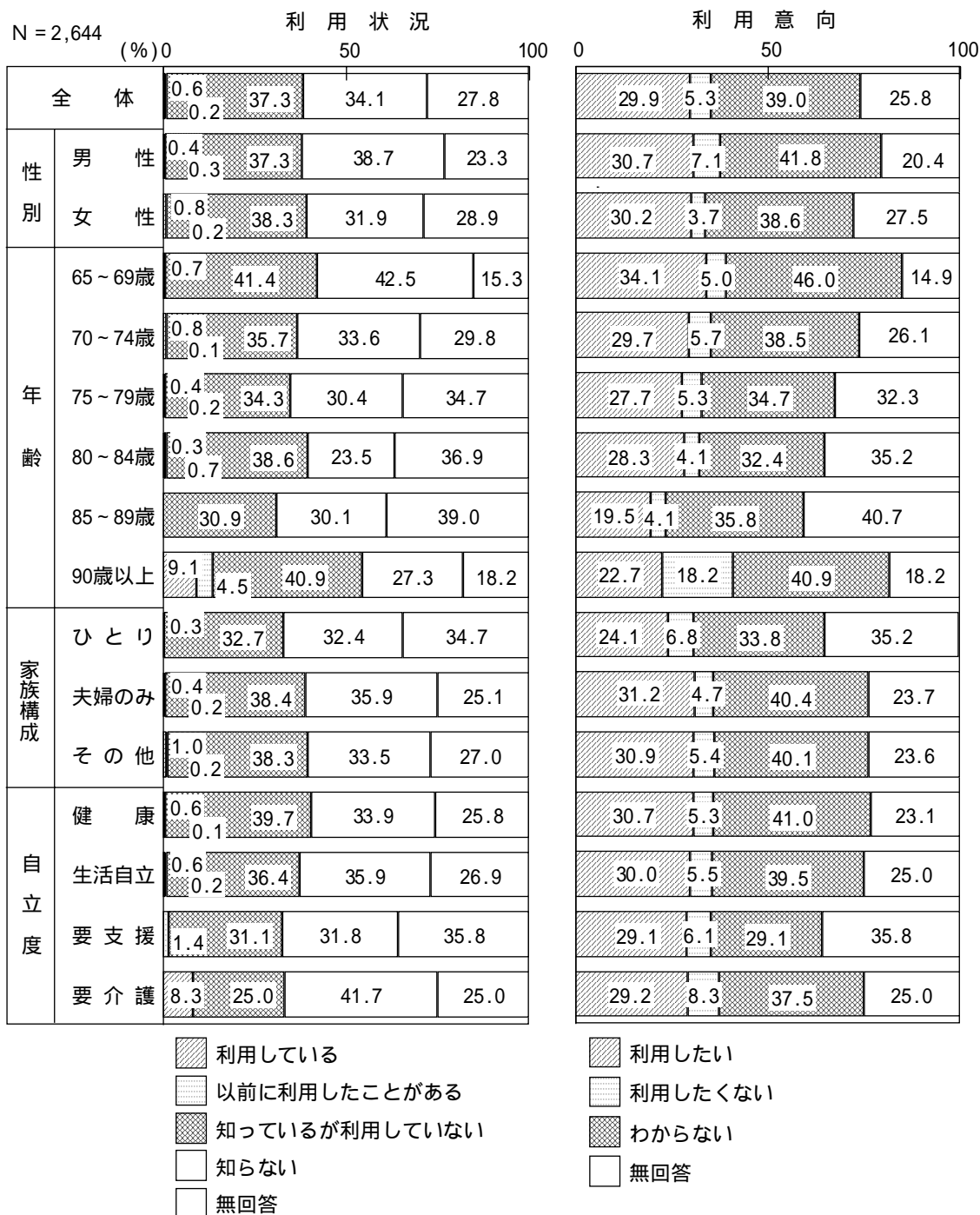
やっていただきたいことばかりですが、すべて金のいることばかりですので、考えてしまいます。

6 介護予防・福祉サービスの利用状況と利用意向

(1) 生きがい活動支援通所事業

生きがい活動支援通所事業は、「利用している」が0.6%、「以前に利用したことがある」が0.2%ですが、「利用したい」は29.9%になっています。利用意向が高いのは、年齢別では65～69歳、家族構成別では夫婦のみの世帯です。

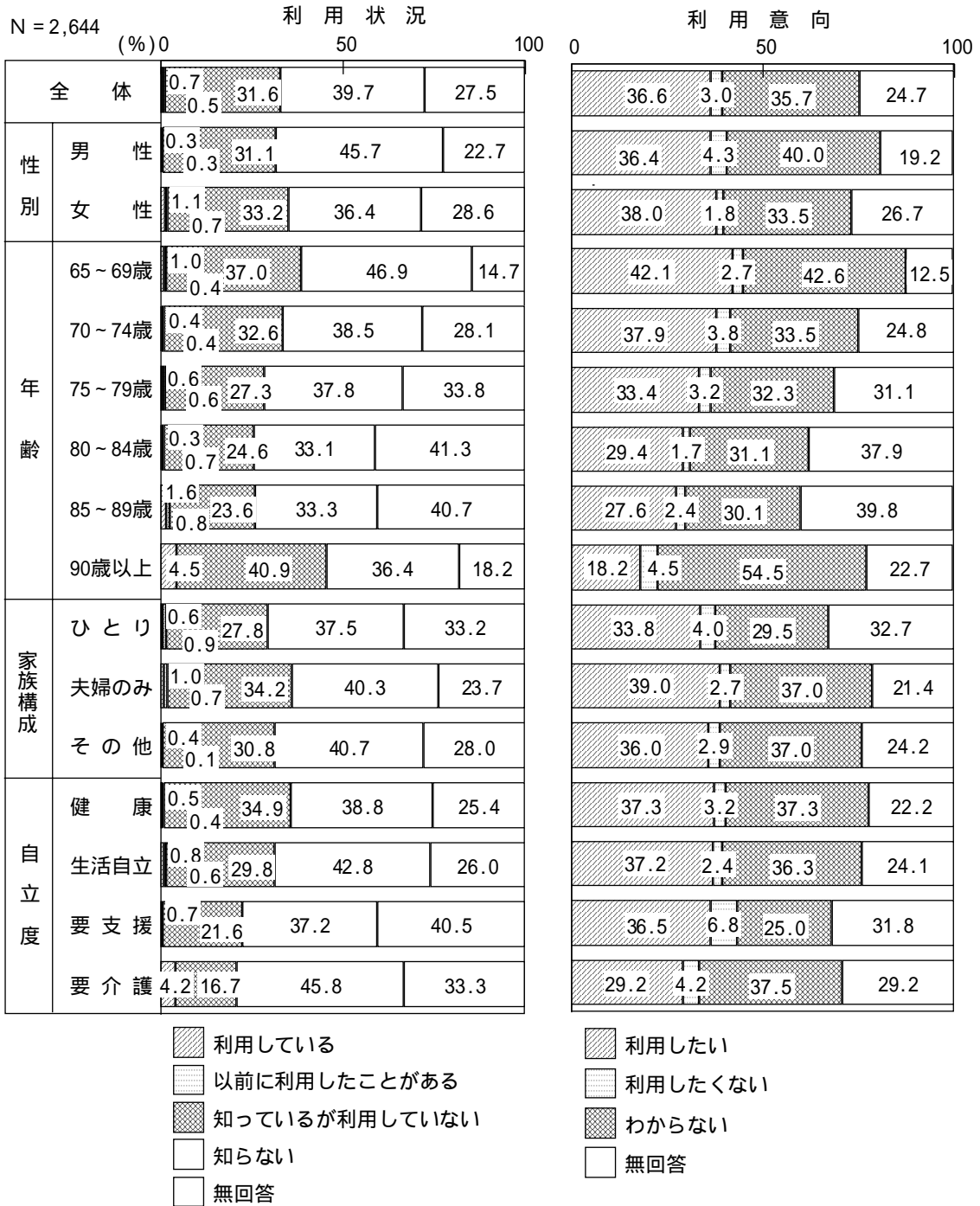
図2-11 生きがい活動支援通所事業の利用状況と利用意向



(2) 地域包括支援センター

地域包括支援センターは、「利用している」が0.7%、「以前に利用したことがある」が0.5%ですが、「利用したい」は36.6%と非常に高い率を示しています。「利用したい」は、年齢別では若年齢層ほど、家族構成別では夫婦のみの世帯、自立度別では自立度の高い人ほど高くなっています。

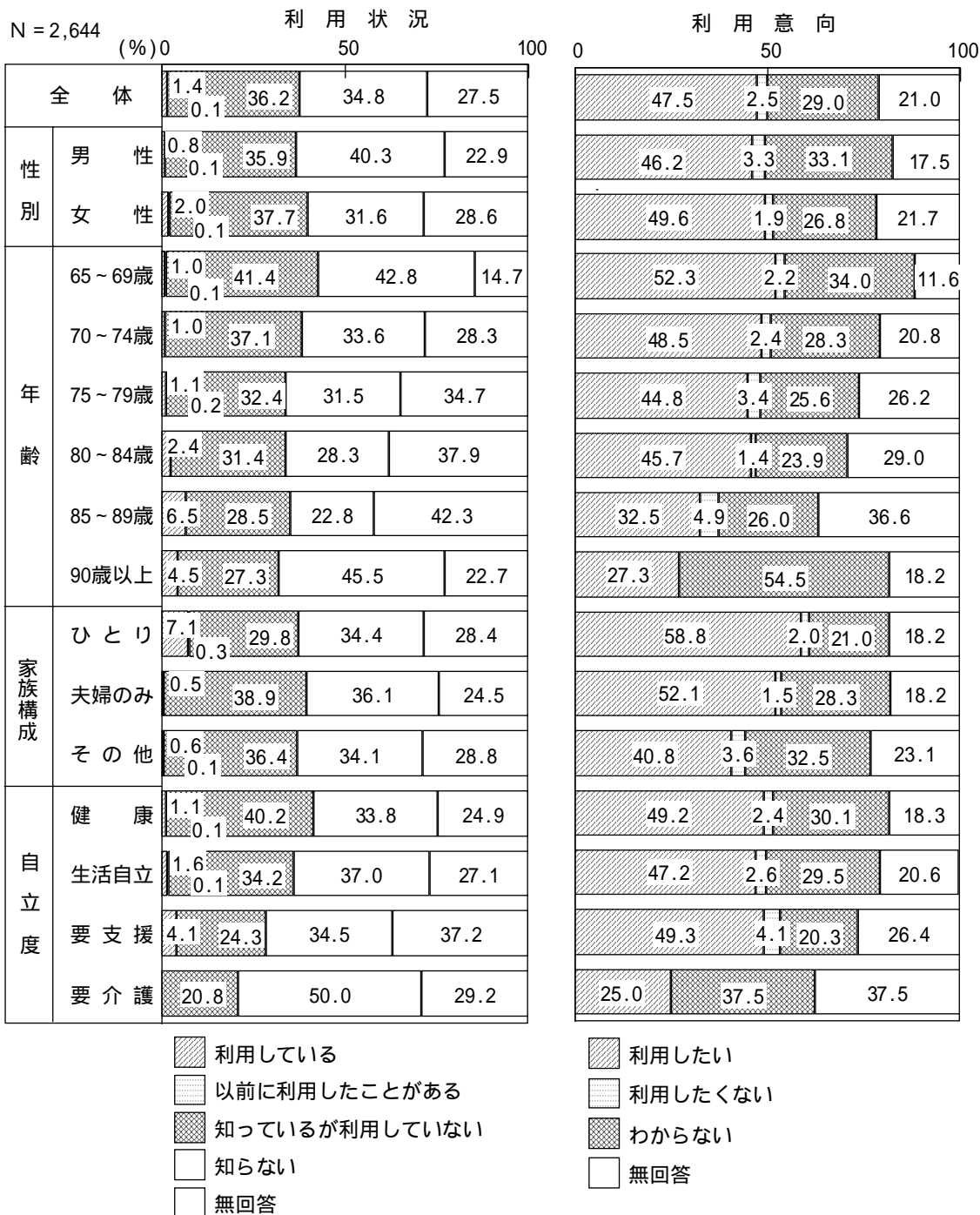
図2 - 12 地域包括支援センターの利用状況と利用意向



(3) 緊急通報システム

緊急通報システムは、「利用している」が1.4%、「以前に利用したことがある」が0.1%ですが、「利用したい」は47.5%と非常に高い率を示しています。「利用したい」は、年齢別では若年齢層ほど、家族構成別ではひとり暮らし、自立度別では、要支援と健康の順で高い傾向がみられます。

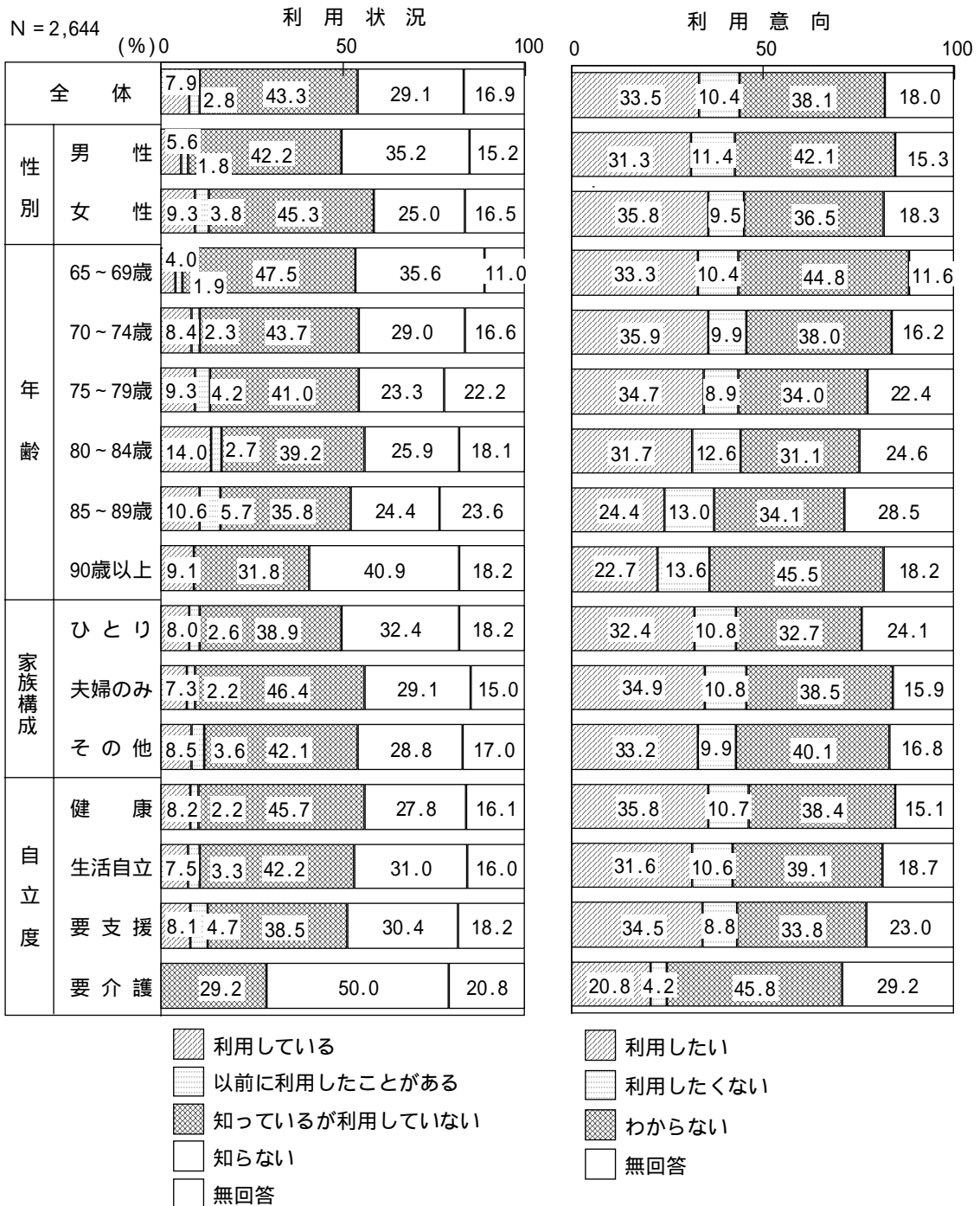
図2 - 13 緊急通報システムの利用状況と利用意向



(4) ふれあいいいきサロン

ふれあいいいきサロンは、「利用している」が7.9%、「以前に利用したことがある」が2.8%あり、「利用したい」は33.5%となっています。「利用している」「以前に利用したことがある」が高いのは、性別の女性、年齢別の80～84歳・85～89歳であり、「利用したい」が高いのは、性別の女性、年齢別の70～74歳、自立度別の健康です。

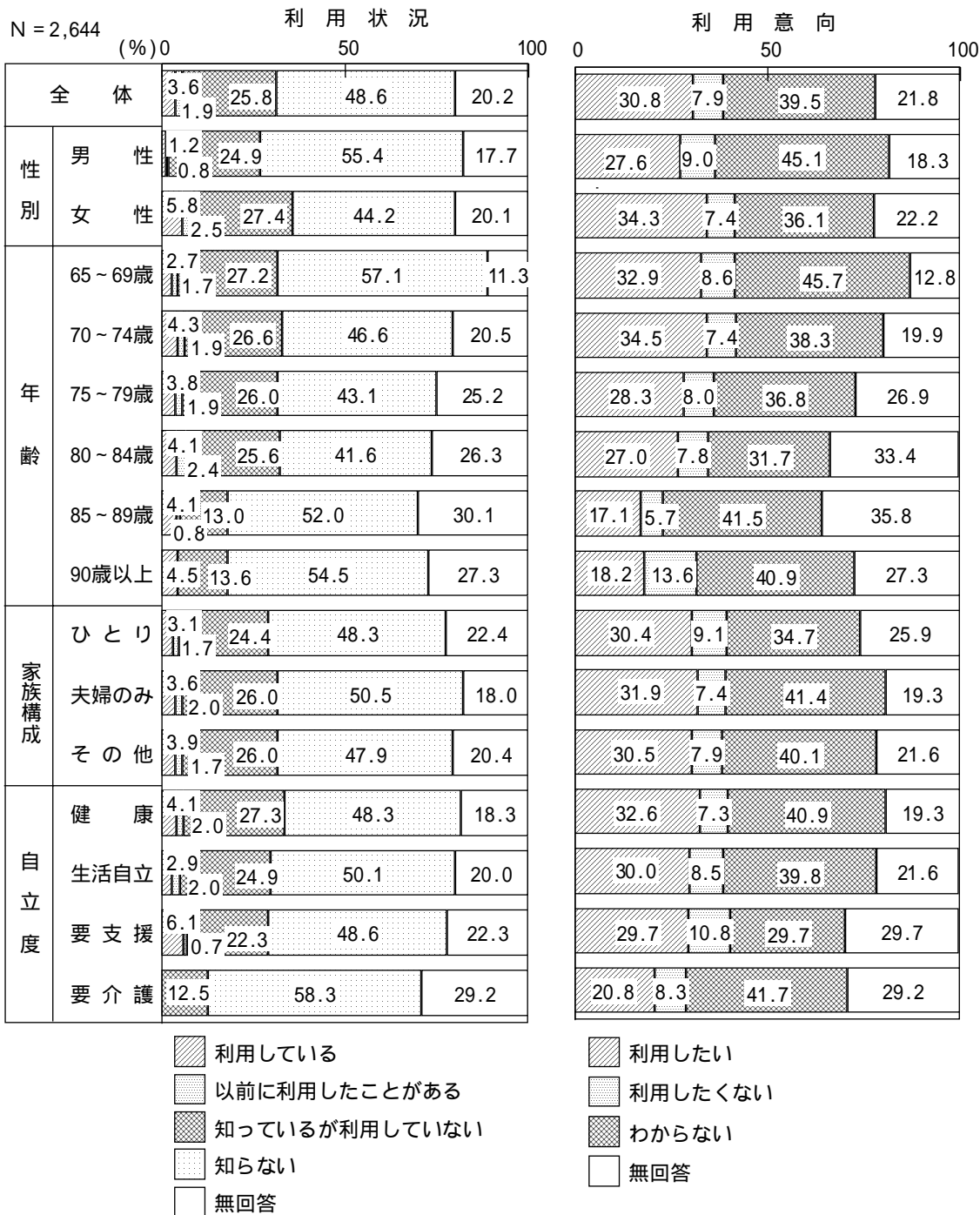
図2 - 14 ふれあいいいきサロンの利用状況と利用意向



(5) 転倒予防教室

転倒予防教室は、「利用している」が3.6%、「以前に利用したことがある」が1.9%です。「利用したい」は30.8%であり、性別の女性、年齢別の70～74歳、自立度別の健康が高くなっています。

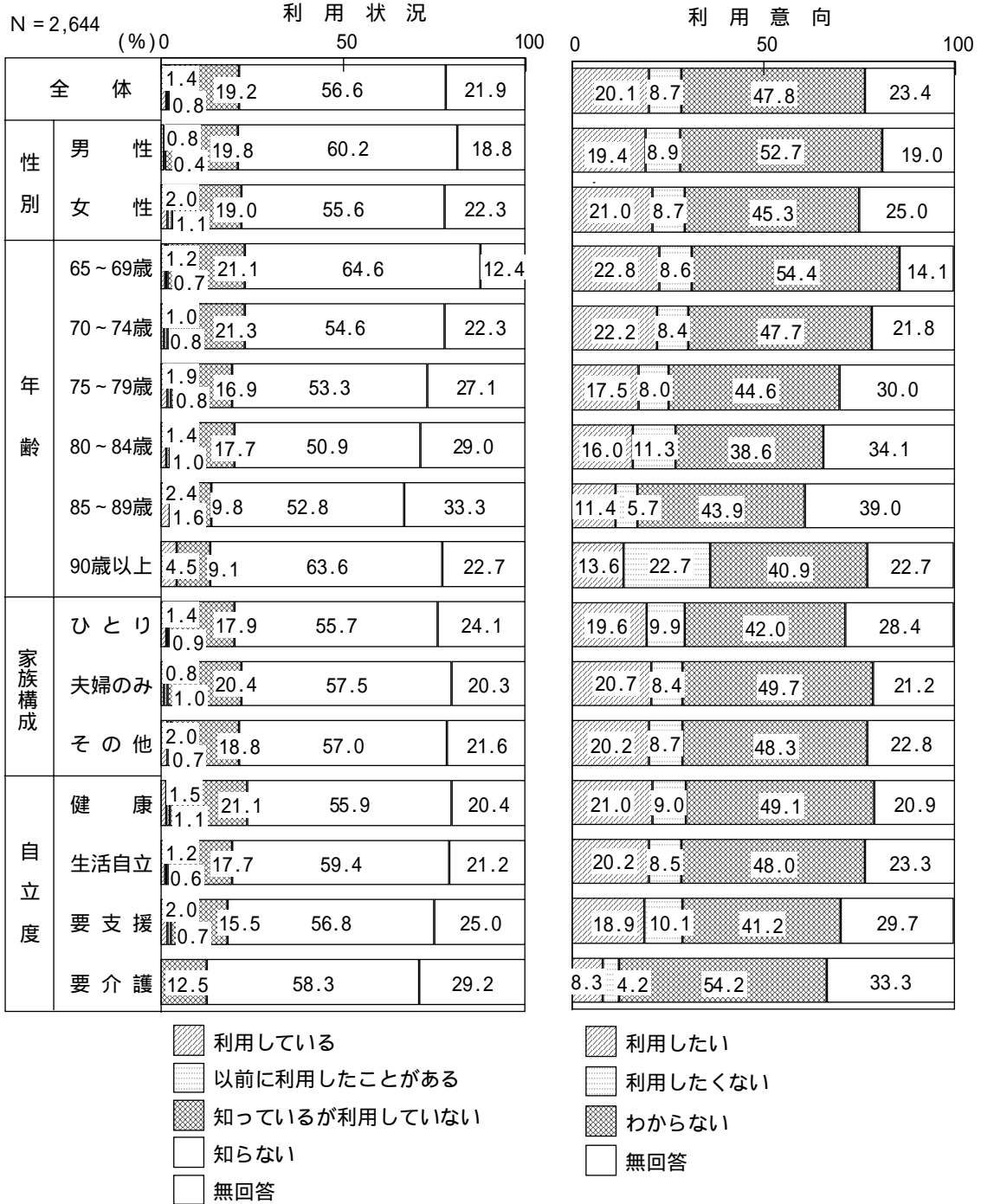
図2 - 15 転倒予防教室の利用状況と利用意向



(6) IADL 訓練事業

IADL 訓練事業は、「利用している」が1.4%、「以前に利用したことがある」が0.8%ですが、「利用したい」は20.1%になっています。「利用したい」は、年齢別では若年齢層ほど、家族構成別では夫婦のみの世帯、自立度別では自立度の高い人ほど高くなっています。

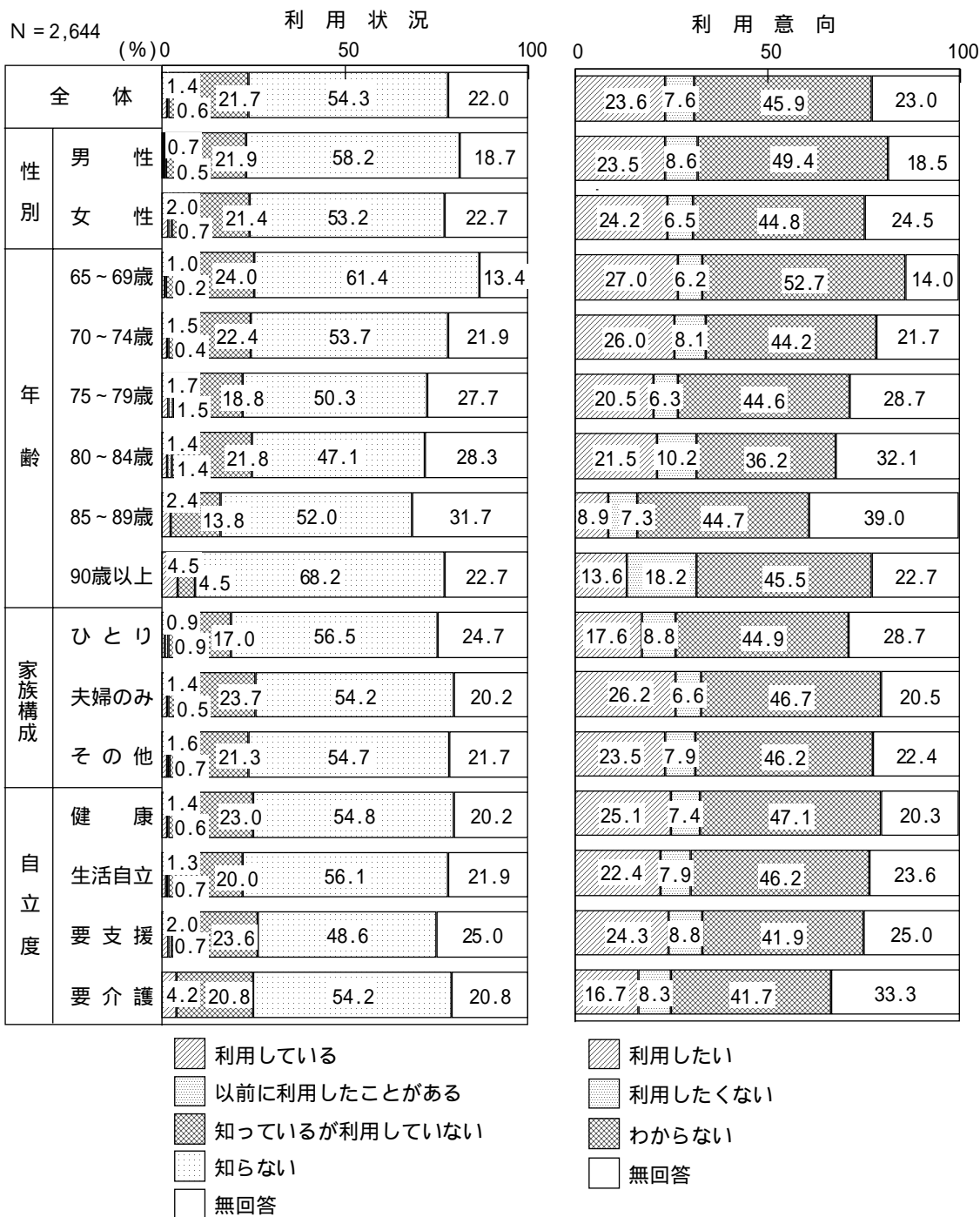
図2 - 16 IADL 訓練事業の利用状況と利用意向



(7) 認知症・介護教室

認知症・介護教室は、「利用している」が1.4%、「以前に利用したことがある」が0.6%ですが、「利用したい」は23.6%になっています。「利用したい」が高いのは、年齢別では若年齢層ほど、家族構成別では夫婦のみの世帯、自立度別では健康です。

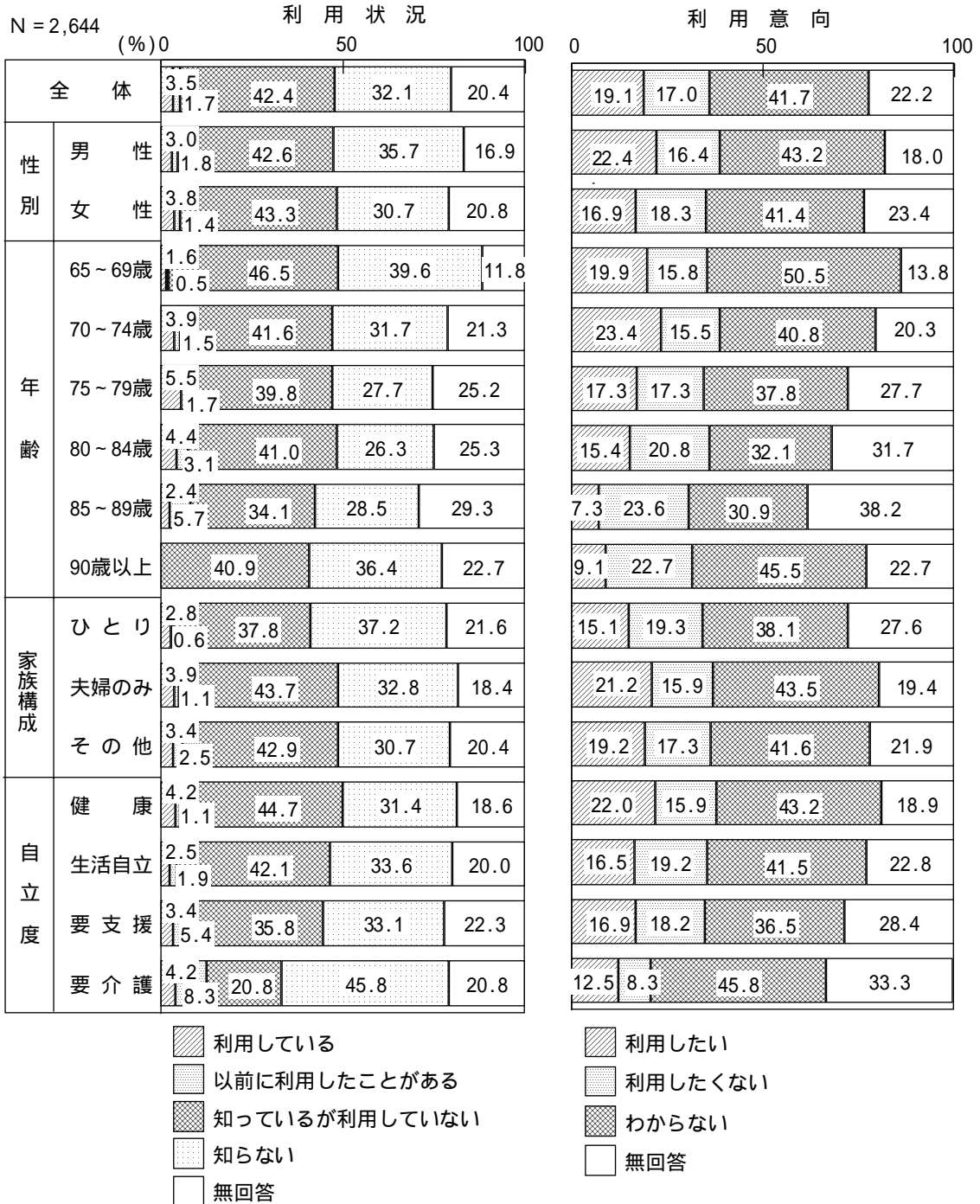
図2 - 17 認知症・介護教室の利用状況と利用意向



(8) 高齢者スポーツ活動促進事業

高齢者スポーツ活動促進事業は、「利用している」が3.5%、「以前に利用したことがある」が1.7%です。「利用したい」は19.1%であり、性別の男性、年齢別の70～74歳、家族構成別の夫婦のみの世帯、自立度別の健康が高くなっています。

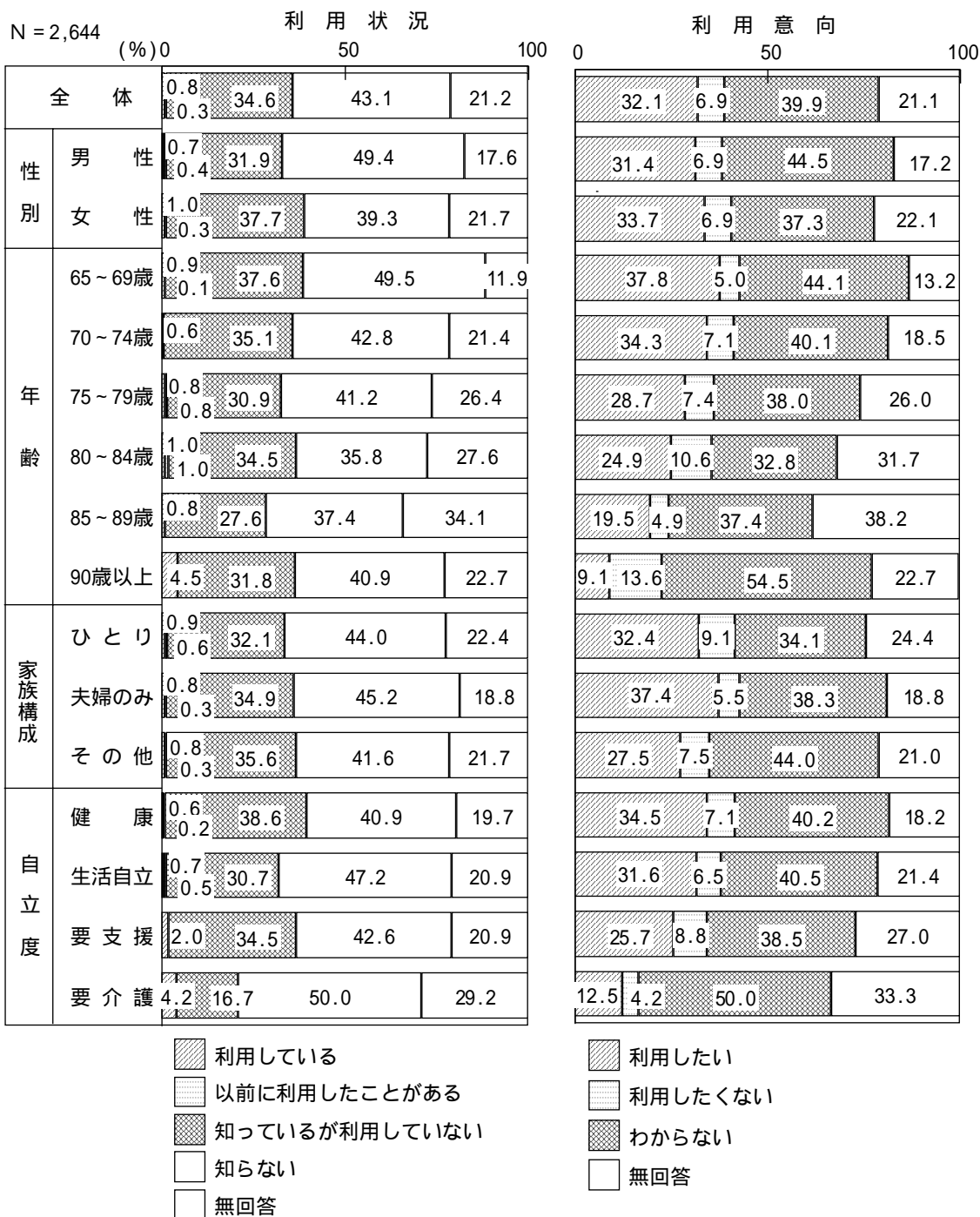
図2-18 高齢者スポーツ活動促進事業の利用状況と利用意向



(9) 配食サービス事業

配食サービス事業は、「利用している」が0.8%、「以前に利用したことがある」が0.3%ですが、「利用したい」は32.1%と非常に高い率を示しています。「利用したい」は、性別では女性、年齢別では若年齢層ほど、家族構成別では夫婦のみの世帯、自立度別では自立度の高い人ほど高くなっています。

図2 - 19 配食サービス事業の利用状況と利用意向



7 健康管理

(1) 健康について心がけていること

健康づくりでどんなことに心がけているかということについては、「毎日の食事や栄養に気をつけている」(69.8%)、「なるべく歩いたりして体を動かしている」(66.9%)、「睡眠や休養を十分にとるなどして規則正しい生活を心がけている」(61.4%)、「定期的に健康診断を受けている」(60.2%)の4項目を6割以上の人があげています。

「適度のスポーツ・運動をしている」「酒やタバコをなるべくひかえるようにしている」「特に心がけていない」以外は、男性より女性が高くなっています。年齢別では、「適度のスポーツ・運動をしている」が加齢とともに低くなる傾向がある以外に特徴的な傾向はみられません。多くの項目で自立度が高いほど高くなる傾向がみられます。

表2 - 4 健康づくりで心がけていること(複数回答)

単位：Nは人、他は%

区 分		N	毎 を日 つ の け 食 て 事 い や る 栄 養 に 気	定 期 的 に 健 康 診 断 を 受	睡 活 る 眠 を な や 心 ど 休 が 規 則 を て 正 し い に 生 と	な 体 る を べ 動 く か 歩 し て い り る し て	適 を 度 し の て ス ポ ー ツ ・ 運 動	酒 い ひ や る か タ バ コ よ う な る し べ く	特 に 心 が け て い な い	そ の 他	無 回 答
全 体		2,644	69.8	60.2	61.4	66.9	27.6	23.8	3.1	3.4	2.8
性 別	男 性	1,134	63.8	57.9	58.4	64.1	30.5	35.0	4.6	3.4	2.6
	女 性	1,330	75.8	63.3	65.0	69.4	25.5	15.3	1.9	3.2	2.5
年 齢	65～69歳	821	67.8	56.5	59.1	65.2	30.2	24.7	4.4	2.7	2.3
	70～74歳	789	70.6	60.6	60.2	67.8	31.9	24.5	2.7	2.7	2.4
	75～79歳	527	71.3	62.2	65.1	67.9	26.0	23.9	1.9	4.0	4.0
	80～84歳	293	68.9	64.5	64.8	68.3	20.8	20.8	4.1	5.5	2.0
	85～89歳	123	77.2	63.4	63.4	65.0	15.4	22.8	1.6	4.1	3.3
	90歳以上	22	63.6	59.1	68.2	68.2	9.1	22.7	4.5	-	4.5
家 族 構 成	ひ と り	352	75.3	61.4	62.5	70.7	26.1	18.8	1.4	2.6	3.7
	夫 婦 の み	1,096	71.7	61.4	60.4	67.3	31.8	26.0	2.8	2.9	2.1
	そ の 他	1,146	66.8	58.9	62.0	65.4	24.6	23.8	3.9	3.8	3.1
自 立 度	健 康	1,388	71.9	58.3	64.4	69.4	32.9	24.0	3.1	3.1	2.1
	生 活 自 立	1,019	69.3	64.4	59.3	66.1	23.4	25.0	3.2	3.5	2.8
	要 支 援	148	62.2	60.8	55.4	57.4	15.5	19.6	2.0	2.7	2.7
	要 介 護	24	45.8	37.5	58.3	29.2	12.5	4.2	8.3	20.8	8.3

「その他」として、以下の記述がありました。

酒・煙草は口にしない。(10件)

農作業(畑仕事)をしている。(7件)

散歩・ウォーキング・ジョギング(7件)

体操をしている。(5件)

仕事をしている。(4件)

趣味を楽しむ。(3件)

頭を使うようにしている。(2件)

新聞や本を読む。(2件)

仲間との交流(2件)

アルバイトをする。

三度の食事

外出をする。

ダンベル体操

登山

主人に会わせているので、自分の考えは通用しない。

ストレス解消のために友人とショッピング

時々ヨガをする。

月に2~3回会社に顔を出す。

趣味を楽しんだり、人とのつき合い。

そして身の回りを清潔にして健康を保っています。

趣味の教室に参加し、参加者と交流し、リフレッシュする。

月に1~2回霊場巡り

日曜大工を楽しむ。

パソコン、囲碁など、目標をもって、若い人に負けないよう努力している。

骨折しないようにいろいろ考えて生活している。

乾布摩擦

冬はあまりしていないが、夏にはウォーキングをするようにしている。

寝たきり老人をなくすための筋トレ体操をサポートとして推奨している。

呆け防止に4年前よりパソコン教室に通っている。

高齢者用の無料の温泉施設をつくってほしい。

生涯学習として合唱をしている。

早寝早起き、常時体を動かすようにしている。

血流がさらさらになるための薬と水を摂っている。

(2) 健康について知りたいこと

健康について知りたいこととして、「がんや高血圧などの生活習慣病の予防について」(35.1%) および「認知症の予防について」(33.0%) が高い率を示しています。また、「特にない」も22.9%あります。

「ストレスの解消等について」「ねたきりの予防について」「認知症の予防について」は、女性が男性よりかなり高くなっています。年齢別では、「ねたきりの予防について」「特にない」は加齢とともに高くなる傾向がみられ、この2項目以外は加齢とともに低くなる傾向がみられます。家族構成別にみると、多くの項目でひとり暮らしが最も高くなっています。自立度別では、「ストレスの解消等について」「ねたきりの予防について」以外の項目については、生活自立・健康が高くなっています。

表2 - 5 健康について知りたいこと(複数回答)

単位：Nは人、他は%

区 分		N	が 習 慣 や 病 の 予 防 な ど の 生 活	食 生 活 の あ り 方 に つ い て	健 康 増 進 へ 運 動 な ど の	ス ト レ ス の 解 消 等 に つ い て	健 康 診 査 の 内 容 や 受 け 方	ね た き り の 予 防 に つ い て	歯 の 健 康 に つ い て	認 知 症 の 予 防 に つ い て	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全 体		2,644	35.1	24.1	19.5	23.2	15.5	17.9	12.2	33.0	22.9	1.1	10.2
性 別	男 性	1,134	36.1	22.9	21.6	18.5	16.2	14.5	12.6	29.1	25.9	1.0	8.7
	女 性	1,330	35.1	25.0	18.2	27.6	15.7	21.2	12.0	37.0	20.5	0.9	10.2
年 齢	65～69歳	821	36.4	22.8	19.4	26.4	16.8	15.5	11.6	33.4	22.0	1.2	7.7
	70～74歳	789	35.7	26.4	21.5	22.1	15.5	17.6	12.2	34.2	21.5	1.3	9.6
	75～79歳	527	35.9	23.7	18.6	22.4	16.9	19.7	14.6	31.9	21.8	0.9	12.5
	80～84歳	293	35.8	26.3	18.1	23.9	13.7	20.1	11.9	34.5	23.5	0.7	10.9
	85～89歳	123	22.8	16.3	15.4	13.0	10.6	20.3	9.8	29.3	39.0	-	14.6
	90歳以上	22	13.6	13.6	4.5	13.6	4.5	18.2	9.1	27.3	40.9	-	4.5
家 族 構 成	ひ と り	352	36.1	28.7	21.6	25.3	16.5	17.9	14.5	29.5	23.3	1.1	10.5
	夫 婦 の み	1,096	38.0	24.1	18.6	22.7	16.0	17.2	11.2	34.6	21.9	1.1	8.9
	そ の 他	1,146	32.2	22.9	20.1	23.6	15.2	18.8	12.7	33.0	23.7	0.9	10.7
自 立 度	健 康	1,388	36.2	22.7	19.4	20.5	15.3	15.4	11.8	31.5	24.9	0.9	9.4
	生 活 自 立	1,019	35.2	27.1	20.7	26.4	16.3	21.4	13.1	36.6	20.9	1.2	9.4
	要 支 援	148	33.1	22.3	16.9	25.0	16.2	22.3	13.5	31.1	18.9	2.0	12.2
	要 介 護	24	16.7	12.5	12.5	37.5	8.3	25.0	8.3	29.2	25.0	4.2	8.3

「その他」として、以下の記述がありました。

テレビ、新聞等で少しは知っている。(2件)

日々、勉強している。(2件)

かかりつけ医がいるので、心配ない。(2件)

日頃、気をつけているので、これ以上は知りたくない。

月に1～2回健康診査を受けている。

すべて心得ている。

近親に医師あり、予備知識はある。

趣味、講話、研修、小旅行等の集いによる楽しみ

高齢者にできる運動を教えてください。体の弱っている者は運動といっても大変です。

骨粗しょう症の予防について

健康的なよい入れ歯がほしい。

足のしびれ、筋力、筋肉けいれんの緩和

国民皆健常者を目標とした長期の施策の進め方(幼児から生涯)

(3) 介護予防

市に力を入れてほしい介護予防としては、「生活習慣病の予防」(34.8%)、「認知症予防」(33.1%)および「軽運動(筋力向上等)の推進」(31.5%)の3項目が3割を超えています。「軽運動(筋力向上等)の推進」「歯の健康づくり」「生活習慣病の予防」は男性が高く、「認知症予防」は女性が高くなっています。多くの項目で若年齢層ほど高い傾向がみられます。

表2-6 市に力を入れてほしい介護予防(複数回答)

単位：Nは人、他は%

区分		N	軽運動の推進	食生活の改善	閉じこもり予防	足指・爪のケアの促進	認知症予防	日常生活の動作訓練	歯の健康づくり	生活習慣病の予防	その他	無回答
全体		2,644	31.5	24.7	17.2	4.2	33.1	15.8	9.3	34.8	2.4	22.6
性別	男性	1,134	35.2	24.8	17.2	3.5	31.7	15.5	11.5	37.9	3.2	18.3
	女性	1,330	29.3	24.7	17.7	4.8	35.1	15.8	8.0	33.5	2.0	24.3
年齢	65～69歳	821	34.5	25.0	19.9	3.2	35.4	15.3	8.8	37.0	2.9	17.4
	70～74歳	789	34.0	25.7	16.5	4.7	32.2	17.0	10.5	36.8	2.3	21.9
	75～79歳	527	28.8	23.5	16.9	4.4	33.0	12.9	10.8	33.2	2.5	24.3
	80～84歳	293	26.6	27.0	13.3	4.1	30.7	19.1	7.8	37.5	1.4	26.6
	85～89歳	123	22.0	17.9	14.6	7.3	34.1	13.0	4.9	19.5	1.6	35.0
	90歳以上	22	22.7	4.5	13.6	-	31.8	18.2	4.5	13.6	-	40.9
家族構成	ひとり	352	28.4	27.3	19.0	4.3	27.8	17.0	8.2	34.7	1.4	28.4
	夫婦のみ	1,096	33.7	23.7	16.3	3.6	33.4	15.9	9.1	37.7	2.6	19.8
	その他	1,146	30.6	25.0	17.5	4.7	34.6	15.4	9.9	32.9	2.5	22.8
自立度	健康	1,388	33.1	22.5	16.8	3.5	32.4	14.3	8.4	36.0	2.4	21.0
	生活自立	1,019	30.8	27.8	17.9	4.5	35.1	17.3	10.3	35.0	2.4	23.0
	要支援	148	25.0	26.4	17.6	7.4	33.1	18.2	12.2	27.7	2.7	25.0
	要介護	24	20.8	16.7	25.0	12.5	29.2	25.0	16.7	25.0	8.3	29.2

「その他」として、以下の記述がありました。

ない。(7件)

わからない。(7件)

自分自身の問題。諸々気をつけるようにしたい。(3件)

解決すべき情報を広報で知らせてほしい。

言語訓練

検診の機会を増やし、早期発見につなげてほしい。

シルバー体操教室(体育館を利用)

食料の購入は、車で用を足しているが、乗れなくなった時が心配

総合的に相談できる所

自助自立が原則。行政を頼らないこと

健康は自分でつくっていくもの

保険料を年金から差し引くだけで、介護が十分受けられないと聞きます。

あまりお金を使ってほしくない。これ以上の負担は困るから。

介護予防ということで、上記のことを特別にするのではなく、市民を対象とする一般の事業を展開すればよい。

該当する、しないかもしれない症状にきめ細やかに対応

地域(近所)に屋外で運動ができる場所があれば、自分の体調に合わせて軽運動ができる。

介護保険料を上げても実態が伴わない。信じられない。

市が何をどこまでやっているのかわからない。

全部必要なことばかりで、しかも今の制度でできることばかりである。自己管理のための定期健康診断を市の業務として実施。中途半端な指導機関・指導員を増やすより、上記に補助金を出した方がいい。個人の意識を喚起することが重要

介護サービス施設などを見学させてほしい。希望者を対象に、認知症の人などが入居してみえる施設の説明をしてほしい。

高齢者用の軽運動施設の設置。民間運動施設への高齢者優先制度

期待していない。

見聞する所によると、真剣な対応に欠けるとか？

(4) 食事の状況

「食事は、どのようにとられていますか」という設問に対しては、「自宅で調理した食事」が96.3%という高い率です。ひとり暮らしは、「店で売っている調理済食品（そうざい）」「外食」が他より高くなっています。

表2 - 7 食事の状況（複数回答）

単位：Nは人、他は%

区 分		N	自宅で調理した食事	店で売っている調理済食品	店で売っている弁当	出前による食事	配食サービスによる食事	外食	その他	無回答
全 体		2,644	96.3	24.6	7.4	0.9	1.1	21.7	0.9	1.9
性 別	男 性	1,134	95.5	23.4	9.5	0.6	1.9	23.0	0.9	1.9
	女 性	1,330	97.4	25.5	5.5	1.2	0.6	21.4	0.9	1.6
年 齢	65～69歳	821	95.6	21.9	7.7	0.9	1.5	23.0	0.7	2.2
	70～74歳	789	97.2	23.3	8.0	1.0	1.0	23.8	1.0	1.8
	75～79歳	527	97.5	27.9	6.8	0.9	0.8	20.1	0.6	0.8
	80～84歳	293	94.5	29.7	7.8	0.3	0.7	20.5	1.7	3.1
	85～89歳	123	95.1	28.5	6.5	3.3	2.4	14.6	0.8	2.4
	90歳以上	22	100.0	9.1	-	-	-	4.5	-	-
家 族 構 成	ひ と り	352	93.5	34.9	8.8	0.3	1.4	28.1	1.7	2.3
	夫 婦 の み	1,096	97.4	26.8	7.7	1.0	1.5	24.5	0.7	1.6
	そ の 他	1,146	96.4	19.7	6.8	1.0	0.8	17.5	0.7	1.9
自 立 度	健 康	1,388	97.1	20.8	5.6	0.9	1.2	22.9	0.8	1.7
	生 活 自 立	1,019	96.4	28.6	8.5	0.9	0.9	21.3	0.9	2.1
	要 支 援	148	91.9	33.8	14.2	1.4	1.4	19.6	1.4	0.7
	要 介 護	24	87.5	29.2	8.3	-	8.3	4.2	4.2	4.2

「その他」として、以下の記述がありました。

たまに外食もする。(5件)

昼は外食(2件)

病院の給食(2件)

冷凍食品

朝昼は外食、夕食は自宅調理

バイト先の給食

月に1回、友人と外食

たまに店で売っている調理済み食品を食べる。

介護する側なので食事には気をつかう。

取り立ての野菜などで自分の調理した食事を心がけています。

夕食材料を取って調理している。

朝食は会社でパンと牛乳

8 病気等

「現在、あなたは何か病気をかかえていますか」という設問に対して、「かかえている病気はない」と答えたのは12.9%だったので、調査対象者の85%以上は何らかの病気をかかえていることとなります。最も高いのは「高血圧」(37.9%)、次いで「目の病気(白内障、緑内障など)」(23.5%)、「歯・歯周病」(19.4%)、「心臓病」(13.2%)、「糖尿病」(12.8%)などとなっています。「高血圧」「骨折」「目の病気(白内障、緑内障など)」「リュウマチ、神経痛」「骨粗しょう症」は女性が高く、それ以外は男性が高くなっています。加齢とともに高くなっている傾向がみられるのは、「心臓病」「骨折」「目の病気(白内障、緑内障など)」「耳鼻の疾患」であり、その逆の傾向がみられるのは、「糖尿病」「歯・歯周病」「かかえていない病気はない」です。

表2-8 かかえている病気等(複数回答)

単位：Nは人、他は%

区分	N	高血圧	心臓病	呼吸器疾患	胃腸病	糖尿病	肝臓病	腎疾患	骨折	歯・歯周病	目の病気	耳鼻の疾患	リュウマチ、神経痛	骨粗しょう症	認知症	その他	病気はない	無回答	
全体	2,644	37.9	13.2	5.4	8.2	12.8	4.7	2.8	1.9	19.4	23.5	10.1	7.6	9.3	0.9	12.7	12.9	5.0	
性別																			
男性	1,134	37.2	15.0	7.1	9.2	15.6	5.8	3.8	1.1	21.4	20.3	11.7	6.7	2.6	1.1	13.1	12.9	4.2	
女性	1,330	39.5	11.1	3.8	6.8	10.6	3.3	1.8	2.3	18.0	26.8	8.6	8.2	15.0	0.8	12.6	13.8	4.9	
年齢																			
65～69歳	821	35.1	9.6	4.4	5.7	11.2	4.9	2.2	0.9	18.8	17.8	7.8	5.5	5.6	0.2	13.9	17.5	5.0	
70～74歳	789	38.5	12.2	4.6	9.1	15.1	5.2	3.2	1.8	21.7	23.2	10.4	8.4	7.9	0.5	12.5	12.5	4.7	
75～79歳	527	41.4	16.5	7.4	9.1	13.9	3.8	3.0	1.9	20.5	26.8	10.2	7.8	12.1	1.5	13.3	8.5	5.7	
80～84歳	293	42.0	17.1	5.8	10.2	11.6	4.4	3.8	3.4	16.0	31.7	10.6	8.9	16.4	1.4	10.2	12.3	4.1	
85～89歳	123	30.9	16.3	7.3	8.1	9.8	4.9	2.4	4.9	16.3	36.6	14.6	11.4	12.2	3.3	8.1	8.9	4.9	
90歳以上	22	31.8	22.7	4.5	4.5	4.5	4.5	-	4.5	13.6	18.2	22.7	9.1	13.6	-	13.6	9.1	-	
自立度																			
健康	1,388	34.1	6.0	2.6	5.3	8.1	2.6	0.9	0.5	16.8	18.3	6.8	3.2	6.1	0.4	8.9	22.2	6.7	
生活自立	1,019	43.9	21.8	8.3	11.1	18.6	7.9	5.4	2.7	22.5	28.4	13.6	12.3	12.7	1.1	17.2	2.0	2.4	
要支援	148	41.2	23.6	13.5	13.5	17.6	2.0	4.1	5.4	21.6	36.5	14.2	12.2	17.6	2.7	16.2	4.1	3.4	
要介護	24	20.8	4.2	4.2	20.8	12.5	4.2	-	16.7	25.0	33.3	16.7	8.3	8.3	12.5	25.0	4.2	4.2	

「その他」として多くの病名等が記載されておりました。次表はその病名等を分類したものです。

表2 - 9 選択肢になかった病名等

分 類	病 名 等	件数
新生物（がん）	前立腺がん(3) 胃がん(2) がん(2) 大腸がん	8
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障がい	白血病	1
精神及び行動の障がい	うつ病(6) 自律神経失調症 精神病	8
神経系の疾患	くも膜下(2) 頭痛(2) 神経的疾患(2) 下垂体腫瘍 脊髄の病気 パーキンソン病	9
眼及び付属器の疾患	加齢黄斑変性症 シェーングレン症候群 めまい メニエル	4
耳及び乳様突起の疾患	耳が聞こえにくい(4) 耳鳴り(2)	6
循環器系の疾患	高脂血症(20) 脳梗塞(17) コレステロール(13) 甲状腺(11) 膵臓(5) 痛風(3) 貧血(3) 狭心症(2) 胆石(2) 突発性血小板減少性紫斑病(2) 不整脈(2) バセドウ病(2) 骨髄異形性症候群 脂質異常症 心筋梗塞 動脈閉塞症 動脈瘤 脳血管 脳動脈瘤 橋本病 閉塞性動脈瘤 拡張型心筋症	92
呼吸器系の疾患	アレルギー(5) 風邪 花粉症 気管支喘息 じん肺 喘息	10
消化器系の疾患	C型肝炎(4) 人工肛門(3) 痔(3) 胃潰瘍 大腸ポリープ 直腸機能障害 慢性腸閉塞 慢性すい炎	15
皮膚及び皮下組織の疾患	皮膚病(3) うおのめ、たこ	4
筋骨格系及び結合組織の疾患	腰痛(25) 膝痛(13) 変形性膝関節症(6) 脊柱管狭窄症(4) 椎間板ヘルニア(3) 腰部脊柱管狭窄症(3) 股関節脱臼症(2) 足の痺れ(2) 肩こり(2) 足が悪い 腕の脱臼 関節炎 後縦靭帯骨化症 骨折後の痛み 坐骨神経痛 人工関節 先天性小児麻痺 脊椎圧迫骨折の後遺症 変性すべり症 多発性骨髄腫 背骨の痛み	72
尿路性器系の疾患	前立腺(23) 尿崩症 排尿障害 頻尿	26
傷病の外因	交通事故の後遺症 手術後の後遺症	2
その他	膠原病 病弱	2

(注) 「病名等」欄の()内の数字は件数、()がないものは1件である。

9 相談相手

「健康や福祉のことで困ったとき、誰に相談しますか」という設問に対しては、「家族・親族」を77.4%の人があげ、次いで「かかりつけの医師など」が52.8%となっています。福祉に関する相談相手では、「民生委員」(9.7%)、「シルバー110番」(4.4%)、「地域包括支援センター」(4.0%)、「社会福祉協議会」(3.0%)など低い率でした。

表2 - 10 健康や福祉についての相談相手(複数回答)

単位：Nは人、他は%

区分	N	家族・親族	友人・知人	民生委員	近所の人	保健所・市民健康センター	市役所の相談窓口	社会福祉協議会	かかりつけの医師など	地域包括支援センター	シルバー110番	その他	相談する人が誰もいない	無回答	
全体	2,644	77.4	21.1	9.7	7.6	6.7	16.8	3.0	52.8	4.0	4.4	0.8	1.0	4.0	
性別	男性	1,134	78.0	16.0	9.9	5.9	8.0	19.5	3.6	54.5	4.1	5.1	0.8	1.1	3.5
	女性	1,330	78.3	26.8	9.7	9.2	5.9	14.4	2.3	52.8	4.1	3.8	0.8	0.9	3.8
年齢	65～69歳	821	75.5	25.3	7.4	6.7	6.6	20.2	3.5	50.2	5.0	3.7	0.7	1.2	4.4
	70～74歳	789	76.4	22.1	11.3	7.4	8.9	18.6	3.5	53.4	3.3	5.1	0.8	0.9	4.1
	75～79歳	527	80.8	20.3	10.2	8.2	4.7	12.5	2.1	58.1	3.8	3.4	0.6	0.6	2.5
	80～84歳	293	78.8	12.6	13.0	8.5	6.1	10.9	1.7	53.2	3.1	5.5	0.7	1.0	5.8
	85～89歳	123	81.3	14.6	6.5	12.2	6.5	13.0	2.4	49.6	4.9	6.5	2.4	0.8	3.3
	90歳以上	22	90.9	13.6	4.5	4.5	-	9.1	-	54.5	4.5	-	-	4.5	-
家族構成	ひとり	352	66.8	28.1	19.3	10.2	5.1	16.2	4.3	47.7	3.1	3.4	1.4	1.4	4.0
	夫婦のみ	1,096	77.9	20.5	9.2	7.4	8.0	17.8	3.3	55.8	4.2	5.4	0.5	1.0	3.6
	その他	1,146	81.0	20.1	7.2	7.1	6.1	15.7	2.3	51.8	4.1	3.8	0.8	0.9	4.0

「その他」として、以下の記述がありました。

自分で調べる。(2件)

医学書

自治会長

母の担当のケアマネジャー

市議員

薬剤師会介護担当理事

病気のことは医師に相談するが、生活のこと等について相談する人がいない。

弁護士

10 外出

(1) 外出時の主な移動手段

外出のときの主な移動手段としては、「徒歩」(49.0%)、「自転車」(46.4%)、「自家用車(自分で運転)」(42.1%)、「バス」(38.5%)などが高くなっています。男性は女性より「自家用車(自分で運転)」が高く、それ以外の項目は女性のほうが高くなっています。要支援・要介護は、「車いす」「タクシー」「自家用車(乗せてもらう)」が高く、それ以外の項目は健康・生活自立のほうが高くなっています。

表2 - 11 外出時の主な移動手段(複数回答)

単位：Nは人、他は%

区分		N	徒歩	自転車	車いす	バス	電車	車いす専用タクシー	タクシー	自家用車(自分で運転)	自家用車(乗せてもらう)	バイク	その他	無回答
全体		2,644	49.0	46.4	0.5	38.5	7.4	0.1	10.2	42.1	28.1	1.4	0.3	2.0
性別	男性	1,134	44.3	44.5	0.6	30.4	6.8	0.3	6.7	67.2	13.5	1.8	0.3	1.8
	女性	1,330	53.8	48.4	0.3	45.5	7.8	-	13.0	21.7	40.7	1.1	0.4	1.6
年齢	65～69歳	821	43.5	46.9	0.2	30.9	7.4	0.1	4.6	53.0	24.4	1.7	0.4	2.1
	70～74歳	789	50.3	48.5	0.4	41.3	9.5	-	6.8	46.4	26.1	1.5	0.3	2.0
	75～79歳	527	52.9	45.9	0.8	45.7	6.3	0.2	16.1	34.9	28.7	1.3	0.2	0.8
	80～84歳	293	51.2	46.4	0.3	39.2	4.8	0.3	20.1	25.6	36.2	0.7	0.7	3.4
	85～89歳	123	61.8	35.0	0.8	40.7	4.1	-	19.5	22.8	35.8	-	0.8	0.8
	90歳以上	22	40.9	31.8	-	27.3	4.5	-	13.6	9.1	72.7	-	-	4.5
家族構成	ひとり	352	53.7	51.7	0.3	52.0	10.2	-	15.3	26.1	18.2	0.9	0.3	2.0
	夫婦のみ	1,096	50.5	47.4	0.5	37.7	6.7	0.1	9.8	46.9	27.9	1.4	0.4	1.6
	その他	1,146	46.7	44.5	0.4	35.3	7.4	0.1	9.2	43.1	31.2	1.5	0.3	2.1
自立度	健康	1,388	49.0	48.1	0.1	36.9	7.4	0.1	8.1	47.3	26.0	1.6	0.1	1.7
	生活自立	1,019	50.6	46.0	0.5	42.5	7.9	-	10.8	39.6	28.4	1.2	0.7	1.9
	要支援	148	45.9	41.2	0.7	31.8	6.8	-	24.3	20.3	39.9	1.4	0.7	0.7
	要介護	24	25.0	12.5	20.8	16.7	-	8.3	20.8	12.5	45.8	-	-	16.7

(2) 外出するうえで困ること

「外出するうえで困ることはなんですか」という設問に対して、「困ることはない」と答えたのは32.8%です。「車などに危険を感じる」(21.3%)、「道路や駅に段差や階段、障害物などが多い」(19.7%)、「バス・電車などが容易に利用できるよう改良されていない」(18.2%)などの順になっています。要介護は、「ほとんど外出しないのでわからない」が37.5%と高くなっています。

表2 - 12 外出するうえで困ること(複数回答)

単位：Nは人、他は%

区 分		N	バス よう 改良 が容 易に 利用 でき	乗 物 か や 公 共 施 設 の 案 内 表 示 が	道 路 な ど が 多 い	出 入 口 が 改 良 さ れ て い な い な ど 建	車 な ど に 危 険 を 感 じ る	そ の 他	ほ と ん ど 外 出 し な い の で わ か	困 る こ と は な い	無 回 答
全 体		2,644	18.2	15.7	19.7	13.2	21.3	3.4	4.0	32.8	11.2
性 別	男 性	1,134	16.8	15.7	16.5	13.6	19.2	3.4	3.8	37.6	9.7
	女 性	1,330	19.7	15.9	22.7	13.2	23.1	3.7	4.3	30.1	10.5
年 齢	65～69歳	821	16.3	14.5	19.7	14.4	17.4	3.3	2.1	39.8	9.5
	70～74歳	789	19.3	17.4	17.4	12.3	22.1	4.6	2.2	33.8	10.9
	75～79歳	527	21.4	17.6	21.6	13.7	22.6	3.0	3.6	28.5	11.6
	80～84歳	293	18.4	16.4	22.5	13.3	27.0	2.0	8.2	23.9	12.3
	85～89歳	123	13.8	8.1	18.7	10.6	26.0	4.1	15.4	25.2	13.0
	90歳以上	22	13.6	-	18.2	4.5	9.1	-	31.8	22.7	9.1
家 族 構 成	ひ と り	352	21.0	16.8	21.6	9.1	23.6	2.3	3.7	32.7	11.1
	夫 婦 の み	1,096	17.4	15.8	20.0	14.1	21.1	4.3	2.6	33.5	10.5
	そ の 他	1,146	18.3	15.4	19.2	13.5	21.1	3.0	5.4	32.7	11.3
自 立 度	健 康	1,388	16.6	14.6	17.0	10.7	17.4	3.4	2.4	39.9	10.4
	生 活 自 立	1,019	20.0	17.3	22.7	16.0	25.8	3.5	4.6	26.5	11.2
	要 支 援	148	24.3	19.6	27.7	18.9	32.4	3.4	9.5	16.2	7.4
	要 介 護	24	8.3	4.2	20.8	25.0	8.3	4.2	37.5	8.3	8.3

「その他」として、以下の記述がありました。

自転車（歩道を走る）が危険（10件）
バスが少なく、値段が高い。（4件）
自転車の暴走（3件）
バス停が遠い。（3件）
歩道が整備されていない。（2件）
バスが早く出発したがるので怖い（動きが鈍いから）。（2件）
バスの本数が少ない。（2件）
自転車道がない。（2件）
バス料金が安い。（2件）
自転車通行の時、段差に困る。
車道と歩道の段差
車道と歩道をきちんとわける。
歩道が狭い。
地下道が汚い。
外灯がほしい（夜間買い物に出るのに真っ暗）
金華橋通りに大学病院直通のバスがない。
駐車場が少ない。
バスの乗り降りがつらい。
バスが1時間に1～2本では困る。
交通費が高い。
バスや電車の本数が減った。
バス停にベンチがほしい。
市外へのバスの回数券が少ないので多くしてほしい。
古い建物がバリアフリーでない。
目が不自由
路線バスの広告が多く、路線バスかどうかわからない（全面広告を中止せよ）
大学病院、市民病院はバス利用が不便です。
車の運転マナーが悪い。

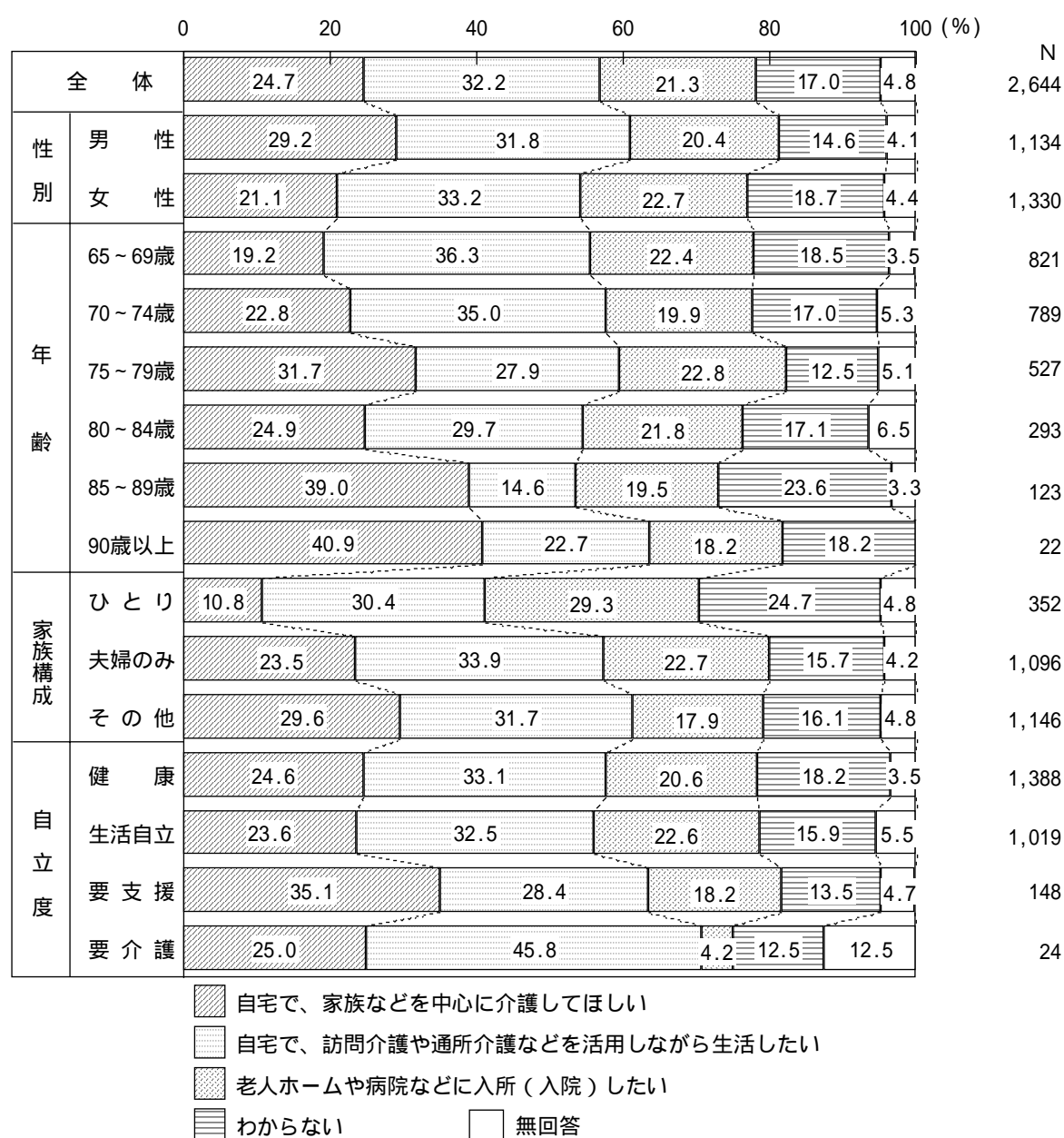
駅まで遠いし、バスはないし、不便なので医者以外あまり外出しない。
運転をした時、歩行者が横着すぎる。歩行者を保護しすぎる世の中になってきた。
岐阜は車王国です。
普段バスに乗らないので、いざ乗るときに戸惑う。
JR岐阜駅内のトイレが少なすぎる。
JRは乗り換えが多い（京都まで）
バスの本数が少ない。特に岐阜バス一社になったことにより、サービスが低下した。定期的に15分に1本あれば安定する。
道路の渋滞。特にバスの時間があてにならない。市中心地まで時間がかかりすぎ。従って自家用車が増え、悪循環。狭い道路を通勤車が通る。道路事情が悪い。
最近、車が斜行して走るので危険。特に若い女性が多い。
自転車通行に危険な所が多い（幹線道路等）
脚に力がなく、自力で動けない。
腰掛けが少ない。歩行のとき、時々休みみたい。
私の居住する岩野田地区は、横に走る交通がまったく不便（岩野田 岐大病院等）で、もう少し回数がほしい。
車優先で安心して歩けない。
ほとんどの場合自分で運転して出かけるので、今のところ不便を感じていない。

11 介護が必要になったとき

「今後、仮にあなたに介護が必要になった場合、どのようにしたいですか」という設問に対しては、「自宅で、訪問介護や通所介護などを活用しながら生活したい」(32.2%)、「自宅で、家族などを中心に介護してほしい」(24.7%)、「老人ホームや病院などに入所(入院)したい」(21.3%)の順になっています。

家族介護の希望は、性別では男性、年齢別では加齢とともに高くなる傾向がみられます。

図2-20 介護が必要になったとき



12 就 労

(1) 就業状況

仕事をしているとみなされる「自営業（農林漁業、小売店など）をしている」「勤めに出ている」「自宅で内職をしている」の3項目を合わせると27.7%であり、「仕事はしていない」は62.4%です。

「自営業（農林漁業、小売店など）をしている」と「勤めに出ている」の合計は、男性が33.0%、女性が18.1%と大きな差があります。年齢別では、前期高齢者ほど就業している率が高いのは当然ですが、後期高齢者でもかなりの方が仕事をされています。

図2 - 21 就業状況



「その他」として、以下の記述がありました。

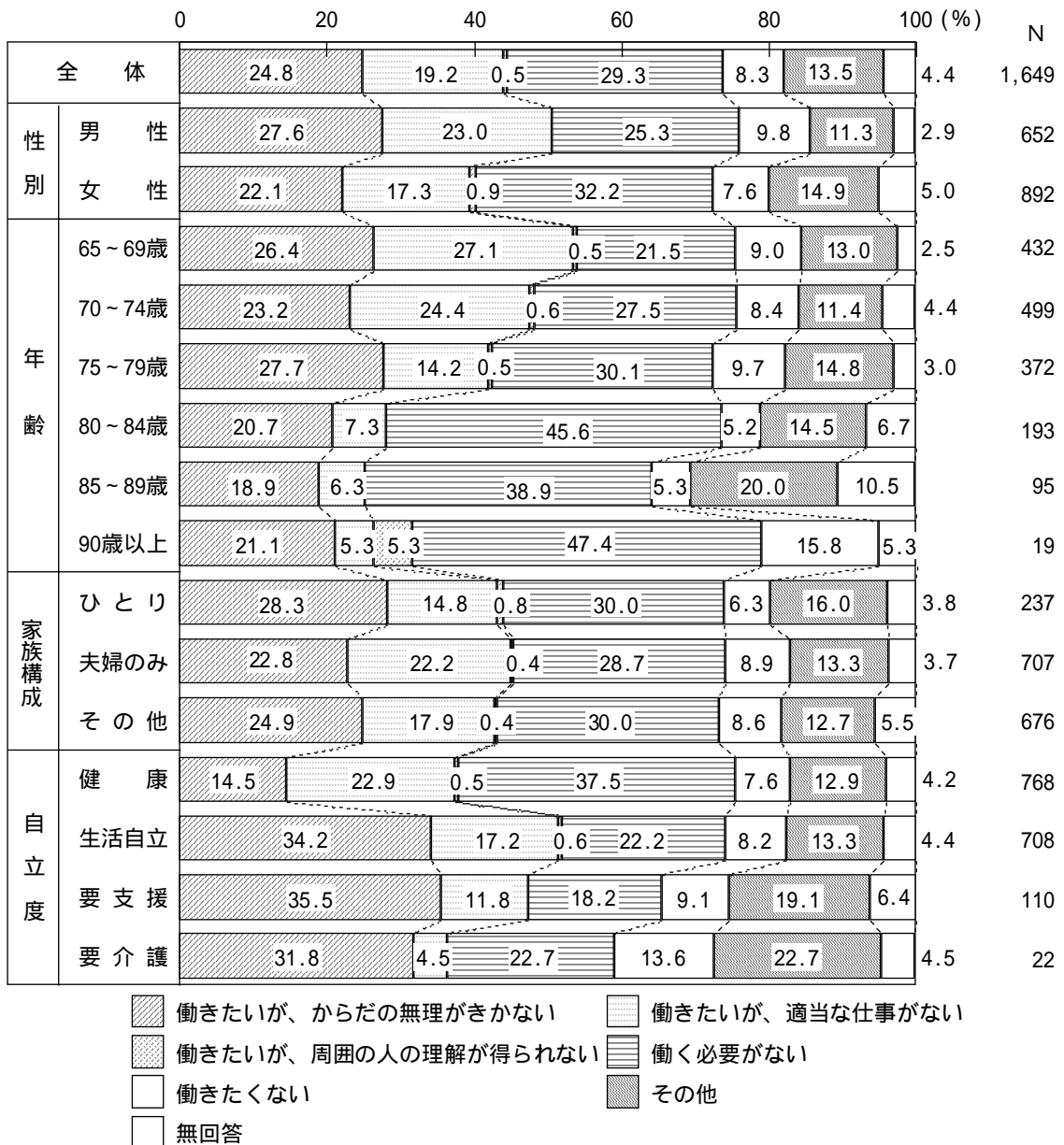
家事（32件）	自治会地区担当
畑仕事（19件）	自治会、氏子等の活動
パート（13件）	自営手伝い
野菜づくり（12件）	塾経営
シルバー人材センター（8件）	統計調査（時々）
ボランティア（7件）	囑託
趣味（絵、書道、ミシン、あみもの）（4件）	親族のカラオケ喫茶の手伝い
非常勤（3件）	庭木せん定
茶菓道講師（3件）	針仕事
会社役員（3件）	娘、孫の洋服づくり
非常勤講師（2件）	娘宅の家事手伝い
掃除（1時間）（2件）	孫の世話
介護（2件）	内職をしようと勉強中
アパート経営（2件）	1か月に4日働く。
新聞配達（2件）	1か月に2日働く。
友人の仕事の手伝い（2件）	1年に2～3か月働く。
自分のやりたいことをやっている。（2件）	家事一般、子守り、畑仕事
不動産管理	皆の食事づくり、店の手伝い
株取引	家事、野菜づくり
神職	管理職
着付け講師	建築業
貸し農園	自営と勤め
カラオケ、民謡を教えている。	2時間ほど事務の仕事をしている。
書道塾	畑、家の仕事、草取りなど
新聞の集金	縫製業
	週2日短時間勤務

(2) 仕事をしていない理由

前問で「仕事はしていない」と答えた1,649人の仕事をしていない理由は、「働く必要がない」(29.3%)、「働きたいが、からだの無理がきかない」(24.8%)および「働きたいが、適当な仕事がない」(19.2%)の3項目が高い率を示しています。なお、「働きたい」の3項目の合計は、44.5%にもなります。

「働きたい」は男性が高く、「働く必要がない」「その他」は女性が高くなっています。年齢別にみると「働きたいが、からだの無理がきかない」は75~79歳が高く、「働きたいが、適当な仕事がない」は若年齢層ほど、「働く必要がない」は高年齢層ほど高くなっています。

図2-22 仕事をしていない理由



「その他」として、以下の記述がありました。

高齢（61件）	留守を預かっている。
家事をしている。（28件）	老人クラブ会長のため
介護をしている。（24件）	老人会の役をしている。
畑仕事をしている。（18件）	働くことができない。
今まで十分働いた。（13件）	食べていけるから
悠々自適な生活をしたい。（8件）	療養中
孫の世話がある。（7件）	近くのお寺のお手伝いをしている。
年金生活（6件）	きままにできることがあれば働きたい。
目が不自由（5件）	娘夫婦が働いているので、その家事等
趣味を楽しむ。（4件）	手助けを週3～4日している。
病院に通っている。（4件）	自宅でできる内職があればよいと思う。
入院中（2件）	現在右足が不自由、無理をして病気になる
ボランティア（2件）	なれば困る。
働くより自分の体を大切にしたい。（2件）	適当な仕事をしている。
身内の店の手伝いをしている。（2件）	月に4～5日程仕事をしている。1日
病気の後遺症がある。（2件）	約9時間
足が悪い。	79歳です、働くより健康に留意している。
家族が入院中	一人で歩くことができず、立つことも
身障者だから	できず、ほとんどベッドの上で座って
非常勤役員をしている。	いる。

13 日頃不安に思っていること

「日頃の生活で不安に思っていることはありますか」という設問に対しては、「病気など健康状態が悪くなったときのこと」を68.4%の人があげており、「火事や地震、風水害にあうこと」(40.9%)および「経済的に苦しくなったときのこと」(32.5%)も高い率を示しています。性別にみると、「仕事を続けられなくなったり、やめたときのこと」「経済的に苦しくなったときのこと」などは男性が高く、「盗難、強引な訪問販売や電話セールス、押し売りのこと」「火事や地震、風水害にあうこと」などは女性が高くなっています。年齢別では、多くの項目で高齢層ほど低くなっています。また、ひとり暮らしは、他より「いざというときに頼れる人がいないこと」「生活意欲がなくなること」「住宅問題のこと」が高くなっています。

表2 - 13 日頃不安に思っていること(複数回答)

単位：Nは人、他は%

区分		N	病気など健康状態が悪くなったときのこと	いざというときに頼れる人がいないこと	家族の死別や家族との関係のこと	生活意欲がなくなること	仕事を続けられなくなったり、やめたときのこと	経済的に苦しくなったときのこと	財産管理や相続のこと	盗難、強引な訪問販売や電話セールス、押し売りのこと	住宅問題のこと	火事や地震、風水害にあうこと	特にない	その他	無回答
全体		2,644	68.4	7.5	15.9	13.6	11.4	32.5	5.7	11.9	6.4	40.9	10.0	0.9	6.0
性別	男性	1,134	68.0	6.7	17.7	12.3	15.2	34.5	5.9	9.1	6.3	39.2	9.9	0.7	4.8
	女性	1,330	70.4	8.0	15.3	15.1	8.2	32.0	5.6	14.5	6.5	43.3	10.2	1.1	5.9
年齢	65～69歳	821	68.2	7.7	15.3	13.0	16.4	39.1	5.1	9.3	7.2	39.5	9.6	1.6	4.1
	70～74歳	789	70.5	7.9	16.5	14.4	11.3	36.5	5.7	12.2	8.0	40.6	9.1	0.5	4.8
	75～79歳	527	71.2	7.4	15.7	13.3	8.5	29.6	5.9	15.0	5.9	44.8	9.1	0.6	5.3
	80～84歳	293	65.5	7.2	18.4	12.6	6.5	17.1	7.8	12.3	3.1	44.4	10.9	1.0	11.9
	85～89歳	123	58.5	4.9	13.0	13.8	4.1	21.1	3.3	16.3	4.1	35.8	17.1	-	11.4
	90歳以上	22	50.0	4.5	13.6	18.2	-	13.6	9.1	4.5	-	27.3	31.8	-	9.1
家族構成	ひとり	352	71.9	17.0	7.4	17.9	9.1	28.1	4.5	13.9	11.9	42.3	9.1	0.6	5.7
	夫婦のみ	1,096	72.0	7.2	19.3	13.0	11.5	34.3	5.9	12.3	5.9	44.3	7.5	1.2	5.0
	その他	1,146	65.0	4.8	15.5	12.7	12.0	32.2	5.9	10.7	5.3	37.9	12.9	0.7	6.3
自立度	健康	1,388	65.6	5.3	14.3	11.2	13.8	30.4	5.5	10.4	5.0	39.6	11.9	0.6	4.9
	生活自立	1,019	73.1	9.7	18.3	15.4	9.1	35.8	5.4	13.5	7.9	42.9	7.2	1.2	6.4
	要支援	148	74.3	13.5	17.6	24.3	6.8	31.1	10.8	17.6	9.5	49.3	8.8	1.4	4.7
	要介護	24	50.0	8.3	8.3	16.7	4.2	20.8	12.5	12.5	8.3	25.0	12.5	4.2	20.8

「その他」として、以下の記述がありました。

ひとりになった時（2件）

2階で生活しているが、トイレが1階にあること

耐震基準ができる以前の家であり、耐震工事をするための金銭的余裕がない。

今の社会情勢の悪さ。日本の伝統的技術を守ってほしい。子どもたちを守ってほしい。

私自身が健康を害した時の家族のこと

住居が介護生活に適していない。

家屋の修理

諸災害の時、日頃の訓練が役立つか懸念される。いつ、どこで被災するかは誰しも不明と
思います。

持ち家の地震対策に力を入れてほしい。

年金額がどんどん少なくなっていくこと

子どもの将来、日本の未来

岐阜では我が子（音楽家）が活躍できず、何の希望も持てないこと

8年前まで共働きだったので、退職し家に入ったら、隣とのコミュニケーションがなく、団
地生活にうんざりしている。

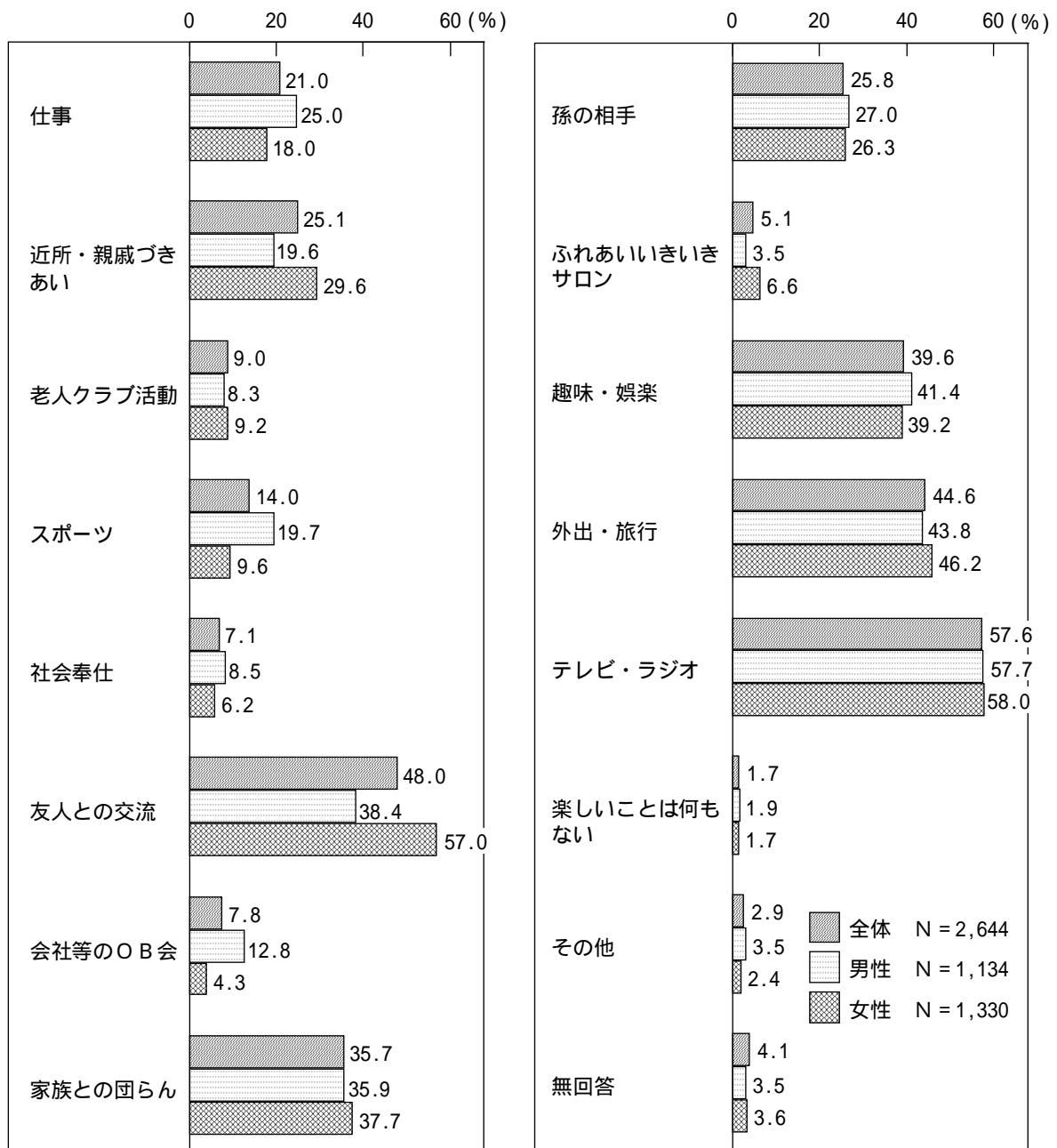
自分もあまり健康状態が完全でないのに、ホームへ入れたときの費用のことで不安である。

主人が亡くなった後、年金が減り、経済的に苦しくなりました。

14 日頃の楽しみ

日頃の楽しみとしては、「テレビ・ラジオ」(57.6%)、「友人との交流」(48.0%)、「外出・旅行」(44.6%)、「趣味・娯楽」(39.6%)、「家族との団らん」(35.7%)の5項目が3割を超えています。男性が女性をかなり上回っている項目として、「仕事」「スポーツ」「会社等のOB会」があり、逆に女性が男性をかなり上回っている項目として「近所・親戚づきあい」「友人との交流」があります。

図2-23 日頃の楽しみ(複数回答)



「その他」として、以下の記述がありました。

読書（9件）	昔の流行歌を聴きなつかしむ。
パソコン（6件）	洋裁をして楽しむ。
畑仕事（3件）	友人と魚釣り
買い物（3件）	何でも興味がある。
家庭菜園（3件）	DVDで世界遺産を見る。
園芸（2件）	植物、山野草の四季の移り変わり
カラオケ（2件）	仕事があれば健康を保ちながら、旅行に行くのも楽しいと思う。
宗教（2件）	できる限り山登り（水道山）を兼ねたウォーキングをしている。1日4,500～8,000歩ぐらい
歩く。	
生きていること	
映画	
英語学習	岐阜県ウォーキング協会の一員として
温泉（毎週）	月1回あるいは2回、楽しく、学校時代のクラスメートと15km～20km歩いています。また、毎朝ウォーキングも行っています。早朝の冷たい空気はとても気持ちいいです。この季節でも結構汗ばんで帰宅します。朝食はとてもおいしくいただけます。
家畜の世話	
喫茶店へ行く。	
グランドゴルフ	
健康であること	
スイミング	
三度の食事	
三度の食事の献立	1日おきに忠節橋より自転車ロードを10km走ること
社交ダンス	
新聞	
体力づくり	
食べること	
妻とドライブ	
登山	
ドリル数独	
庭の手入れ	
ペット	
婦人会のサークル	
ボランティア活動	
孫の成長	
曾孫に会うこと	

旅行は足腰が弱り、外出ができないし、
テレビは目が悪いのであまり見れない。
さみしい。

ひとり暮らしの老人のお世話

愛犬とのふれあい

音楽

家事、野菜づくり

文学は常に勉強中です。認知症への予
防にもなります。

お寺参り

日曜大工、庭いじり

楽しいということはないが、毎日家の
畑、家の周りの仕事をしている。

日頃すべてに楽しみを感じ生きている。

毎日が多忙で、仕事と知識を浄めるよ
う努力しています。また、いろいろな
情報にも配慮して、見聞を高めていま
す。

15 災害時の支援

どうすれば災害時に身近な地域の助け合いにより要援護者の支援ができるかを聞いたところ、「ふだんから隣近所の人と付き合いをする」が76.9%ありました。性別ではあまり差異はなく、年齢別では多くの項目で若年齢層ほど高くなる傾向がみられます。

表2 - 14 災害時に要援護者を支援するには（複数回答）

単位：Nは人、他は%

区 分		N	ふ き だ ん か ら す 隣 近 所 の 人 と 付	ふ い だ て ん か ら 話 し 地 合 域 い で 防 災 う に つ	地 支 域 の 災 害 訓 練 時 を 要 援 護 者 へ の	災 害 時 当 要 援 護 者 の 希 望 の 登 録 の 制 度 (該 時 要 援 護 者 の 登 録 の 制 度)	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全 体		2,644	76.9	34.9	20.1	20.6	1.1	8.1	7.3
性 別	男 性	1,134	76.7	35.5	22.4	22.4	1.2	7.8	6.3
	女 性	1,330	78.5	35.5	18.4	20.2	1.0	8.1	6.8
年 齢	65～69歳	821	76.9	35.9	22.2	23.3	0.6	8.8	4.8
	70～74歳	789	77.7	37.9	21.9	22.6	1.4	7.1	7.0
	75～79歳	527	79.3	37.0	18.0	18.2	0.9	7.8	7.2
	80～84歳	293	76.8	28.0	17.1	15.7	1.4	8.2	11.3
	85～89歳	123	68.3	23.6	12.2	16.3	3.3	13.8	11.4
	90歳以上	22	81.8	9.1	4.5	4.5	-	9.1	9.1
家 族 構 成	ひ と り	352	77.0	27.8	17.0	21.6	1.1	9.9	8.2
	夫 婦 の み	1,096	77.7	37.1	20.1	23.6	0.8	7.6	6.1
	そ の 他	1,146	76.6	35.8	21.6	17.6	1.4	8.2	7.8
自 立 度	健 康	1,388	79.8	36.8	22.5	20.7	1.1	6.1	6.0
	生 活 自 立	1,019	75.1	33.6	18.0	22.1	1.0	10.2	7.8
	要 支 援	148	77.7	33.1	18.2	16.2	1.4	10.1	7.4
	要 介 護	24	45.8	25.0	12.5	12.5	4.2	16.7	20.8

「その他」として、以下の記述がありました。

親戚

携帯電話を身につけている。

私自身高齢ですので、他の人を助けることはできません。せめて水と電気を近所の方に供給したいと思い、家を建てる時に自家発電と井戸をつくりたいと思いましたが、費用がかかりすぎるので中止しました。行政の方で、各地域につくっていただきたいと思います。

災害時にアマチュア無線を活用したい。

民生委員、市役所などで、要介護者の名簿をつくり、あらかじめ全戸に配布しておく。

自治会長の経験を生かし、上記すべての体制づくりを考えている。

市による訪問、確認（近所はあてにならない。その人の生活がある）

地震の知識

地域が高齢化しているので、早急に市から町内に訓練および登録制度について指示してほしい。

災害時は自分のことだけでも大変で、他人のこと等できないと思う。隣近所は高齢者のひとり暮らしが多い。

自分が対策をよく勉強すること

災害時に市のシルバーカードを生かす方法はいかがでしょうか。

地区に自主防災組織があるが、実際に機能するかどうか疑問。特に在宅時間の多い女性（若い母親、子ども会、女性部等）の意識向上と実技のマスター、元気な老人の訓練が奏功すると思う。

第3 意見・要望

1 福祉全般

必要以上のことはしない。 (70代後半 女性)

高齢者人口は総人口の20%。いよいよ高齢社会の到来です。高齢者福祉、一人ひとりのお
かかっている立場を考えた行政を。 (70代後半 女性)

本年7月まで約50年間働いた。国、行政を信じ、残り少ない今後の人生を楽しもうと思っ
ていたところ、高齢者の社会保障のお粗末さにただただ驚いている。 (70代前半 男性)

保健福祉サービスを向上するについては、特に地域性、時期的について特性があると思い
ます。日頃の行政推進活動において、その特性を十分に掌握され、今後のサービス向上に
努められるよう要望します。 (60代後半 男性)

現場を見てください。 (70代後半 女性)

バスカード配布はやめて、福祉や介護に使ってほしいと思います。 (70代前半 女性)

健康であれば何とか心も豊かな生き方ができると思いますが、人のために少しでもお役に
立てたらと思います。やはりご近所と和をもって助け合えたらと願っております。これか
ら先、必要以上のお金はなくても平等に老人として生きられる保障制度が徹底していれば
安心です。 (60代後半 女性)

安全、安心して暮らせる福祉の増強。 (70代後半 男性)

行政にもっと積極的に進めてほしい。 (70代前半 男性)

超高齢少子社会の中で、高齢者支援も大切だが、それより、高齢者を支える若い人たちの
減少が心配。少子化を何とかくい止めるには、高齢者の自助努力と、子育て支援の方に財
政を手厚くするようにしてもらいたい。 (60代後半 女性)

今後の高齢化について、市として真剣に取り組んでほしい。無駄遣いをなくす。

(60代後半 男性)

税金の無駄遣いをなくすこと。 (80代前半 男性)

入院費が高い、タクシー料金が、紙おむつ代が高い、75歳以上の高齢者は割引してほ
しいです。生活破産寸前。 (70代前半 女性)

岐阜県は他の県に比較すると福祉サービスが低いと思われます。もう少し高齢者が安心し

て暮らせるような支援をお願いします。 (70代前半 女性)

昔から健康ではないですが、なかなか病院へも行けません。身近な奥様を見ていると、すごく健康であっても、毎月いろいろな病院へ。その上エステ通いも。医療費は1割負担。私は3割。だから少しばかりのことでは病院へも行けません。仕方ないよ収入制だからと言われそうですが、私の仕事は収入より支出の方がはるかに多いのです。その上、介護保険料だけは年金から結構天引きされています。今のところ何の恩典も受けてなく、これだけ貯金すればいざというとき助かるのにといつも思います。決して助け合いの心が無いというわけではありませんが、とにかく福祉行政の名のもと、不公平が多すぎます。働く老人、自立している老人の方にも目を向けてほしいと願うばかりです。とにかく正しい、そして公平な福祉行政を願います。 (70代後半 女性)

財源不足との理由で、高齢者に対する施策が置き去りにされていないか。消費税アップも視野に入れた設備の充実を。 (70代前半 男性)

福祉は高齢化ばかりがテーマのようだが、これからの原資となる少子問題が最も大切と思う。早い時期にその問題を取り上げてもらいたい。 (70代前半 男性)

老人が楽しく生活できるような社会にしてほしいです。 (70代前半 女性)

高齢者が安心して生活できるようお願いします。 (70代前半 女性)

高齢者が暮らしやすい市にしてほしいと思います。 (60代後半 女性)

福祉に力を入れていただけることはとても良いことと思いますが、今の財政を考えたとき、必要以上に金をつぎ込むことは本当に良いことであろうか。中にはそれを食物にして無法な申請をしている人もあると聞いているし、ある程度は自己責任ですべきである。身障者の中には、健常者以上に働き収入を得ている人もあるように思える。公務員は自営業者や民間企業に勤めている人よりも良い生活をしているし、収入も安定していて退職金も多いように思う。そんなお金を本当に弱い人たちに回せば、福祉の向上に役立つと思います。本当に弱い人にきめ細かく配分してほしいと思います。 (70代前半 男性)

地域社会では、「子ども会」が従来から活動している。これからは、「老人会」に市が積極的に支援、推進することを望む。民生委員はあまり機能していない。高齢者向けのアドバイザー制度を推進してほしい。PRだけではだめ、実効性のある施策を望みます。

(60代後半 男性)

私が在職中の8年前、特別養護老人ホームの建設の一部に従事しましたが、高級マンションでも使わない材料で、デザインもこった建具をつくった。政治が悪いのか、役所が悪いのか、お金の使い方に疑問を持った。必要な所に必要なお金がいくような行政に心掛けて

いただきたい。自助努力が基本であり、あまり手取り足取りと役所におんぶの要望等は切り捨てることも大事ではないか。 (60代後半 男性)

税金を有意義に使ってください。岐阜市民として、市職員を信用しています。悪は徹底的に追及してほしい(特に公職)。 (60代後半 男性)

申請、登録、制度上の書き物は、このアンケートぐらいの大きい文字で黒色にしてほしい。 (70代後半 男性)

個々の人たちを訪問して現状を知ってほしい。 (70代前半 男性)

2 介護保険制度

(1) 介護保険制度全般

健康で介護を受けることに関心を持っていなかった。今後年を取ることでいろいろと心配もでてくると思う。早めに介護について考えてみたいと思います。 (- 男性)

介護保険料を支払っていますが、要介護者になった時に適切な介護が受けられるか不安である。今のところ夫婦ともに健康に生活していますから、要介護者になることへの実感がまだありません。体の具合が悪くなった時にはよろしく願い申し上げます。

(60代後半 男性)

お金がない者にとって、老後が心配でなりません。できる限りお世話にならないように努力しますが、子どもたちの生活も大変ですので、希望が持てる老後を送れるように。夢のような高級施設を利用できる人はほんの一部だけです。贅沢は言いませんから、介護保険がむだに使われないよう目を光らせてください。 (70代前半 男性)

65歳になり、年金から介護保険料が差し引かれるようになりましたが、まだ元気ですので、あまり介護保険のことがわかりません。このアンケート調査をきっかけに、これから少しずつ勉強したいと思います。 (60代後半 女性)

自助自立を原則とするが、いざというときは、頼りがいのある介護保険制度であってほしい。 (70代前半 男性)

いつまでも健康で日々過ごしたいと願って生活しています。病気になった時に十分な介護が受けられる社会になってほしいです。 (70代前半 女性)

自立した生活ができるように努力していますが、サービスが必要になった折りは、迅速に手続きして下さいますようお願いいたします。 (70代後半 女性)

介護保険サービスは大変なお仕事です。今68歳ですが、将来、お世話になります。温かいサービスを望みます。 (60代後半 女性)

現在介護が必要な人は、それなりに面倒をみる必要があるが、過保護にならないように。予防的事業を重点的に。 (80代前半 男性)

今後、介護を受ける人が増加すると思います。皆がよい介護を受けられるよう切に希望します。 (60代後半 女性)

老いて一人になった時、お世話になれることを願っています。 (80代前半 女性)

介護サービスの内容の充実をお願いします。 (70代後半 男性)

介護保険を掛けて皆で助け合うという制度はよいことですが、1回も利用しない人(5~10年)に対して一定の割合で還付すべきだと思います(ある種の保険だと思います)。 (70代前半 男性)

長年、福祉ボランティアをしている私が、まず一番にお願いするとしたら、男性職員が一人は必要ということ。それには働く人の支給額を考えていただきたいと思います。外人に頼るのでなく、無駄を削除して日本人同士で支え合いたい。(70代前半 女性)

高齢者に対する気配り、またその家族の悩みをどのように支援するか、支援に係る費用をどのように算出できるのか、国として対策を検討する時期に来ていると思う。 (70代前半 男性)

介護保険を掛けても、使えばお金がいるし、家族で世話をしても手当はでないし、なんだか掛け損、取られ損のような気がします。 (60代後半 女性)

介護保険が無駄なようではありません。 (70代前半 男性)

ヘルパーさんの仕事の区分が細かく、ややこしいとのこと。そんなに区分しては、介護する心が事務的になるのではないのでしょうか。 (60代後半 男性)

介護保険料は大切に使って下さい。介護保険事業のチェックに目を光らせて下さい。経営者が儲かる体制でなく、働く人が生活できる給料にすれば、介護の質がよくなると思います。 (60代後半 女性)

介護が必要になった時にスムーズに活用できるかどうか不安です。お金だけは毎月引き落とされている現状で、不満をもらす方が周りに多くいます。 (60代後半 女性)

89歳の母が足腰立たなく病院にいるが、退院の通知がある。家では面倒がみられず、今後、どうしたらよいのやら。介護保険料だけは払わされ、まだ何も受けず、無駄遣いの介護保険をもつと厳しく、本当に必要な人に使えたら、高い保険料を払うこともないのに。 (60代後半 男性)

介護は時と場所を選ばない。役所はあらゆる能動的手段で、住民の困窮への対応を詳細に把握し、事態に即応した行動をできる限り取る体制づくりこそ大切。机上のプランはらない。(70代前半 男性)

介護保険料は有意義に使ってほしい。軽い手の掛からない人ばかりでなく、本当に困っている人を助けるような制度になってほしい。(60代後半 男性)

介護保険を支払っている私としては、平等に使ってほしいと思います。介護が必要な人、必要でない人を把握してほしい。こんな人がなぜと思う人が介護保険を使っていると聞いています。強制支払いの介護保険は適正に使ってほしい。(60代後半 男性)

若い人が介護の仕事に就き、続けられるよう、そのための「待遇改善」を政策当局や広く社会に積極的に提言すべし。(60代後半 男性)

介護福祉施設等で働く人の質、量の充実。(60代後半 男性)

同じように介護保険料を払っていても、上手に利用している人と、手続きができず困っている人もいます。不公平のような気がします。元気で利用しない者にも何かの恩恵があってもよいと思います。こんなことを言うてはいけないと思いますが、体に気をつけ、元気でいる人がばかに見えてくる。あまりにも上手に利用している人を見ると、もっと独居老人等に気をつけてあげてほしいです。(80代後半 男性)

介護保険料の無駄遣いはしない。65歳からの介護保険料が高すぎる。40歳以上の方との差が大きすぎる。介護を経営する人の給料を減らし、直接介護する人の給料を最低公務員並にする。安すぎる。(60代後半 男性)

現在お願いしたいことはありませんが、万一の時にこのように援助して頂けることは心強く感じます。(80代前半 男性)

(2) 要介護認定

要介護認定の調査に来られる人は、基準をしっかりと守って正しく調査していただきたい。(- -)

認定基準を厳しく審査願えれば経費削減できる。4～5の方は必要。1～3の歩行可能な方が問題である。以上まずは経費削減に最大努力すべきである。年金生活者は苦労しております。(60代後半 男性)

要支援とか要介護等認定基準が途中で変わりましたが、これは支援を受ける側にすると戸惑います。病状が変わっていないのに、介護の中身が悪くなっています。くるくる変わっては安心できません。(60代後半 女性)

介護とかよく調査してやってほしいと思います。それについては地域の民生委員さんの公正な活動に期待したいです。年を取っている方も民生委員は必要だと思います。

(70代後半 女性)

介護保険制度は相互扶助の精神から制定されたものと理解しています。介護認定は公平を保つため、安易な認定を避け、誰もが納得できるような認定をされたい。要領がよく、我が強い者がより多くの援助を受けているのではないか。介護業者の料金水増し請求が横行しているのではないかとその思いがあり、公平な援助が受けられることと、透明性の確保が望まれます。

(60代後半 男性)

(3) 広報・啓発

保険料は正確に徴収されていますが、保険受給対象の内容が明らかに説明されていない。この点を啓発してほしい。

(70代後半 男性)

介護サービスを受けたいと思った時、どんな状態で受けられるのか、どこへ相談をしたらよいのかわからないので、広報ぎふ等で知らせてほしい。

(60代後半 女性)

介護保険料を納めているだけで利用の説明がないので、アンケートに答えることすらできない。日頃からもう少し説明がほしい。

(60代後半 女性)

体が不自由になった時にどのようなサービスが選択できるのか、わかりやすく広報してほしい。また選んだサービスを受けるときの手続き方法についても知りたい。体の自由がきく間はあまり心配してもらいたくない。

(70代前半 女性)

(4) 保険料・一部負担

介護保険料が高すぎる。(9件) (70代前半 男性 等)

今のところはいいのですが、デイサービスに行ったり、老人ホームに入ると、どのくらいお金がかかるのでしょうか。施設を見せてもらうことはできるのでしょうか。

(70代前半 -)

高齢者を大事にする必要はない。高齢者に多額の費用を使用すべきでない。介護保険料は利用者が負担すべきであり、全員から徴収すべきではない。保険料が高すぎる。

(70代前半 -)

介護保険料に問題。裕福なひとり暮らしで2か月3,700円、老齢年金のみの収入で7,900円。預金がなくなり、苦しい。

(80代前半 女性)

年金生活ですので、年々収入が減少しているのには困っている。特に介護保険料は夫

- 婦とも高額すぎる。市政が悪い。 (70代前半 男性)
- 保険料が高すぎます。末には払えないことになります。まず生きていかなばが第一歩です。 (70代前半 男性)
- 介護、健康保険料が上がることをないようにしてほしい。 (80代前半 男性)
- ひとり暮らしにて、介護保険料が高いため、実に困っています。今後、年をとった時、支払いができるかが心配でなりません。少しでも軽減できたらと思っております。 (60代後半 女性)
- 年金生活の我が家は、介護サービスの向上よりも、介護保険、健康保険の掛け金を何とかしてほしい。もっと低所得者のことを考えてほしい。 (70代前半 男性)
- 65歳から介護保険料を支払うようになり、生活が一段と苦しくなる。年金の中から、多額の保険料を負担するので、利用する時にはあまり難しくない書類で受けられるようお願いいたします。 (60代後半 女性)
- 介護保険料が年々高くなってきましたので、このような制度はなくなった方がいいです。どこかで誰かが儲けているだけです。 (70代前半 女性)
- 国民年金が少ないので、健康保険および介護保険料が安い方がよい。 (70代後半 男性)
- 年金が55,000円くらいなのに介護保険料を4,900円も支払い、残り50,100円では食べていけません。介護保険料は収入に応じて決めて下さい。 (60代後半 女性)
- 高齢(年金生活)者に対する介護保険料、また、介護保険利用者の負担金が高すぎる。介護サービスを利用したくても負担金が払えず、利用できない人の話を聞いたことがある。 (60代後半 女性)
- 問6の設問に疑問である。基本的に保険料が安く充実したサービスを受けることが第一であり、選択すべき問題ではない。国、県、市町村が行政の中でやることではないか。これを論ずる前に、現在の行政そのものを考え直す必要がある。基本的に国家的無駄をなくすことが前提であろう。 (60代後半 男性)
- 介護保険料が高い。少しでも安くならないですか。保険料が少し戻ってくる方法はないでしょうか。どうしたらよいか方法を教えて下さい。 (60代後半 女性)
- 保険料の無駄遣いがないようにお願いします。 (60代後半 男性)
- 特別養護老人ホームなどに長期入所した場合の負担金。 (70代前半 男性)
- 現在の自分の立場では、これ以上保険料が高くなることに不満を感じる。 (60代後半 男性)

介護保険料等がこれ以上高くなるのをおそれています。生活が苦しく老後の負担が困ります。市民は何百円の世界で生活しています。 (60代後半 女性)

配偶者が亡くなり、一人になっても保険料がいるなんてどうかと思う。もう少し安い保険料にならないものか。介護保険も使わずに終わってしまえば、掛け損ですね。その点も考えてほしい。 (60代後半 女性)

介護保険料は年金から天引きされています。利用する場合、自己負担が高いので利用できません。掛け捨てですか。 (70代後半 女性)

年金から介護保険料が引かれますが、使用しない場合は少なくしてほしい。 (70代前半 男性)

制度そのものはよいことだが、国民年金と介護保険は成り立たないのではないかと思う。生まれてくる子どもたちが不安でならない。 (70代前半 男性)

大切な年金から強制的に引くのはやめてほしいです。税金の無駄遣いはやめて下さい。 (60代後半 男性)

年金から介護保険料を差し引かない方法はできないものか。 (70代後半 男性)

他の市から転居して来ましたが、介護保険料が月に3,000円も高くなったのには驚きました。 (70代後半 女性)

10月に退職して介護保険料の請求書が来たが、保険料が高いのに驚いた。 (60代後半 男性)

介護保険を利用する時が今後あるかと思いますが、保険料が今以上に高くなるのは困ります。利用している人の負担を高くしないように望みます。 (60代後半 女性)

受けていない介護保険料を納める必要はないと思う。地方行政や国がもっと負担すべきと思う。 (60代後半 男性)

夫婦とも国民年金で、介護保険料を年間100,000円も払っています。息子と同居しているだけで、厚生年金の人と同じ金額では大変です。財産もありません。国民年金の人はもっと安くして下さい。 (70代前半 女性)

勝手に年金から差し引くことは、施設に入れたい人が入れる人を助けているだけです。介護と言われても、入所して払うお金はありません。通所介護に頼るのみです。支払うだけで入所はできないのです。 (70代前半 女性)

私の介護保険料は1か月7,900円です。年金から差し引かれた手取りは32,925円です。そんな大切な金を不公平のないようにお願いします。 (60代後半 女性)

年金生活者ですが、1か月の年金30,000円程から介護保険料が引かれる。1か月16~17

万円もらっている人と同じように引かれるのは納得できない。 (60代後半 女性)

介護保険料は利用しない場合、掛け捨てになってしまいますね。 (80代前半 女性)

問6の介護サービスの充実と保険料について 介護保険は年金、健康保険等とともに、国の社会保険福祉施策の重要事項である。したがって、介護サービスの充実のために、保険料の増額が必要ならば国税でその分を補てんすべきだと考える。地方自治体から国会に陳情してください。 (70代後半 男性)

年金生活者に対する介護保険料が非常に高い。介護保険は自己判断で入るべき。

(70代後半 女性)

これ以上の介護保険料は出せません。いろいろ受けたい人、入ってもらいたい人に出してもらわないと、生活していきません。 (60代後半 男性)

年金生活者にとって介護保険料が上がるのは、とてもつらいです。このまま生活がやっていけると思われたい。 (60代後半 女性)

介護保険料を取られてまったく本人には何の手当もないのはおかしい。こんなサービスはやめてもらいたい。なしでよい。 (70代前半 女性)

3 在宅サービス

(1) 在宅サービス全般

民生委員の方に月に一度ぐらいの家庭訪問をしていただくとありがたいと思う。特に高齢者は不安が多いため。 (70代後半 女性)

今のところ健康面、生活面とも安定しているので、特に不安はありませんが、これより先、身近に変化があった場合は、福祉サービスを受けなければならない時が来ると思います。 (60代後半 女性)

家族の都合が悪くなった時は、介護の協力を要望します。 (70代後半 男性)

高齢者のひとり暮らしの人に岐阜市はどのように支援していくのでしょうか。皆これから通っていく道です。いずれ高齢者になるのです。福祉の方でも貧しい人にやさしい行政をお願いしたいと思います。窓口の対応で感じました。 (60代後半 女性)

現在は健康上困ったことはありませんが、万一病気になった時は一時的に入院加療をしても、病状が落ち着けば家庭に戻り、かかりつけの医者に往診していただき、1か月に2～3回ホームヘルプサービスを受けられればと考えます。入浴等も体が不自由

になれば、お願いしたいと思います。家族とホームヘルパーのコミュニケーションが円滑に行えればハッピーだと考えます。 (70代前半 男性)

(2) 訪問系サービス

今のところ、炊事・洗濯のみ何とかできますが、掃除ができず困っております。屋敷の草もひけず、お化け屋敷のようになっております。先日は「緊急通報の電池を交換に来た」とみえましたが、その人の持っている名簿に載っていないからとそのままになっています。いつ来ていただけるのか心配です。 (70代前半 女性)

ひとり暮らしの高齢者です。月1～2回の家事等の援助を希望します。高いところの作業、重い物の運び、移動等、制度があれば利用したい。 (60代後半 女性)

70歳以上の独居の場合、民生委員あるいは町内役員の方の1～2か月に1回くらい「お元気ですか」の声かけがあれば、プライバシーの侵害にもならず、心強く思えるのではないのでしょうか。恥ずかしいことですが、私の地域の民生委員はどなたか知りません。 (70代前半 女性)

ひとり暮らしの人の訪問支援をしたことがあるが、時間も足らず自宅へ訪問するのを待ちかまえているので、対話の時間もとらないと、うつ病 認知症 老人ホームと加速すると思う。ヘルパーの賃金が安すぎる。 (60代後半 女性)

(3) 通所・短期入所

デイサービスは本当に必要な人に厳選すべき。外から見ていると思います。医療法人の金儲けのために協力しているようにも見える。 (60代後半 男性)

母が介護サービスを受けていますが、ショートステイが希望の日に受けられない。家族に急用ができた時、すぐに入所できると助かります。 (60代後半 男性)

大変だと思いますが、寝たきりにならないようにリハビリとか軽い運動をしてもらいたい。歩いたり適度に体を動かしたくても、介護士さんたちがやめてくださいとのことです。 (70代後半 女性)

(4) 相談サービス

地域包括支援センターを地域で指定するのではなく、どこでも自由にしていってほしい。地域包括と隣接している病院にかかっていないと行けない。 (60代後半 女性)

介護サービスの具体的内容およびその利用申請相談窓口等について、私も含め知らな

い人が多いので、その周知に努めてほしい。 (70代前半 男性)

地域包括支援、わかりにくいという声があります。老人会等でわかりやすい説明があるとよい。 (70代後半 女性)

私の一番心配なことは、主人と死別して一人になった時のことです。近所も友人も大切にしておりますが、きっと寂しくなると思います。親戚が遠いですし、私は寂しがりやですので、ひとり暮らしの人に友達(話し相手)になって下さるような制度を作ってほしいです。 (60代後半 女性)

主人は要介護1の認定をいただきましたが、申請することを知らず困りました。自己申請と思いますので、病院でも教えていただけるとありがたいです。 (80代前半 女性)

地域包括支援センターは、どこで誰がその仕事をされているのかわからない。もっとPRをする必要があると思います。 (70代前半 男性)

独居老人、老齢および障害者夫婦等二世帯の市による定期的訪問等による現状把握と相談等の管理。 (70代後半 男性)

地域の民生委員がどなたであるかわからない。 (60代後半 女性)

(5) 交通運賃の割引等

バス券の配付をしてほしい。 (70代前半 女性)

通院時のタクシー代を援助してほしいです。夫が脳梗塞で、体の自由が利かず、介護に疲れます。 (70代後半 女性)

敬老バスカードは、大変ありがたく使っております。使用が3月31日となっておりますが、残った分も続けて使えるようにお願いします。 (80代前半 女性)

来年度からバスの乗車券無料優待が制限されるとのことですが、延期していただくか、金額を増やしていただきたいと思います。 (60代後半 男性)

(6) その他

独居生活中に突発的事故(病気)が発生し、緊急通報システムがあっても通報できないときはどうすればいいでしょうか。 (80代後半 -)

高齢者向けの新聞とかお知らせとかが回ってきません。もう少し声を掛けるためには、地域の見回りも必要だと思います。 (60代後半 女性)

介護用品の店と品物の紹介。 (80代前半 男性)

一人で生活している老人、夫婦でも体の悪い人等のおられる家の前に何か印をつけて、誰でも助けてあげられるようにするとよいと思います。 (70代前半 男性)

私が欲しいのは補聴器です。先日の寿体操で12月からの自主トレについて言われたのですが、聞き逃してしまいました。大事なことが聞こえず、何十万円もするのでは無理なことです。市の方でなんとかお値打ちにお世話になれませんか。(70代後半 女性)

自営業ですが、年金が少ないので大変苦しいです。妻が人工透析中で週3回病院に通い、身の回りの世話をしていますが、つらいです。紙おむつ代が大変です。助成していただけたらと思います。 (70代後半 男性)

介護士の質の向上を図りたい。介護士の不親切、不適切な扱いを受けたということを知りたい。個人差もあると思いますが指導が必要と思う。 (70代後半 男性)

4 施設サービス

(1) 施設サービス全般

日に日にかからだが不自由になります。老人ホーム等入所料が高いと聞いています。年金の少ない老人も入れるような所をたくさん作ってください。 (- -)

安く利用できる公共施設を多くつくってほしい。老人は入所することが困難である。 (60代後半 男性)

年金が少ないので、民間の老人ホームの支払いはできません。県や市の公共の老人ホームを増やしていただきたいと思います。 (60代後半 男性)

もっと現実を見て老人社会の将来を考えてほしいと思います。老人ホームやホスピスの設立を望みます。 (70代前半 女性)

認知症になった時に受け入れてもらえる施設を充実してほしい。世間の噂では病人がたらい回しにされるとか。それでは本人も家族も困ります。 (70代前半 女性)

ひとり暮らしになり、現在は娘宅で孫の世話、家事手伝いをしています。自分が病気になった時、子どもは一人娘で子育て真っ最中。老健、特養、病院など受け入れ先が数少ないのが一番心配です。 (60代後半 女性)

認知症になった時、入所させていただきたい。 (70代後半 女性)

病気等で3か月以上になると病院をでなければならぬ。このような方を受け入れる施設を多く作るとか、介護等の施設を現在より多くするとよい。 (70代後半 男性)

老人の入所できる所の充実。 (80代前半 男性)

国民年金、厚生年金の支給額で介護施設が利用できるようになればありがたい。高齢者が増加する現在、介護費、医療費が益々多くなります。 (70代前半 男性)

(2) 特別養護老人ホーム・老人保健施設

年金生活になって老人ホームでお世話を受けるようになった場合、金銭的に不安を感じます。特別養護老人ホーム等の施設を増やしてほしいと思います。

(70代前半 女性)

老人保健施設等の入所金が高く、自分はいれないと思っています。(70代前半 男性)

親としての見栄もありまして、子どもたちの世話になりたくないのが本音です。特定疾患の主人を抱えて、どこまで頑張れるか心許ないことですが、終身受け入れて下さる施設の充実が望ましいです。

(70代前半 女性)

特別養護老人ホームは1～2年待たないと入所できないと聞いていますが、必要な時にすぐ入所できるようにして下さい。

(70代前半 男性)

特別養護老人ホームを増設し、希望者が早期に入所できるよう、早急な対応が必要と考えます。

(60代後半 女性)

重い病気になった場合、ひとり暮らしの人が優先的に老人ホームなどに入所になります。気持ちはわかりますが、若いときから一人で好き勝手に生活し、生活保護も受けている人もいます。地味ですが一生懸命生きた人間にとって疑問を感じます。

(60代後半 女性)

介護が必要になった時、家族に迷惑を掛けたくないのも、特別養護老人ホームなど安い費用で入所できるようにしてほしい。長い年月、入所待ちをすることのないように。

(60代後半 女性)

会社員として勤めていますが、妻がパーキンソン病(身障者3級)で歩行が思うようにできず、転倒は度々で、毎日が心配でなりません。どうか手続きも簡単、入所時の前払い保障金を無料にした特別養護老人ホームや老人保健施設を増やしてほしい。

(70代後半 男性)

生活が不自由になった時の老人ホーム施設等が少ない。いつでも利用できるように考えていただきたい。

(80代前半 男性)

健康に気をつけておりますが、将来何が起きるか不安です。ひとり暮らしですので、自力で生活できなくなった時には、行政の力をお借りしなければなりません。施設入

所等必ずできる保障がないととても不安です。 (70代前半 女性)

老人ホームをつくってください。老いたひとり暮らしには、それだけが気がかりです。

(70代後半 -)

アンケートを今後の高齢者施策の基礎資料とするというわけですが、それでは遅い気がする。統計資料ではなく、老人が多い社会では、すぐ特別養護老人ホームを一つでも多く、施策を早く実行してほしい。 (70代前半 男性)

これから先老人が増えます。廃校になった跡地を、老人施設等にしてほしい。

(60代後半 女性)

(3) 軽費老人ホーム・有料老人ホーム等

ケアハウスに申込み1年半待って、やっと入居させていただきました。食事も病気に合わせて作っていただき、いろいろな行事も催してくださり、健康講座、散歩、映画と至れり尽くせりにしていただいて、大変感謝致しております。今後、病気が進み、一人で自分のことができなくなった時、退居しなくてはなりません。行く先を考えると心配になります。 (70代後半 男性)

家族に頼らない老人生活施設の充実。 (70代前半 男性)

5 家族介護

グループホームを見ました。夜のヘルパーや食事の支度のヘルパーがシフトを組んでやると、一人の入所者に一人ぐらいヘルパーがいるそうです。親の面倒は子どもがみる。そういう教育が先です。これからどんどん増える子どもに面倒みてもらえない親たち。介護保険料をいくら値上げしても追いつかないです。グループホームのように歩ける、やれる人にお金をたくさん使っている実態を調べてください。70歳からグループホームに入り、しかも生活保護の人はお金も出さず大いばりで入所している実態。私のように、まだ90歳の両親を自宅でみているものには怒りです。保険料ばかり高くて、歩ける人は自宅でみる。そんな法律を作ってください。家でみている人にも恩恵がないのはおかしいです。まずまず、子どもたちは親をみなくなるばかりです。 (60代後半 女性)

現在は、自宅で介護する立場で何とか頑張っております。今後、自分が要介護となった時はその時の家族環境により決めます。 (70代前半 女性)

個人の意識について「自助努力」を基本とした考えを徹底的に啓蒙すること。介護保険に頼らなければ損という考えを排し、親子、兄弟の相互助け合いを徹底する。何でも補助、助成要求という考えを政党、ジャーナリスト、マスコミ、学識経験者は助長しすぎている。弱者、弱者と宝物にしている、健康な人々の経済力（年金受給者も含む）を圧迫して隠れた弱者をつくり出している。行政の福祉部門がこれでもかこれでもかと機構従事公務員が増えて、目的達成でなく、仕事を次から次へと増し、これにまつわる人件費、施設費、PR費、維持管理費が膨らみ、財源として税金、保険料の高騰をもたらしている。程々にして縮小削減をする時期に来ていると思う。国家財政も岐阜市財政も危機的状況である。県財政も勿論です。建設的で健全者に将来の夢ある希望が1日も早くもてるように、民法（家族のあり方）にメスが必要か。教育も。（70代前半 男性）

娘夫婦と同居。孫もいるから不安はない。まだ夫婦で生活している。町内のことは娘が行っている。（80代後半 男性）

20年前脳梗塞で倒れた夫をみています。身障5級では何の保障もなく、私が働いて面倒をみるより方法はありません。自分が先に死んだらと思うと、働けない夫のことが一番心配です。お世話になる年齢になりました。今後ともよろしく願い申し上げます。

（60代後半 女性）

介護は自己責任。親族で行うべきである。（70代前半 男性）

家庭で高齢者を介護している人は本当に大変です。いろいろな施設を利用するのもよいですが、もう少し家庭内介護を行っている方にも目を向けていただきたいものです。

（60代後半 女性）

私は従来から我が身は自ら守る（家族で協力）慣習で生活している。制度ができ安心感はあるが、年金生活者としては高すぎる。また、地域の利用状態を見てみると、自分本位の利己的な利用が目立ち、金持ちや役人の互惠に利用、私物化し、かたよりが目立つ。何でも税で生きようとせず、まず家族関係を大切に。絆を持って老人の面倒は家族でみる必要性を強調すべきだ。（70代前半 男性）

昔のことを言うと笑われるかも知れませんが、長男が最期まで面倒をみてくれ、年寄りもそれに甘んじていた。仕事仕事とかこつけて、面倒をみない大人が多い。また、自分の管理は30～40歳からすべて計画しておくべきだ。一人になって役所に面倒をみてもらえばいいわと言う一人住まいの人が多いの腹立たしい。生活保護を受けるとか、老人ホームとか、無責任というか、情けない人間が多くなつたのが、日本らしくない。もっと人情味があるべきだと思う。（60代後半 男性）

人間は本来子どもの成長のためあらゆる困難と闘ってきた。子どももまた親の最期まで面倒をみるのが当然の義務となっていた。本調査の意とする介護の充実は大変結構なことであるが、行き過ぎた介護は人間本来の生き方に支障を来すと思う。 (80代後半 男性)

高齢のため、自分ではやるつもりでも、体の自由が利きません。病気になれば息子たちの世話になるより仕方ありません。とにかく家族が一番大事だとつくづく考えることがあります。その家族が困らないように市の方をお願い致します。 (70代後半 女性)

妻が寝たきり。毎日の食事を作るのが大変だ。 (80代前半 男性)

家族介護手当等の支給を切に希望します。 (60代後半 男性)

主人が家にいるようになってから一步も外出をしない。私の方が頭が変になりそう。誰にも話せないが、ふらふらしながら食事をつくっている。 (70代前半 女性)

6 介護予防・健康づくり

筋トレサークルが夜間なので、出掛けられない。近くの公民館であれば参加者が増えると思います。 (- -)

健康に気をつけて、日頃の生活を前向きに考えていきたいと思います。 (- -)

30年以上野菜を作り、竹細工づくり、月に1回歩こう会、月に1回健康のお話会をしています。 (70代前半 -)

食事がおいしく頂けるので、己の年齢を考えて行動に制限をすることがありません。健康であるおかげで、あまり病気の予防の話は聞きたくありません。 (90代前半 男性)

介護保険料についての問がありました。私の母は介護保険で週3回デイサービスのお世話になっていて、大変ありがたく思っています。反面、今後も多くの高齢者が介護を受ける社会になれば、今より一層保険料が上がることは必至です。が、私個人としましては、現在の収入から介護保険を差し引かれたら、1か月5万円あまりの生活費で、足りない分は僅かばかりの預貯金を取り崩しての生活で、認知症の進む母に振り回される毎日。こんな日常のすべてをご破算にしたいと思うこと度々です。介護もとても大切なことですが、今後は、介護を必要とする人を増やさないための施策に力を入れていただきたいと思いません。 (60代後半 女性)

時々、健康診断を受けなければと思っております。 (60代後半 女性)

今までは健康で問のようなことを考えたことが少ない。大腸がん検診で陽性でした。市で

検査して下さったことありがたく思います。すぐ検査に行きます。(60代後半 男性)
平成18年度全国男女別平均年齢は、男79歳、女87歳、やもめ女の花盛りの時代です。行政は男性の健康管理を重点に。(70代後半 女性)

私は87歳ですが、毎朝4時半に起床し6時に出発し、西別院様に参拝させていただいております。帰宅後、朝食を済ませ、新聞を読み、鉢植えの花の世話をしたり、昼食後は1時間のお昼寝をします。こうした生活習慣が健康の源であると思います。毎日感謝の気持ちで過ごしております。(80代後半 女性)

高齢者となり、年に2回は健康診査をし、生活習慣病に気をつけています。食事、睡眠、歩行(1日のパターンを定め)、テレビ、新聞、漢字、計算練習をして過ごしております。心のこもった介護をお願いします。(60代後半 女性)

成人以来患いも少なく、入院歴のないまま、今日まで元気に生活を営んでいます。単なるまちの元気者です。(70代後半 男性)

現在は特に大きな問題もなく過ごしています。この状態が続けられるよう願っている次第です。(70代前半 男性)

今のところ元気で余生を楽しんでおりますので、別に要望はございません。この状態が今後末永く続きますことを切に望みます。(60代後半 女性)

81歳だが、健康で今日を楽しく喜びある毎日である。介護なんかのことは、自分が健康であるため、あまりわからない。人間は人生の目標をもって人のためになることを考えていると頭も呆けない。2年前、脳はまだ51歳くらいと医師に言われた。(80代前半 男性)
来年1月に古希を迎えますが、早朝外にて半裸で10分間乾布摩擦、三田洞の百々が峰、松尾池の上り下り、岩井団地の下り上り、弘法さんの上り下りを毎日実行しています。雪が降ればひるがの方面にスキーに行きます。人間、やれば何でもできるので、室内でテレビ鑑賞ではボケ老人間違いないです。有酸素運動のできる行事を幅広い年齢でやってほしい。大勢で参加できたら介護必要なし。(60代後半 男性)

北市民健康センターに筋トレができる器具を設置し、気軽に利用させてほしい。介護予防になると思う。(70代後半 男性)

音楽療法、リズム体操などが近くの会場でできるといいと思います。(70代前半 女性)
週3回、朝食前に7,000歩を目安としたウォーキングをやり、健康に心がけています。

(70代後半 男性)

現在はひとり暮らしですが、仕事を持っていますので、今のところ自分に不都合なことはありません。これから年々老いていく訳ですから、動けなくなったらと心配します。でも、

介護保険のお世話にならないように、なるべく明るく健康に気をつけ、元気で長生きしたいと思っています。 (60代後半 女性)

若い頃に比べたら、やる気、気力、体力は衰えて、こんなはずじゃなかったの毎日です。でも老いることを怖がっていてはダメですので、まだ66歳と思い、生ある限り精一杯生きるのが両親への感謝ですし、ご恩返しです。ストレス社会に負けないように「楽しく」をモットーにガンバの姿勢で強く生きたい。皆様もお身体大切になさり、社会のためにご尽力下さいませ。 (60代後半 女性)

高齢者対象のスポーツ教室(卓球、テニス、バレエ等)を充実してほしい。 (60代後半 男性)

身体障害者(含む、認知症)発生の最大限の予防施策とその行政的管理の徹底。 (70代後半 男性)

地域での介護予防の実施。 (70代前半 女性)

百歳でピンピンコロリン目標。 (70代後半 男性)

予防医学的なことはいろいろ言われているが、決定打に欠けているようだ。漢方薬も含めての健康生活のあり方が知りたい。どこで聞けばよいか見当もつきません。教えて下さい。保健所を訪問すると門前払いですか。 (70代後半 男性)

核家族化が進み、高齢者は将来への不安がストレス。引きこもる人もご近所におられます。安心して老後の生活ができれば自殺者もなくなるのではないのでしょうか。 (60代後半 女性)

藍川高校跡地を福祉施設に利用。例えば、障害者のリハビリとか老人の体力増進施設の設置等に。 (70代後半 女性)

毎日12,000歩以上歩き、体操し、健康増進に努めている。自分の健康は自分で守る精神で、食生活などよく考えて生活している。市においても、生活習慣病等、健康増進にもつと力を入れるべきである。 (70代前半 男性)

加納愛宕住宅住民も高齢社会に入り大変です。普段隣近所のつきあいがないので、市役所の方が定期的に回られるとよいと思います。また、校舎の空室を利用し、スポーツのできる器具の設置をすると、健康にコミュニケーションによいです。 (60代後半 男性)

市の体育館に行ったりして健康を保ち、高齢者の医療費などに気をつけておりますが、まわりの人を見ると、あちこち医者通いの人の多さに驚きます。もう少し校区などで気をつけて集まる場を作り、交流し、体を動かしたりと考えます。 (70代前半 女性)

7 医療・入院

今後のことはわかりませんが、現在は元気に楽しく毎日を過ごしております。病気になった時すぐに入院させていただけるとありがたいと念じております。ひとり暮らしのため不安がいっぱいですが、何とかなると信じて前向きに生活しています。（70代前半 女性）

現在、不治の病に侵され余命少なく、何の要望もありませんが、それに反し、一方で生きたいという気持ちは強く持っています。（ 女性 ）

土日に先生がみえないからといって緊急の場合でもたらい回しにされ、命を落とすことがあるので、岐阜でも救急医療センターをつくってほしい。そして、旧大学病院跡地を救急センターおよび老人が通院・入院できるような所に考えてほしい。（ 女性 ）

今のところ元気で自分のことはなんでもできます。介護とか福祉の問題について考えたことが少ないので、回答が少し違っているかも。しかし、医療の点については医者に払う金額が大きいといつも思っています。歯科、眼科等です。（60代後半 女性）

医師不足の解消、市民病院のベッド数の増加。医師、看護師の研修の必要性（機械的で人間を忘れている）。（70代後半 女性）

大きな手術を何度もしていますが、おかげでいつも元気に戻って来られ嬉しいですが、医療費が高く、誰の援助もなく、一人で支払いが大変。まもなく70歳で、1割になると楽しみにしていたのにそれもなくなり、先が不安です。（60代後半 女性）

91歳の母を入院させています。70歳近くになって、いつまで面倒をみられるか心配です。母がいつまで入院できるのかも心配なことです。介護教室や訓練も必要でしょうけど、お金の心配が一番だと思います。（60代後半 女性）

入院したら、家が不景気で、全然お金がないし、私の年金も2か月で7万円ほどです。それも自分の病院代や家計の足しにしています。私の郵便局の保険から借りて家計を助けていましたが、それもできなくなり、今は、その利息を払うのに、また借りています。150万円借金があります。生きていても何も楽しく過ごしているわけではありません。新聞配達でもできるといいのですが、腰が痛くて歩けないのです。（70代後半 女性）

医療費の使い方については行政も努力しているようですが、一層よき方向に行くようにして下さい。（60代後半 男性）

岐阜にはホスピスという施設がないので、身寄りのない人の病みついた後のことが心配です。（70代前半 女性）

病院などで問診票に書いたりすることが大変に思う。（80代前半 女性）

要介護にならないよう努力はしていますが、医療費が3割負担で、脳のCT、ヘルニアのMRI等の検査を受けられない。経済的に苦しいです。(60代後半 女性)

3か月で病院を変わることはつらい。特に高齢者で重症の人。(60代後半 男性)

癌人口が増えている今、市民病院にも三次元照射のできるような機械と、取り扱える放射線治療の先生を入れていただくと、手術等も少なくなると思います。高額と言われていますが、1日も早く設備よろしく願いいたします。(60代後半 男性)

妻が週3回の人工透析を受けています。このアンケートは大変よいことです。人工透析に介護タクシーを利用し、乗務員の方に親切にしてもらい、安心して通院しています。

(70代後半 男性)

8 税・年金・保険料等の負担

国民健康保険、介護保険、現在はまだですが、後期高齢者医療、この3つを少ない年金から払うのは大きな負担です。いまこれが大きな問題です。私たち年を取ったものは早く死ぬと言うようなものです。(70代前半 -)

税金が高額になり(以前の3倍)になり、金銭的に余裕がなくなった。今後の納税に不安を感じている。(80代前半 男性)

70歳になり、医療費の値上げはこれから厳しい限りです。(70代前半 男性)

介護費が高すぎる。国民健康保険が高すぎる。(60代後半 男性)

働けなくなった時、年金が少ないので不安です。健康保険や税金が高くて困っています。(70代前半 女性)

税金の負担が多く困る。(80代後半 男性)

国民全体が赤字ですが、その赤字を穴埋めするため、年金や介護の金を増やしている。年金だけでいつまで生活できるのか。道路などあんなに直す必要ない。(60代後半 女性)

固定資産税他すべての税金が高すぎる。(60代後半 男性)

いろいろなものの値上げをしないで下さい。(90代前半 女性)

年金生活をしていますが、年金だけでは不足し、僅かの貯金で「たけのこ生活」をしています。健康保険、税金(国・県・市)だけで年金の3か月分は必要です。国の財政は一体誰のものかと考えさせられます。「弱者は早く世を去れ」と言っていると同然です。日本人のもつ「世のため人のため」という心の良さが失われてしまいました。疲弊してしまっ

た日本の国はどうなってしまうのでしょうか。(70代前半 男性)

高齢者医療費、介護費のアップの報道を聞くにつけ、国民年金の収入だけで将来生活ができるのか。国民年金より生活保護の方がより収入が多いと聞くのだが、これはどういうわけなのか。(70代前半 男性)

来年から、大切な年金から医療費が天引きされること。(80代後半 女性)

女性86歳、男性79歳の平均寿命。医療費の高額化傾向で、今後避けて通れない介護保険も必要性あり。毎日、行政や新聞報道されて関心を持つことは当然であり、我々の負担がかからないようお願いしたい。(70代前半 男性)

消費税は高すぎる。前のようにするべきだ。税金はもっと安くしてほしい。年金暮らしの人には高すぎる。(60代後半 女性)

自営業でしたが4年半前に仕事を打ち切られ、2人とも大病で入退院生活のため、国民年金だけでは生活が苦しいです。生活保護者より少ないのは不公平ではないでしょうか。医療費が高くこれからは不安でなりません。生活保護者で大変な人もいますが、若いときに年金を掛けず、優雅な生活をしていた話を聞くと、我々は切りつめて年金を掛けてきたのになぜ?と思います。そんな方が多くあります。よく調べてください。(60代後半 女性)

老人には税金を安くしてほしい。市の税金をむだ遣いしないこと。(70代前半 男性)

高齢でもかなり高い額の税金を払っている。もつと安く願いたい。(90代前半 男性)

老齢者に対する諸制度が改悪されていく(例えば高齢者医療費見直し)。同居していなくても子どもがいる老人と、私たち夫婦のようにまったく2人だけの老人とでは、大きな差があると思う。老人所得控除50万円も廃止されたが、息子がいる老人と、まったく独力で生活している老人(私)が、経済力もまったく同じように評価されることに不満を感じている。そのような高齢者に対するきめ細かい配慮を行政側に求めたい。(70代前半 男性)

9 低所得者対策

国民年金(老齢年金)のみです。介護保険での助け合い精神は大切だと思うが、不公平のないように。裏の手づるがあったり、働ける人が遊んで補助を受けている。本当に困る人を助けるように。少ない預金を崩し、底をついている状態で生きていたくない。患わずに人生終わりたい。毎日思わない日はない。(80代前半 女性)

軽自動車10年になるので買い替えたいと思い、借入れの申込みに行ったが、簡単に断

られた。 (70代前半 女性)

年金がないので生活が苦しい。1~2万円ほど小遣いがほしい。 (70代前半 男性)

一人になった時、経済的に苦しく、老人ホームに入所できないこと。 (60代後半 女性)

年金の値上げを要望します。 (80代前半 男性)

国民年金の生活なので、この先病気などの状態が長引いた時の入院費用が不安。特別養護老人ホームなどへ入らなければならなくなった場合、今の収入ではとても入ることができない。自殺するしか道がない。このように長年掛けてきた年金で暮らせない人がいることもわかっていただきたい。 (60代後半 男性)

2年前に乳ガン手術しましたが、定期検診に行っていないし、薬(ホルモン剤)も飲んでいません。医療費が払えないので、歯医者へも行けない状態です。パートに行っていますが、月3~4万円くらいの収入です。介護が必要になった場合、施設に入るお金もありません。先のことを考えると不安でたまりません。 (60代後半 女性)

地上または橋の下に暮らす人々のことが気になり、少しばかり応援していますが、市の方でも少しでもしていただけたらと願っています。 (70代後半 女性)

10 情報提供・相談

わからないことばかりですが、そのうちにいろいろお世話になると思います。

(70代前半 -)

いつも社会福祉のためにご尽力下さいましてありがとうございます。私のまわりにこうした福祉ネットがあることを知らない方が多く、いつも驚いています。 (70代前半 -)

医療、介護等の改革等についての情報は、高齢者によくわかるよう配慮してほしい。

(80代前半 女性)

介護保険のことは知っているつもりですが、福祉サービスについては、まだ勉強不足です。今後は広報等にじっくり目を通すようにします。 (60代後半 女性)

65歳になったばかりで、介護保険は目の前なのに認識のズレがあり、必要と思っても今はわからない。 (60代後半 男性)

市役所(支所含む)に何でも相談室の設置(月水金等)。 (70代後半 男性)

市から送付される(例えば、後期高齢保険料等)資料はあまりにもわかりにくく、高齢者にはチンプンカンプン。老人をばかにするな。 (60代後半 男性)

みわっこバスの利用者が少ないのは、PR不足に思われます。 (80代前半 男性)

町内に加入していないせいか、いろんな知識がなく、高齢者用の情報もなんらかの方法で知りたい。 (70代前半 女性)

年金を60歳からもらったため少ない。63~65歳頃からだも多くもらえるということを知らなかったのも、同じにしてほしかった。 (70代前半 男性)

気軽に立ち寄れ、説明が聞ける場所、集会所等。わかりやすい分布図が必要。

(80代前半 男性)

一般的な広報のみでなく、自治会の集会等に市職員が出席して皆の意見を聞く。市の方針を説明する等、市と住民の間をスムーズにする方法をとってはどうかと思う。市職員、学校関係者等がサラリーマン的すぎて、住民との間に考えの違いが大きいのではないかと思います。 (60代後半 男性)

一人になり、どんなサービスが受けられるのか相談したいが、どこに行けばよいか分からない。 (70代後半 女性)

介護予防・福祉サービスについて、一般の者にもっとよく分かるように見学、何らかの方法で説明して下さる場所を設けてほしい。 (70代前半 女性)

今のところ大変元気に暮らしていますので、介護のことがよくわかりません。この調査票をいただき、改めて自分の年のことを思っております。 (60代後半 女性)

11 住居

現在、借家を空けるようにと言われていています。当てがなく不安です。安心・安住がほしいです。 (60代後半 -)

県内の他の市から引っ越して来ました。息子の家族と完全な二世帯住宅ですが、何もかも別で口を利くこともありません。時々、外食したり、遊びに連れて行ってくれます。老人クラブも入りましたが、何の行事もありません。他の人を受け入れたくない地域だとも聞きますが、それが本当なら何とか方法はないもののでしょうか。マンションも住宅もどんどん多くなっています。 (70代前半 女性)

県営住宅や市営住宅を増やして、低所得者や独居老人を助けてほしいと思います。

(60代後半 女性)

シティタワー43の高齢者優良賃貸住宅のようなマンションを駅の近くにつくってくださ

い。 (70代前半 女性)

年金生活でひとり暮らしの方は多いと思います。施設に入る程ではないのに住む家がない。もっと県・市立の低所得者向けの住宅がほしいです。老人ホームより考えてほしいです。以前に何度も申し込みましたが20~30倍と狭き門。その度に3,000~4,000円程のお金を出しました。駅前にできた43階建てビルの高齢者住宅のような低所得者向けの住宅がほしいです。また、以前お風呂のない住宅にいて、銭湯を楽しみにしていたのに、次々と銭湯がなくなり、隣にあった八百屋さんも店じまいしたり。救急車のサイレンを聞く度、自分ではないことに安堵し、私が倒れた時、何日ぐらいで見つけてもらえるか・・・せめてウジ虫が付かないうちに、また、皆さんに迷惑を掛けないで人生を終えられることを願うばかりです。こんな不安をなくし、等しい人生を。貧しい中でと考える日々です。介護保険料は年間180万円程の年金なのに、2か月9,800円、国保は毎月6,200円程、税金もどっさりです。どのように生きていくのでしょうか。大変な世の中です。 (70代前半 女性)

住居が耐用年数を過ぎ、あちこち傷んでいるので、公共の住宅か集合住宅に移りたい。都心部に県営、市営の高齢者用集合住宅をぜひつくっていただきたい。(70代前半 女性)

バリアフリーの住宅をもっと増やしていただきたいと思います。 (70代前半 女性)

12 就 労

お心配りありがとうございます。このアンケートで、自分なりに健康に心がけ、仕事に過分なウエイトを置くのはよくないと気づきました。仕事半分が適当と思って生活して参りたいと思います。 (70代前半 男性)

市役所が福祉活動に力点を置いていただき感謝します。当局の財政にも限度があるでしょう。私が一番心配しているのは市の収入をどれだけアップさせるか。市民の指揮者である市長が他市と違う発想でまだ働ける人に仕事をさせる。それによる社会の貢献が生きがいとなれば。公に頼るだけでない。お荷物にならないよう市長の声で指揮してもらいたい。市民全員コンサートの長であってほしい。力強い市長を望みたい。(70代前半 男性)

夫婦元気でおりますので、何か仕事がしたい。70歳でも仕事がしたい人がいっぱいいます。何もやることなく、世間から必要とされない人間ってつまらない。(70代前半 男性)

今は健康で仕事ができる態勢であります。身体を悪くした場合と仕事がなくなり収入が落ちた場合が不安ですが、今のところよき日々を過ごしています。家族も健康で仕事に励ん

でありますので嬉しく思います。(60代後半 男性)

現在も仕事(パン屋)をしています。好きなことで今を楽しんでいますので、介護についてはとりあえず私には関係のないことと思っています。(60代後半 女性)

1日1日仕事で忙しい。友達も多いから考えることが多い。(60代後半 男性)

老人に適当な仕事ができるよう、市役所で気配りして下さい。(70代後半 男性)

介護保険料も納めています。毎日仕事もしています(介護職)。私が働いている所は、70歳以上が5名働いております。65歳まで助成金が支給されるそうですが、70歳過ぎの元気で働いている人にも、助成金を支給するように見直しを希望します。(70代前半 女性)

13 地域活動・ボランティア

自治連合で福祉活動の計画をして、参加者を募る運動をすすめ、地域の自治会長が先頭に立って、活躍できるよう支援してほしい。(- -)

現在特に感じていることは、高齢者の弁当配布(有料)。車に乗れなくなると、田舎では困りますし、また、できなくなるからです。母がひとり暮らしの時、元気でいても食べ物はひどいものでした。どこかでお弁当がとれないものかと苦労したことがあります。今は元気ですから、そんなボランティアでもしたいのですが、先立つものは予算と場所です。区単位で小さな集まりができるのが理想です。(70代前半 女性)

お年寄りもまだまだ元気で何かやりたい、潜在能力をもっている人も多いので、ボランティアでもいろいろ生かせる機会を与えてもらおうと、介護予防にもなると思います。私の校下では社協の方がいろいろ公民館講座でやっていていただいて時折楽しく参加しております。(70代前半 女性)

広い場所があるので、70歳以上の元気な方が集まって、古い布を持ち寄って、雑巾でも縫って学校に差し上げられたらよいと思っています。毎日、元気に笑って過ごすことです。(60代後半 女性)

民生委員をしております関係で、介護予防・福祉サービスは担当地区の皆さんに利用していただいております。それと共に、早田地区の「ふれあいいいきサロン」は私たち民生委員が試行錯誤を重ね、立ち上げた結果ようやく5年目を迎えようとしています。お陰様で毎月皆さん楽しみにしてくださり大盛況です。歌、筋トレ、折り紙、音楽療法等、本当に楽しそうです。(70代前半 女性)

老人がぶらり歩いて立ち寄れる所と皆のふれ合える所が必要かと思われますし、社会全体の体制が必要。 (80代前半 男性)

ふれあいいいきサロンで近くの温泉へ連れて行くようなサービスをしてほしいです。

(90代前半 男性)

これからはひとり暮らしの人が多くなります。病気を持っている人は絶えず不安があります。そんな不安をやわらげるときを、1日の中で何時間か過ごせる場所がそこここにあるといいなあと思っています。 (60代後半 女性)

町内会でこのような説明や話し合いがない。町内会費は払っているのに、市営住宅の住人は町内会の行事に加えられていない。他の町内会のように、行事が知らされていない。これはいつからのことかは私にはわからないが、8年間住んでいて感じたことです。

(70代前半 女性)

現在は健康で仕事にも恵まれて元気に生活していますが、このアンケートをさせていただいたことによって、改めて介護予防や地域との関わりを深くし、お互い助け合いの心、精神を持つことの必要性を感じました。「隣は何する人ぞ」そんな人の多い町なかですので、地域でのコミュニケーションや公民館活動にも参加して、仲間づくりの大切さを感じました。あまり参加しない人に参加をすすめる、コミュニケーションづくりの地域活動を推進してほしいと思います。 (60代後半 女性)

町内で仲良くいろいろな活動があるといいです。月1回の草刈り、掃除、会食、ゲーム等。

(60代後半 女性)

町内会も高齢者にとって大きな負担になるときもある。何年かに一度、役員(組長)が回ってくると、1年間やらねばならない。重い物を持たねばならない。そのため、高齢の人は、町内に入らない人が多いことも事実。 (70代前半 女性)

14 災害時の支援・防災

災害時要援護者の登録制度のわかりやすい説明の徹底。(2件) (70代前半 女性 等)

老後の住居を一戸建てから集合住宅に移る人が多くなると思います。そうなった時に災害が起きた場合どうするのか不安です。老人が生活しにくい環境になるようで不安です。地域でもよいが気兼ねなく暮らしたいです。他人に気をつかうのは疲れしました。

(60代後半 女性)

当地域の防災訓練は小学校までの避難訓練で、集団でぞろぞろ歩いて行きますが、要援護者への対処は何もされておりません。この点も考慮を要するのでは？ 近くに自動車学校、高校、大学などもあり、いざとなれば、これらへの避難が好ましいのではないのでしょうか。災害が発生した場合、校下の全員がそこに収容できないと思います。防災関係の幹部の方は地区住民が多数一堂に集まれば、それで満足かもしれませんが、一考していただきたいと思います。要援護者の避難にはリヤカーなどの用具も準備しておく必要があるのではないのでしょうか。高齢者がますます増加するなか、痛切に感じます。（80代前半 男性）

いざという時、オロオロして隣の人の顔等を覚えていない。暗かったらそれどころではない。（80代前半 男性）

家屋の耐震診断のPR。調査・補強の助成制度の充実をお願いします。パンフレットの配布も。（60代後半 男性）

三方山に囲まれています。大きな竹林があります。下に家が何軒もあります。地震や豪雨などの時がとても心配です。山は個人の持ち物です。（70代前半 女性）

火事、災害は特に不安です。（70代前半 女性）

校区内のどの地域においても高齢者家庭の比率が高まりつつあり、老々介護は当然ながら、災害時における対応が大きな問題です。災害時には自分の命は自分で守る以外道がありません。昼間に発生した場合は天命を待つしかないと思います。（70代前半 男性）

高齢化、過疎化により、天災・人災への対応が希薄化してくる傾向を感じる。具体的対策が望まれる。（60代後半 男性）

人は助け合いがなければ、いい社会生活が送れないと思います。老後はなおさら助け合いが大切と考えます。特に自然災害時の救援対策が必要かと思えます。老人が老人を助けることは無理があり、年齢的に若い人、近隣の中学生の力を活用（行政が中学校に呼びかけることが必要）することが肝要かと思えます。（70代後半 男性）

大きな地震がきたら怖い。家が傾くのではないかといつも気がかり。石垣を直してほしい。（70代前半 男性）

台風が近づいたとき、地域の公民館で過ごせるようにしてほしい。（70代後半 女性）

他県のような災害にあっていないので、「万が一」の時の心構えがつかめないのではないかと。私たちのアパートでも老人の一人住まいや身体の不自由な人たちも大分見かける。

（70代前半 女性）

ストマ装具を必要とする人のために、装具品番を登録していただき、災害時には同じ物を供給してください。（70代前半 男性）

火事を含む災害時、高齢者の救助避難方法と救助指定者をあらかじめ決定しておくことが、介護との相互関係として不可欠と思慮しますので、もっと多くPRし周知させてもらいたい。
(70代後半 男性)

災害時に薬がなくなった時、どこでいただけますか。場所を教えてください。

(70代前半 女性)

地震予知の通報ですが、インターネットも携帯も使用しない者には、どうやって知らせてくださるのでしょうか。テレビも電源を切っている時は無理ですし、町の無線かスピーカーで流されても、何を言っているのか聞き取れず、本当に不安です。そして、起きた時、無事でも高層難民となり、水、食料品(買い物、支給)等持って上がるのは大変なことです。個人で用意するにしても限度があります。最悪の場合を想定してシミュレーションをお願いします。
(80代前半 女性)

災害時の助け合いをするには、地域の自治会に加入し、常に顔を合わせあいさつを交わす。ひとり暮らしの人および70歳以上の人は全員老人クラブに入って協力し合うことが災害時には役立つ。
(70代前半 男性)

自分が自治会長をしていた時、防災意識の向上のため、毎年、ペットボトルの水と乾パンの配給をしていたが、面倒だととりやめ、そのお金で婦人会予算を増額し、飲食などで5年ほどで全額消えた。不満を言ったら婦人会のブーイング。地域の防災意識はその程度、市の努力は最低。
(70代前半 男性)

地域で寄り合ってお茶を飲みながら話し合う場所があると、何かあった時も助け合えるのでは。
(60代後半 女性)

15 生きがい・楽しみ

名古屋にある高年大学が岐阜市にもあるとよいと思います。
(70代前半 -)

ひとり暮らしなので、先のことの心配はありますが、サークルとかいろいろな老人の集まりがあれば積極的に参加したいです。
(60代後半 女性)

今一人で生活しています。どうしたものか猫が家に来て、今は家族として暮らしています。ご近所様に迷惑がかからないよう、みな手術をしています。おかげで寂しくない生活をしています。主人が認知症にて入所しています。
(70代前半 女性)

夫婦とも70歳中頃ですが、病気がいいことがないのでわかりません。商売を50年以上して

参りましたが、今はやめ、健康、食事に気をつけ、趣味やスポーツに励んでいます。

(70代前半 男性)

自由に使用できる施設、出掛けていっておしゃべりできる場所があるといいなと思っています。何人かで集まって学習会などもできる場所がほしいです。無料で使える施設を提供してもらえたら、時々出掛けていって、カード遊びや読書会などいろいろ工夫して活動したいと思います。

(70代前半 女性)

高齢になると、人とのつきあい、人との会話が一番必要だと思う。気楽に出会える、出掛けられる場所があるとよいと思う。

(70代前半 女性)

老人クラブについて 60歳からの老人扱いは適切とは言えない。老人クラブなどの組織作りは官制おせっかいである。官は自主的に活動ができる場を提供するに留めるべきである。地区リーダーによる半強制的な加入システムはよくない。リーダーは何が目的なのかと疑いたくなる。

(60代後半 男性)

私は農業をやっているが、年寄りなので他人に任せている。老人ボケ防止のため趣味で能楽等をやっています。

(70代後半 男性)

もうすぐ他人に頼らなければならないと思いますが、なるべく一人で暮らせるよう頑張りたいと思っています。若い(近所の)人たちと交流できる場所や話せる場所があればいいと思っていますが、忙しい人が多いため、無理だと思います。

(60代後半 女性)

読書、映画、カード、麻雀、漢字パズル、DS・・・深くはないがたくさん趣味があるのに近所に同好の人がいない。友人等は遠くなり寂しいです。

(80代前半 女性)

近所に話し相手をする高齢者がいるので、お互いに行き来をし、昔話や食事のことなど何でも話したり、小さな手作りをしたり、小さな畑を作ったりで、楽しい毎日を送っているので、幸せに思います。隣近所のつきあいを大切にすることです。

(70代後半 女性)

趣味(囲碁、将棋等)等、無料でできる場所があればよいと思います。

(70代後半 男性)

自分の健康に日々気をつけて楽しく三味線のお稽古をしています。1日でも長くできるように、おいしいものをつくるのも楽しみ。

(70代前半 女性)

地区クラブは一定のものにかたよっている。特にペタンクやゲートボール、グランドゴルフにも入っていただきたく思います。

(80代前半 男性)

近くに畜産センターがあります。駐車場も広いので、時々行きます。自然が大好きですので、芝生の中にパターゴルフ場ができたらいいなと思っています。

(60代後半 男性)

男性が気軽に参加できるクラブ活動等を多く配置してもらいたい。

(60代後半 男性)

ひとり暮らしですが、健康にも恵まれ、現在はカルチャー教室に通い、ボランティア活動

も忙しいほどの日々です。が、いずれ来る終点の折りには行政のお世話にならなければならぬでしょう。少しずつ覚悟をしながら生きております。（70代前半 女性）

老人活動などありますが、皆さん各自適当に楽しんで生きておられる方が多く、市からの活動に協力してもらえません。これ以上温かい援助は必要ありません。助成金があるために仮の名簿を作ったりして無理が多く、本当に考える必要があると思います。従来のあるような活動を今一度変えてみてはどうですか。介護についても各自がしっかりと生きていれば、甘えた気持ちを持たないように努力しなければ、と思います。（70代前半 女性）

市の生涯学習センターの学習ですが、人数が多いようで申し込んでも無理なこともあるようです。お金のことがあるのですが、少ないけど少し上げてもらっても個人的に思います。（70代前半 女性）

夫婦、ひとり暮らしほど楽なことはないと思いますが、家族と同居して苦楽を共にし、共同生活がいかに大切かということをもっともっとアピールしていただけたらと思っています。老人のパワーが若い人たちに向けられたら、陰の力がとても大切です。若い人たちの礎になることを願います。（70代後半 女性）

介護について、おぼろげにわかっていますが、身内にもご近所にも要介護者がいないので、具体的によくわかりません。将来のことをしっかり考えるべきですが、今は法学の勉強に没頭し、本当におもしろいと思っています。（60代後半 女性）

16 自立・自助

現在、夫婦ともに元気に生活できています。妻が病気になれば私はできるだけ介護するつもりですが、私が倒れた時のことはわかりません。私が先に倒れたら、ホームに入れていると言っています。（70代前半 男性）

子どもがいても頼れないこと。なるべく心配をかけたくない。（70代前半 女性）

年々高齢化が進む。一人ひとりが自分自身の健康に気をつけて、他人任せにならないように。（60代後半 女性）

高齢ですが、自分でできることは自分です（家事）。日課を規則正しく、時刻と内容を考慮し、基準の形を決め、特別の行事のない限りそれに従う。脳の退化を来たさぬよう、知的な課題を積極的に見つけ挑戦する。芸術（音楽、美術、文学等）を趣味とし、フルに時間を活用する。外の空気と健脚を保つことを目的に可能な範囲を散歩する。健康度を測

定する器具を用い、現在の数値を知る。 (80代前半 男性)

私は健康に気をつけ、老後は楽しく生きていくことを目標にしています。自分にあった生きがいを持ち、生活していけば、若い人たちの助けにもなると思います。年を取ればすべてが弱くなっていきますが、少しでも自立して生活すれば、多くの老人ももっと元気になると思います。今は心の病が多いと聞いていますが、心に喜びができる一日一日を送れば、老人パワーも回復して元気になると思っています。 (60代後半 女性)

行政ばかりに頼らず、自分で努力、方法は考える。何から何まで他人や行政頼りでなく、自分のことは自分で気持ち大切に思う。 (70代前半 男性)

行政に頼らない生活をしたい。 (70代後半 男性)

介護を受けずに一生が終われば一番の幸せであると思っています。介護保険料は抵抗がありますが、お互いに助け合いですから協力せねばと思います。人様のやっかいにならないよう自分自身の努力が必要ではないかと存じます。 (70代後半 男性)

夫は脳梗塞で左手が不自由ですし、私も健康に自信がなくなり不安ですが、気力で頑張っています。子ども2人は東京ですし、子どもたちの負担にならないよう努力しています。 (70代前半 女性)

高齢社会になる。できることは何でもやるように努力(行政も民間も会社も)する必要がある。相互扶助。 (70代前半 男性)

自分のことは自分で守ることが一番です。体も自分で守りましょう。(70代前半 女性) になってみないとわからないことがほとんどです。自己管理しかないと思っています。 (70代前半 女性)

よき時代に恵まれ感謝しています。できるだけ介護を受けず生活できるよう毎日健康に、また、一人で生活できるよう、生活力を付けたいと思います。 (60代後半 女性)

死ぬまで目標をもって生活することが大事だと思っています。 (60代後半 男性)

高齢者であっても明日に希望を持ち、また夢を叶えられる心がけで人間らしく人生を見続けて終わりたいものだ。 (70代前半 女性)

夫婦二人で生活しております。隣家には息子夫婦がいます。なるべく迷惑を掛けないよう生活しています。でも一人になった時のことを考えますと、何となく寂しい気分になります。息子夫婦は二人とも勤めに出ていて、夕方しか家にいません。二人の孫の面倒を見ながら自分なりの生活を送っています。 (60代後半 女性)

健康で生活しており、深く考えたことがないのですみません。ただ、家族に迷惑を掛けたくない気持ちでいっぱいです。 (70代後半 女性)

今は特にありませんが、苦しむ時が来ることは間違いないでしょうから、自分自身をコントロールしながら、前向きに生きていくようにしたいと考えております。

(80代前半 男性)

自営で、少しだけ手伝っていますが、82歳の主人の介護をしていますので、アンケートに対して、不適切なお返事の所もごさいます。市等にいろいろしていただきたいことは大げさで、自分のことは自分でと思ひまして、ケアマネジャーにいろいろ相談しています。

(70代前半 女性)

行政に頼りすぎの暮らしが問題です。もっと家を大切に、何事も行政の責任にせず、自力精神を持って健康に励むことが第一と思います。何事もまず予算、税金です。税でまかなえるよう考えること。

(70代後半 男性)

自助努力の啓蒙、相互扶助意識の養成。

(70代後半 男性)

特別養護老人ホームや老人保健施設に入所せず、一生涯自宅で生活できるようにしたいですが、この先のことは、よく分かりません。動くことができれば、できるだけ他人に世話をおかけせず、自分でがんばっていくことと思っています。

(70代前半 男性)

17 まちづくり

(1) 道路・歩道

自転車(特に学生)が歩道を走っていることは、危険が多い。考え直してほしい。

(70代前半 女性)

中途半端な制度やシステムならやらないこと。歩行者用の道路整備を。自転車と歩行者がすれ違えない。公共交通機関の充実。アンケートを取ったら見直し、充実してもらいたい。これも中途半端にならないようお願いしたい。

(60代後半 男性)

自転車の時はなるべく歩道を走るようにしているが、耳の障害があるので危険を感じる。歩道のない所へ車が多く来る。歩道上に駐車してあると特に思う。

(80代後半 男性)

最近あちこちで道路の舗装工事が行われていますので、今までより歩きやすくなると思います。老人が安全に歩くことができる道であってほしいと思います。

(70代後半 男性)

岐阜市には常設トイレが少ない。バス路線沿いの道路に常設希望。(80代前半 女性)

私は自転車で生活しています。道路と歩道の段差があるので困っています。ほんの少しの段差ですが何とかお願いします。(70代前半 女性)

主要道路の街灯が少ない。加納栄町通りが怖い。時々ひったくり等があり、私も後を付けられた。明るくなりますようによろしく。(70代前半 女性)

私は今も勤めをしていますが、日曜日には買い物にスーパー3軒くらいはしごします。自転車のみが私の足代わりなので、いつも歩道を通ります。その時、車道から入る段差が苦になります。あの部分をバリアフリーにしてもらえたら、自転車を利用する人が楽になると思います。(60代後半 女性)

高齢者は勿論、若者にも日常生活がしやすいまちづくりをすることが必要である。すなわち、年齢に関係なく、共に自然に交流できる場をつくるには、シルバー道路を兼ねた通学、買い物、散歩さらに避難等、多様化した身近な生活ロードを工夫・研究・実現することが、市にとって命題だと思う。これに関連して、空き家の利用導入を市が積極的に支援し、近くで買い物ができる食料品、衣料品等を開業したい業者を迎え、前述した道路の利用により、人と人との関係や隣近所とつきあいが自然にでき、いざという時に、すべての面で大きな効果がでてくるものではないかと痛感します。まちづくり計画の一施策として前向きに採用されんことを切望する次第です。

(70代後半 男性)

歩道のでこぼこ、幅等の改修が必要と思います。(80代前半 男性)

歩道を自転車で通ると段差があり、腰にくる所が多くあります。工事をする時に人間第一でやさしい歩道をお願いしたいといつも思っています。(60代後半 女性)

(2) 公共交通機関・バス停

電車、バスが少ない。老人は非常に困る。電車が廃止されたことは特に困る。

(70代後半 男性)

サラマンカへ行くバスがほとんどなく、イベントの多い休日は特にありません。タクシーは高くなりますので、もう少し路線と本数を増やしてください。

(70代後半 女性)

駅前のバスターミナルの時刻表の表示が下の方で、また、字が小さく見づらい。立って見やすい所に、あまり必要のない電光掲示板がありますが、係の皆様も一度よく見てください。各バス停に椅子を設置してください。(70代前半 女性)

スーパーへ行くのに不便なため、重い荷物などはタクシーを利用しています。回数は

少なくとも岐阜市内を巡回しているコミュニティバスがあればよいと思います。芥見地区にも是非考えて下さいますようお願いいたします。 (60代後半 女性)

バス停に椅子を置くこと。 (80代前半 男性)

広報ぎふを楽しみに見ておりますが、バス停までが遠いこと、バス停まで車で行っても駐車場がないことなどで、長良川大学の講座や催しなど出掛けたくても出掛けられないのが一番悔しいです。敬老バスカードをいただいて喜んでいるのですが、利用しにくく、コミュニティバスのコースを見ても、私の住む所は考えてもらえません。同じ岐阜市民なのに、郊外に住む老人には楽しみが求められません。郊外にも目を向けて下さい。 (70代前半 女性)

コミュニティバスなど、右回り、左回りなど工夫して便利にしてほしい。島地区からは市民病院も大学病院も直通バスがなく、見えているのに遠い。公共の乗物を考えてほしい。 (70代前半 女性)

私は2年前まで車の運転をしていましたが、現在はバス(またはタクシー)を利用しております。バス停に老人向けのベンチがほしいです。柳ヶ瀬バス停も南行きにはありませんし、その他の所(市役所前)にもありません。バスを待つ間、20分以上にもなりますと疲れます。北税務署前にもありません。県の間伐材でよく作られたのを見かけます。私は80歳ですが元気です。スキーにも出掛けます。 (80代前半 女性)

バス停の改良 降雨、日照防止のため、屋根の設置。生活道の歩道の整備。特に段差の解消。天満ホーム等公共施設の美化整備。 (70代後半 男性)

老人バスの券の使用について。乗る時と下りる時にカードを入れることは大変。もう少し楽に使用できることを望みます。 (80代前半 女性)

よくバスを利用していますが、最近の運転手さんはとても親切です。(70代前半 女性)
外出をしたい時に乗物が近くまでくることが大切です。タクシーでは高くに乗れません。 (60代後半 女性)

交通機関が不便です。山の方からも出掛けることのできるようバスを通してください。便利のよい方のみでは納得できません。 (70代前半 女性)

駅や停留所に腰掛けなどを設け、一休みできるようにしていただきたいと思います。 (70代後半 女性)

交通コミュニティバス。 (80代前半 男性)

七郷から直接市民病院へ行くバスがほしい。現在は北方芝原から乗車しています。雨の日等困っています。 (70代前半 女性)

J R 駅前の新バス停が以前より増えたせいか、目的とする乗り場を探すのに苦労する。その上、行き先の案内表示が下部に小さな文字で書かれており、わかりにくい。他県からの来訪者にもわかるように案内すべきである。 (70代後半 男性)

病院が日赤ですので、移動に困る。バスが日赤に行くようになれば、うれしく思います。自転車は体にきつく、運転もできません。 (70代前半 -)

この頃は、公共交通機関、病院、バスなどに乗っても対応が優しく、親切でうれしく思います。また、路線バスの回数が減ったり、行き先が今まであったのになくなった路線もあり、高齢者はとても不便を感じております。 (70代前半 女性)

(3) 公園

木を植え公園を作っても、その後の手入れがされず、草はのび、ベンチはホームレスに占領されています。公園休憩所にはロープを渡して洗濯物まで干して生活しています。危険で近寄れず、通るのもやめて大回りします。管理をきちんとしてほしい。子どもや学生は利用が危ないし、一般人も使えないなら駐車場を増やした方が岐阜駅周辺は活性化すると思います。清水川橋下付近もホームレスやアベックで風紀が悪いです。目配りをお願いします。 (70代前半 女性)

城趾公園グラウンドにトイレや雨宿りするところを1か所つくってください。

(70代後半 男性)

茜部地区に新築住宅、マンション、アパートなどがどんどん増えています。老人、子ども等が安心して利用できるような公園を作ってください。 (60代後半 男性)

(4) その他

これからますます年寄りが増えてきますので、過ごしやすい岐阜市にしていだけるとありがたいです。 (70代前半 女性)

今は健康なのであまり考えたことがないけれど、神社等に行くとスロープがつくってあり、車いすで行けるようにしてあるが、所々に少し段差があるので、そんな所もコンクリートで埋めて段差をなくしてほしいと思う。 (60代後半 男性)

ゴミの集積所が遠いので、車か自転車で行く必要があります。他の自治会の集積所へは捨てられないので、捨ててもいいようにしてほしい。 (60代後半 男性)

老人にとって住みよい町、やさしい町。必要最低限の援助はできるだけ多くの人に。

(60代後半 男性)

安心して住めるまちにしてください。店屋さんが少なくなりました。あまりに世の中の進歩が早いので、毎日驚きととまどいです。(80代前半 女性)

各校下に小規模な葬祭場(公営)があったらと思います。例えば、市営の霊柩車とか、小会場があれば、多額の葬儀費の心配がなく、また自宅では駐車等の問題があります。残る家族のため、多額の葬儀費は入院費等とあわせて負担が大きいと思います。

(70代後半 男性)

18 不安

今は2人とも元気ですが、先が心配です。(70代前半 -)

一番の心配事は「お金」に限ります。これから先病気になったらお金がない、どうしようということに尽きます。あつという間に死ぬことを祈るだけの毎日です。(70代前半 -)

あまりにも知識がないので、不安です。(70代後半 男性)

妻と2人暮らし。妻に先立たれ、独居になった時が一番心配です。(- -)

年金生活ですが、年金は下がるし、物価は上がるし、生活が苦しくなるので心配です。

(70代前半 女性)

老人単独ですので、体が弱くなった時が一番心配です。大家族で暮らした方が安心できると思います。(70代前半 女性)

妻が要介護1で、そのことのみ心配です。(80代前半 男性)

子どもたちが遠くなので、主人が先に亡くなった時のことを考えると不安です。

(70代前半 女性)

私自身または家族が要介護者になったらどうしたらいいのか、間近なことなのに避けるように暮らしています。地震などの災害に家は耐えられるのか、ホームヘルプサービスを受けるにも、家は乱雑に散らかっているし、改めて考えると頭の痛いことばかり多いことに気が付かされました。老いと死は必ず訪れるのに、取り組みが遅れているのが実状です。

(60代後半 女性)

一人なので、病気などをした時などとても不安です。(60代後半 女性)

近所とのつきあいが少なくなっている。いざという時に不安。築58年と古い家屋で不安。

お金もないしどうしようもない。(70代後半 女性)

二人だけの生活で不安だらけですが、病気になってみないと、このアンケートにはうまく

答えられません。 (60代後半 女性)

妻と2人住まいで、妻が5年前より脳内出血で2回倒れ、現在は全身麻痺状態です。自宅で介護をしていますが、私も年老いてきましたので、この先不安な気持ちでいっぱいです。

(70代後半 男性)

80歳になりますが今のところ元気なので、妻の面倒をみています。長男は未婚で東京におり、長女は岐阜市内におります。私が病気になったら、長男を呼ぶしか手がありません。何とか家に帰ってきてくれないかと思っていますが、大学を出て38年位になり、岐阜に帰って来てくれるか心配です。まだ一度も話したことはありません。生活費は何とかなるのではないかと思っています。

(70代後半 男性)

一人住まいですので、急病の時に知らせする方法。すべて家の中から鍵を掛けていますので、外からは開けられません。どうするか考え中です。

(80代前半 女性)

自分のことを一人でできることがよいこととわかっているが、終わりは心配。

(80代前半 女性)

80歳を過ぎると夫婦2人で家のなかの仕事をするのが精一杯で毎日が過ぎていきます。外出する時間も少なくなり、友人もなくなりさびしいです。

(80代前半 女性)

色々とお骨折りありがとうございます。70歳になり、病気やけがなど不安がありますが、今は元気しております。まじめな職人で働き続けましたが、蓄えもなく、病気、けが、災害などのことを考えますと不安は大きいです。

(70代前半 女性)

自宅で介護が無理になった時は不安がある。年金額が少ない。できるだけ生活保護を受けたくない。

(70代前半 女性)

今のところ健康なのであまり考えることはありません。今後の問題として考えなければと
思っているのが現状です。考えたくないのも現状です。

(70代前半 男性)

私はがんの手術をしました。今はその後の治療中ですが、今後は転移が心配です。先生を
信頼し、今は治療を続けている。

(60代後半 男性)

一人でするので、今後のことが心配です。

(60代後半 女性)

ひとり暮らしの団地住まいはあまり人付き合いがなく、病気をした時は心細くなる。

(60代後半 女性)

主人と二人で話し合っ人様を助けられる気持ちをもって、すべてのことに少しでも人様
によいこと、喜ばれることを日々心がけて暮らしています。皆さん、とてもよくして下さい
ますが、どちらかが一人になった時、助けていただいて御礼をしなければと思うと、年
金の削られていく分に計画が立たず、心配になってきます。

(70代前半 女性)

19 感謝

若いときに大東亜戦争で現地入隊し、終戦を迎え、1年間抑留生活を終え無事生還でき、現在まで生きられたことは感謝に堪えられません。今後、社会に少しでも奉仕できれば幸いです。
(80代前半 男性)

緑も多く水も豊富なこの岐阜が大好き。この頃少々人情が薄らいだ気もするが、まだまだいい。役所へ行ってもとても親切でテキパキと仕事をしていただけますので、とても気分がいい。行くのが嫌でなくなった。
(70代前半 女性)

介護はできるだけ自宅での思いで、母を自宅で看取りました。往診してくださる先生もあり、いろいろな介護制度を使わせていただき、本当に救われた思いです。母も多分満足してくれたことと信じております。十分なことをしたとは思えませんが、少なくとも病院に入りっぱなしでなかったことはありがたかったと思っています。亡くなる前はデイサービスにも半年以上行きませんでした。ケアマネジャーさんもいい方でした。訪問看護の看護師さんも本当にいい方でした。ありがたく思っております。
(60代後半 女性)

日頃の保健福祉にご尽力、厚く御礼申し上げます。
(80代後半 女性)

家の者がよくやってくれるので安心。
(90歳以上 女性)

20 アンケート

このたびのようなアンケートが度々あれば気持ちを訴えることができ何よりほっとします。体について心配りありがとうございます。これからもこういうアンケートをお願いします。
(70代前半 -)

アンケートの集約結果について、市広報紙に掲載してください。
(70代後半 男性)

高い角度で見ていない調査。市民全体の不平等の社会を考えてもらいたい。人間不信 礼節がない。
(60代後半 男性)

このアンケートは老夫婦についての設問がないので、答えがわからないのもある。
(70代後半 男性)

私の年代では質問内容がずれている。
(60代後半 男性)

今現在、元気に生活していますが、介護が必要になったときに、また変わってくると思います。
(60代後半 女性)

退職後あまり日が経っておらず、体力があるため、現時点では不自由を感じていませんが、

- 今後のことを考えるとという思いで記入しました。(70代後半 男性)
- いろいろな病気を持っていて医者にかかりながら、これ以上悪くならないように心がけています。介護の事もまだ経験がなく、はっきりわかりません。(60代後半 女性)
- 75歳を過ぎており元気ですが、しっかりとした回答はできておりませんので、よろしくお願いたします。(70代後半 女性)
- 現在は元気に楽しく暮らしているが、もし介護が必要な体になった時にはこのアンケートの回答とは違った回答になると思っている。(60代後半 女性)
- まだ介護が必要でないのでわかりません。(60代後半 女性)
- アンケートの集計結果を岐阜市のホームページで見たい。アンケートの項目について 税金・保険料を払うのは国民としての義務。サービスを受けるのは、当然の権利ではなく、お互い様と思えるかどうかを問えるような項目を用意できないか。反感を買わないようにするには工夫がいるでしょう。(60代後半 女性)
- 高齢夫婦でございますが、現在、どうにか健康で過ごしておりますので、福祉介護についてはお答えできませんでした。(80代前半 女性)
- 現在も現役勤務をしておりますので、アンケートに答えるのが難しい面もありました。(70代前半 男性)
- 大切なことばかりですが、自分の目の前に起きないと考えられないと思います。その時はきっと子どもや皆様のお世話になることと思います。(70代前半 女性)
- 現在夫婦共々まあ元気なので、介護に関するものは深刻に考えていない。真剣に考えて答えることができない。(60代後半 女性)
- 現在76歳で、特別不自由はしていないので、今後、健康に変化があったり、生活に不自由ができた場合はアンケートに変化がでると思う。(70代後半 男性)
- 今のところその立場にありませんのでわかりません。(60代後半 女性)
- 現在、夫婦とも何とか生活していますが、この先どうなるかはっきりわかりません。十分なお答えができず申し訳ございません。(70代前半 女性)
- このアンケートは老人には難しすぎて理解のできないことが多いです。(70代後半 女性)
- いろいろお尋ねいただきありがとうございます。現在は元気にしており、お世話になる必要もございませんが、万一の時にはよろしく願い申し上げます。(70代後半 女性)
- 仕事をしているし、健康にも異常がなく、まだピンと来ません。もう少し年代の高い人を対象にアンケートを出されたらと思います。でも私もいつかこうなるかもしれませんので、この機会によく考えてみます。(60代後半 女性)

アンケートの問が多すぎる。もう少し考えて問を出してほしい。（60代後半 男性）

もう少しきめの細かい設問にすべきだ。例えば問6のサービスや保険料について、なぜ「サービスは充実していて保険料が安い」という項目がないのか。設問作成者の都合で作っているようだ。アンケートの設問の中間に当たるようなものがほとんどない。回答が難しい場合が結構ある。何か自分たちの都合のよい結果を得るためかと思う。集計する側の都合ばかり考えて設問を作っているように思える。作成者はアンケートに答えていただくという精神で作るべきだ。（70代前半 男性）

アンケート等のお尋ねは、年末を避けていただきたい。（70代後半 男性）

それぞれに を付けたが、本当のところはわからない。制度自体はつきりわからない。

（70代前半 男性）

家族に質問がありました。本人が理解できない質問の仕方に疑問を感じました。高齢者に送らないでください。（80代前半 女性）

このような調査は半分くらい無駄と思う。政治家が変わる以外ない。（80代後半 男性）

カタカナ文字、横文字（例えば問9の(6) I A D L）は分かりません。なるべく使わないでください。（ - - ）

21 計 画

データ集計のみならず、早急な実行をお願いします。（60代後半 女性）

高齢者が安心・安全に日常生活ができる施設、設備を整備し、さらに医療および介護体制の導入・促進を図り、校下別に目標を立て、早急に具体化、実現・実施すべきである。

（70代後半 男性）

アンケートをよく検討していただき、なるべく実施してほしいと思います。高齢者が多くなり、住みよい社会になることを希望します。（80代後半 女性）

22 その他

要介護者を抱えていませんし、私も元気な日々ですが、誰にでも老いはやってくる訳ですから、日頃から、広報などを通して、普通の生活の中で、誰もが相手のことを思いやって優しい手を差しのべるような心の準備をしたいと思っています。（70代前半 女性）

お互い人間同士、お互い尊敬しあい、すべての人々を敬い、すべての人々を慈しみ、すべての人々を我が子の如く、情をかけていく世の中。 (70代前半 -)

隣近所とのコミュニケーションを大切にしたい。今は少ない。お裾分けの心がダウンした。

(70代前半 男性)

ここで言うべきではないかと思いますが、感じたことですので述べさせて下さい。この間90歳になったお祝いに万松館へご招待いただきましてありがとうございました。多くの人ならびに付き添いの方にまで、送迎費、料理代、土産代など大変な経費だと思いました。

今後老人が増えてきますので、このような行事はやめにして、お祝い状に添えて、少しの記念品を贈るということにしたらいかがでしょう。産婦人科医として、子宮がん検診を2年に1回とするくらい市の予算がないのなら、無駄な経費と感じましたので、一言提言させていただきます。 (90歳以上 女性)

隣近所とのつきあいがいないため、日常生活が不安になる場合がある。主人は施設に入所しており、なおさら話し合う機会がないので、そう思うのかもしれませんが。子どものいない者です。 (60代後半 女性)

豊かになりすぎたね。日本の家族の文化がなくなりました。企業文化もない我々の時代、中流社会が目標であった。 (70代前半 男性)

私の町内は旧家と、新しく入って来た者(いわゆるよそ者)は、隣の家の葬儀にも出なくてもよい所で、言ってみれば寂しい町内です。 (70代後半 男性)

延命措置の考慮。認知症も含めて、自己の意思が表明できなくなった時に備え、事前に市が本人の意志を確認し、対応すること(当面60~65歳)。延命は本人の人間としての尊厳を冒すのみならず、家族の経済的精神的負担を負荷させる。合わせて、無駄な高額保険負担の軽減を図る。速やかな尊厳死法の制定を国に要望。 (70代後半 男性)

最近は何事にも恵まれすぎて物を粗末にしすぎのように感じる。町内や校下での行事の参加者が少なく、まとまりがない。 (70代前半 女性)

裏金問題には心底腹が立ち、納税する市民の心意気がそがれてしまいます。

(70代前半 女性)

市町村の合併拡大が進んでおります。地方分権は大賛成ですが、大きくなり、広く拡大するにしたがつて、地方行政も中央集権的にならざるを得ない。地域にはすでに各所属の指導あるいは施設等もそれぞれに縦割りの存在する。地域の諸団体も行政の下請けと理解する者も多く、おかしい行動となることあり。本来よりよきまちづくりのもと住みやすく、安全安心を作り出す成果は、地域住民自身による創造に呼応合意がまとまるのが元であ

る。行政は住民を啓発啓蒙し、かくあるべき統制されたシステムをつくることを考えてほしい。
(80代後半 男性)

ひとり暮らしのため、死後はよろしく願います。
(70代前半 女性)

岐阜市は元気がない。駅前のビルのみ取り上げてうたっているが、それで岐阜市が元気になるという考え方はおかしい。柳ヶ瀬を見てもわかる。シャッター店が多い。岐阜市が積極的に取り組んでいる方針が見えない。
(70代前半 男性)

弱者をいたわるどころか、いじめる傾向になっていないか。若者に弱者をいたわる心を持つような教育がなされているか。お互い助け合って生きてきた、あの敗戦後の「美しい日本人の心」はどこへ消え去ったのか。
(70代前半 男性)

社会福祉関係の開催会場は、長良川国際会議場が多い。できれば市の中央文化センターにて開催を望みます。
(80代前半 男性)

最近、お金がない時は人を殺してでも金をむしり取る。本当に恐ろしい世の中。毎日のように報道があちこちで聞かれる。私たちが娘の頃は平穩の世の中。ニート族などをなくす努力をしてほしい。
(60代後半 女性)

人命の尊さは大事なことです。自然体で人生が終われるようになったらよいと思います
(延命治療等を考える)。
(70代前半 男性)